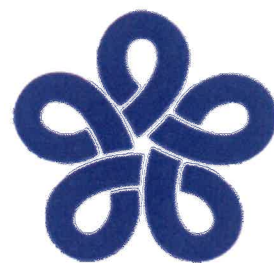


令和 2 年度
福岡県における文化芸術活動
実態調査 報告書



令和 2 年 1 2 月

福岡県人づくり・県民生活部文化振興課

< 目 次 >

I. 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査設計と回収状況	1
3. 調査企画と調査実施	3
4. 結果の記載方法及び利用上の注意	3

II. 調査結果

第1章 県民に対する調査

1. 回答者について	4
(1) 基本属性	3
2. 文化芸術の「鑑賞」について	6
(1) この1年間に文化芸術を直接鑑賞した頻度	6
(2) 直接、鑑賞・体験したジャンル	7
(3) 直接、鑑賞・体験した理由	9
(4) 直接、鑑賞・体験しなかった理由	11
(5) 文化芸術の鑑賞に関心を持つ条件	13
(6) 同居の末子が、この1年間に文化芸術を直接鑑賞したジャンル	15
3. 「文化施設」について	17
(1) 美術館・博物館へもっと行きやすくなる条件	17
(2) 福岡県立文化施設の認知	19
(3) この1年で利用した福岡県立文化施設	21
4. 文化芸術の「参加」について	23
(1) この1年間に自ら実践した文化芸術活動のジャンル	23
(2) この1年間に自ら実践した文化芸術活動の頻度	25
(3) 同居の末子が、学校以外でこの1年間に行った文化芸術活動	26
(4) 文化芸術活動に参加しやすくなる条件	28
5. 文化芸術の「参加（企画・支援）」について	30
(1) この1年間に文化芸術活動の支援やボランティアの参加状況	30
(2) 文化芸術活動の支援やボランティアに参加しやすくなる条件	32
6. 文化芸術の「環境整備」について	34
(1) 居住地域における文化的環境の満足度	34
(2) 居住地域において文化的環境を充実させる内容	35
7. 「地域の伝統文化」について	37
(1) 地域の伝統文化への考え方	37

(2)	地域の伝統芸能への担い手としての参加状況	38
(3)	地域の伝統芸能への担い手としての参加意向がない理由	39
8.	「能楽」について	41
(1)	「能楽」を直接鑑賞した経験の有無	41
(2)	「能楽」を直接鑑賞した理由	42
9.	「子ども・学校教育における文化芸術活動」について	44
(1)	子どもの文化芸術体験に重要なこと	44
(2)	子どもの文化芸術体験に期待する効果	46
(3)	学校での文化芸術活動の中で文化芸術に親しむことができたもの	48
10.	「障がいのある人の文化芸術活動」について	50
(1)	文化活動を通じて、障がいのある人等と交流を深めコミュニティを強くして いこうとする考え方の認知状況	50
(2)	諸文化活動を通じて、障がいのある人等と交流を深めコミュニティを強くして いこうとする考え方を実現させるための取組	51
11.	「文化資源の活用」について	53
(1)	文化財を観光資源として魅力あるものにするために重要なこと	53
12.	「文化芸術の国際交流・魅力発信」について	55
(1)	日本と諸外国が文化交流を進める意義	55
(2)	諸外国に発信すべき日本の文化芸術ジャンル	57
(3)	国内外の多くの人々が文化イベントに参加するための環境	59
13.	「行政の取り組み・ご意見」について	61
(1)	福岡県の文化芸術を振興するために行政が積極的に取り組むべきこと	61

第2章 県内の指定障がい福祉サービス事業所に対する調査

1.	回答事業所について	63
(1)	基本属性	63
2.	事業所での「文化芸術活動」について	65
(1)	実施の有無	65
(2)	文化芸術活動を実施している事業所 実施状況	66
①	実施場所	66
②	実施頻度	68
③	活動しているジャンル（鑑賞）	69
④	活動しているジャンル（創造）	71
⑤	創造した作品の発表の機会の有無	73
⑥	創造した作品の発表の仕方	74
⑦	創造した作品の著作権の取り扱い	76
⑧	文化芸術活動実施上の重視点	77

⑨ 文化芸術活動実施上の課題必要なこと	79
(3) 文化芸術活動を実施していない事業所	81
① 文化芸術活動への関心の有無	81
② 関心のあるジャンル（鑑賞）	82
③ 関心のあるジャンル（創造）	84
④ 文化芸術活動実施上の重視点	86
⑤ 実施していない理由	88
3. 福岡県における文化芸術活動の満足度・施策の認知状況等について	90
(1) 障がいのある人に対する文化芸術活動の機会や施策の充足状況	90
① <鑑賞>を行う機会	90
② <創造・発表>を行う機会	91
③ <販売、公演その他の事業活動>を行う機会	92
④ 相談体制の整備や支援者の育成に関する施策	93
(2) 「ふくおか県障がい児者美術展」への利用者の出品経験	94
(3) 福岡県の施策の認知状況	95
① 「福岡県障がい者芸術文化活動支援センター」の認知状況	95
② 「福岡県障がい者芸術文化活動推進費補助金」の認知状況	96

第3章 県内の文化芸術団体に対する調査

1. 回答事業所について	97
(1) 基本属性	97
2. 「文化芸術活動（発表・展示）の実施状況」について	98
(1) 実施頻度	98
(2) 文化芸術活動（発表・展示）を実施している団体 実施状況	99
① 一般観覧・聴講の有無	99
② 障がいのある人が行きやすくなる工夫の有無	100
(3) 活用している情報発信媒体	101
(4) 発表会や展示会など開催する際に最も利用する県内施設とその満足度	102
3. 「文化芸術活動の課題・要望」について	103
(1) 実施する文化芸術活動への障がいのある人の参加について	103
(2) 活動するにあたっての問題や課題	104
(3) 民間企業などに期待する支援	105
4. 「行政の取り組み・ご意見」について	106
(1) 福岡県の文化芸術を振興するために行政が積極的に取り組むべきこと	106

1. 調査の概要

調査の概要

1. 調査の目的

福岡県における文化芸術活動の実態及び文化芸術の振興に関するニーズを把握し、「福岡県文化芸術振興基本計画」策定の基礎資料とするほか、今後の県の文化芸術の振興に係る施策に反映させる。

2. 調査設計と回収状況

本調査「福岡県における文化芸術活動実態調査」は、以下の3つの調査で構成されている。

- 【A】 県民に対する調査
- 【B】 県内の指定障がい福祉サービス事業所に対する調査
- 【C】 県内の文化芸術団体に対する調査

各調査の詳細については、次頁のとおりである。

(1) 各調査の調査設計

【A】県民に対する調査

調 査 地 域 福岡県全域

調 査 対 象 県内に居住する 18 歳以上の男女

標 本 数 4,000 サンプル≪4 地域（北九州・福岡・筑後・筑豊）×1,000 人≫

標 本 抽 出 台 帳 選挙人名簿

標 本 抽 出 方 法 層化二段無作為抽出法

＜第 1 段＞ 県内 4 地域を層とし、1 地域 100 調査地点を配分。1 市区町村に少なくとも 1 調査地点を配分し、残りについては、各地域内の人口構成比により配分する。

＜第 2 段＞ 調査地点ごとに「選挙人名簿」から 1 地点 10 名、合計 4,000 人を抽出する。

調 査 方 法 郵送法（郵送配布・郵送回収）

調 査 期 間 令和 2 年 8 月 7 日（金）～8 月 28 日（金）

集 計 方 法 実人口と回収数に比例した加重集計を行い、各地域の抽出率が等しくなるよう集計を行った。

【B】県内の指定障がい福祉サービス事業所に対する調査

調 査 対 象 県内の指定障がい福祉サービス事業所（施設入所支援、自立訓練（生活訓練）、就労継続支援（A 型、B 型）、生活介護）

標 本 数 1,526 事業所

標 本 抽 出 方 法 福岡県保有の事業者名簿に記載された全事業者

調 査 方 法 郵送法（郵送配布・郵送回収）

調 査 期 間 令和 2 年 7 月 6 日（月）～8 月 17 日（月）

【C】県内の文化芸術団体に対する調査

調 査 対 象 福岡県文化団体連合会に所属する団体

標 本 数 89 団体

標 本 抽 出 方 法 福岡県文化団体連合会に所属する全団体

調 査 方 法 郵送法（郵送配布・郵送回収）

調 査 期 間 令和 2 年 7 月 9 日（木）～7 月 31 日（金）

(2) 回収状況

調査の種類	標本数	有効回収数 (回収率)
【A】県民に対する調査	4,000	1,468 (36.7%)
【B】県内の指定障がい福祉サービス事業所に対する調査	1,526	780 (51.1%)
【C】県内の文化芸術団体に対する調査	89	64 (71.9%)

3. 調査企画と調査実施

調査企画：福岡県人づくり・県民生活部文化振興課

調査実施：株式会社 プリミティブ・ドライブ

4. 結果の記載方法及び利用上の注意

- (1) 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。それに伴い、比率の合計が100%にならない場合がある。
- (2) 比率は各設問で「回答数（無回答を含む）」を基数（Nまたはn）としてNまたはn＝100%として算出している。

N＝回答全数（有効回収数に等しい）

n＝該当数（その質問を回答しなくてよい人を除いた数）

- (3) 複数回答が可能な設問においても、比率算出の基数は「回答数」とし、該当する選択肢に○を付けた方は全体から見て何%なのかという見方をした。したがって、各選択肢の比率の合計が100パーセントを超える場合がある。
- (4) 表・グラフに示す回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合がある。
- (5) グラフ内の数値の単位はすべて%である。
- (6) 表の色については、全体と比較し、10%以上高い場合、濃い赤、5%以上高い場合、薄い赤、10%以上低い場合、濃い青、5%以上低い場合、薄い青としている。
- (7) 文中の選択肢の表記は「 」で行う。2つ以上の選択肢を合計したものの表記は『 』で行う。
- (8) 設問中に「この1年間」という条件がある場合は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための文化施設の閉館等の影響を受ける前の1年間（2019年4月頃～2020年3月頃）のことを指す。

II. 調查結果

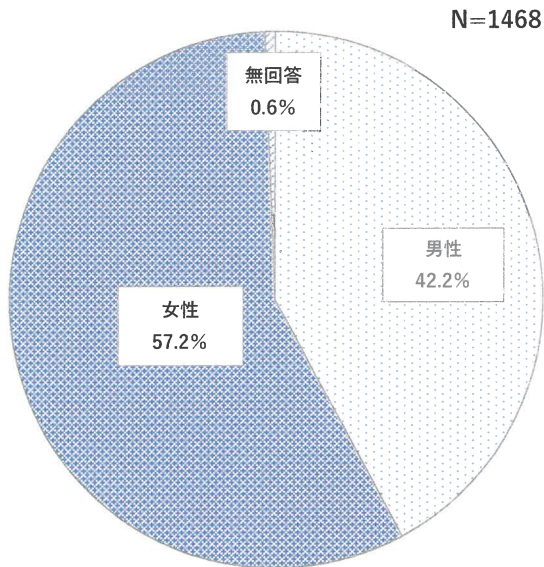
Ⅱ.調査結果 第1章 県民に対する文化芸術活動実態調査（令和2年）

第1章 県民に対する文化芸術活動実態調査（令和2年）

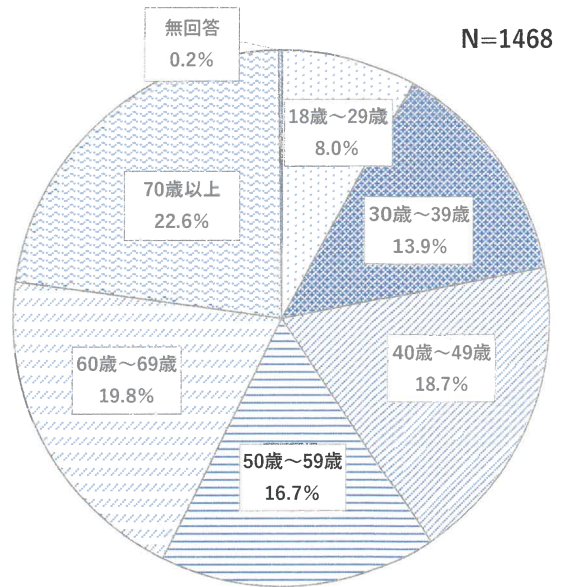
1. 回答者について

（1）基本属性

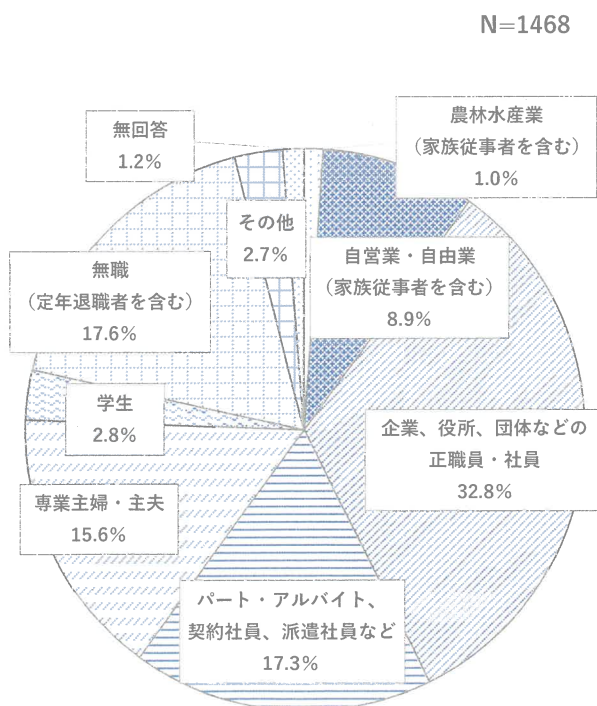
【県民】図表1 性別



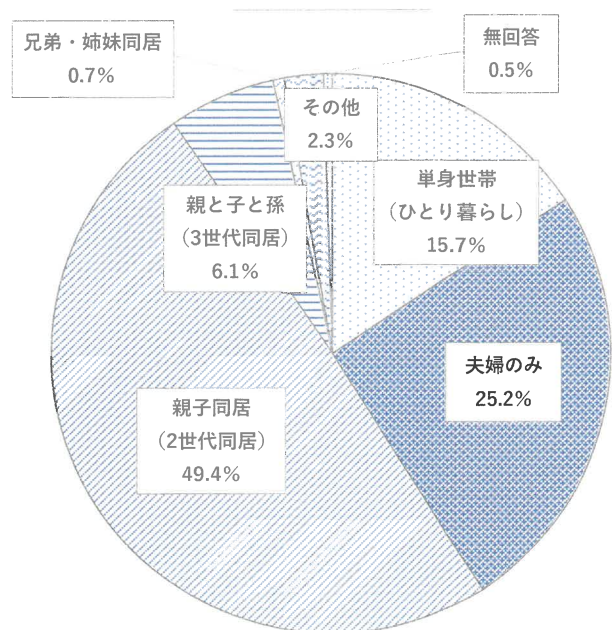
【県民】図表2 年齢



【県民】図表3 職業

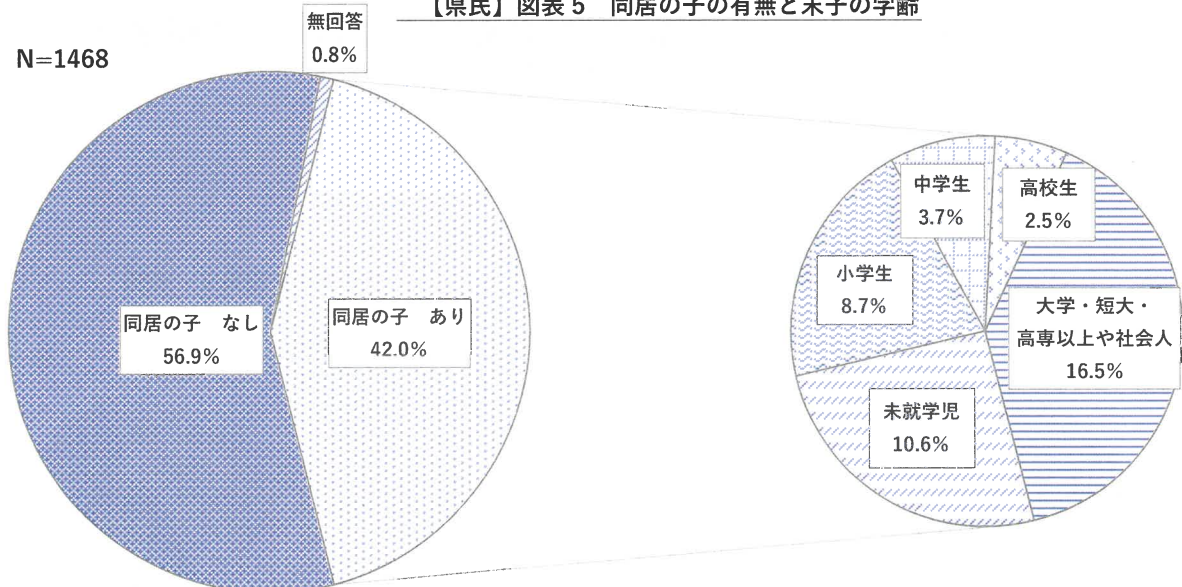


【県民】図表4 世帯構成



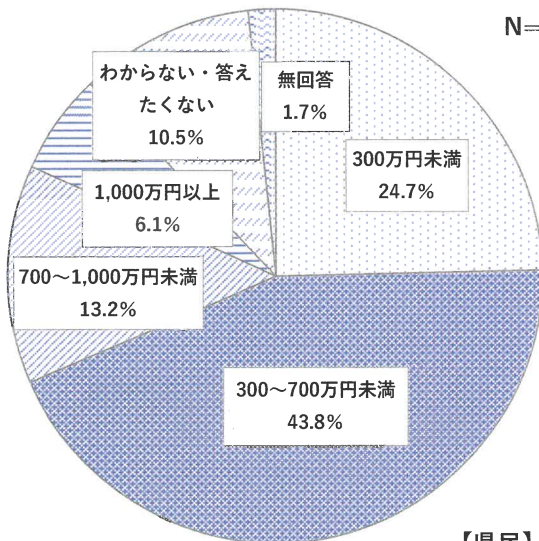
【県民】図表5 同居の子の有無と末子の学齢

N=1468



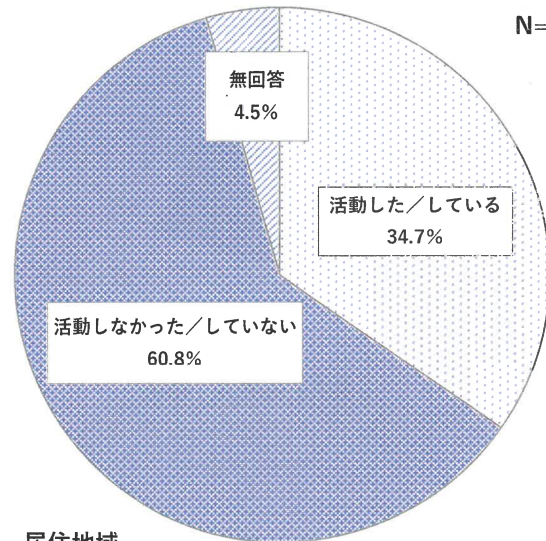
【県民】図表6 世帯全体の年間収入

N=1468



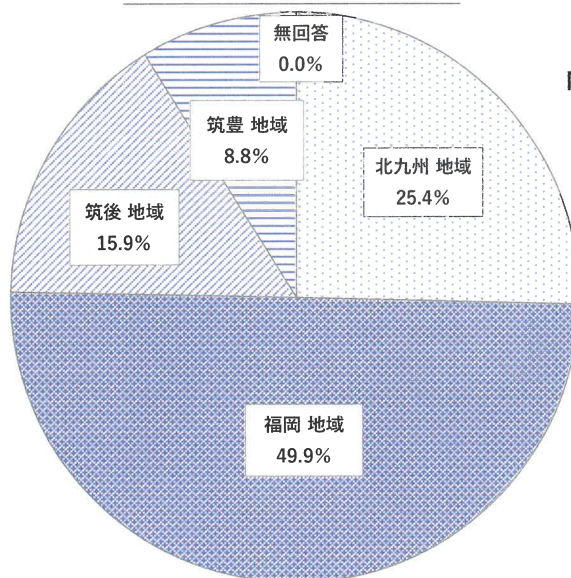
【県民】図表7 文科系部活動、サークルでの活動経験

N=1468



【県民】図表8 居住地域

N=1468



2. 文化芸術の「鑑賞」について

（1） この1年間に文化芸術を直接鑑賞した頻度

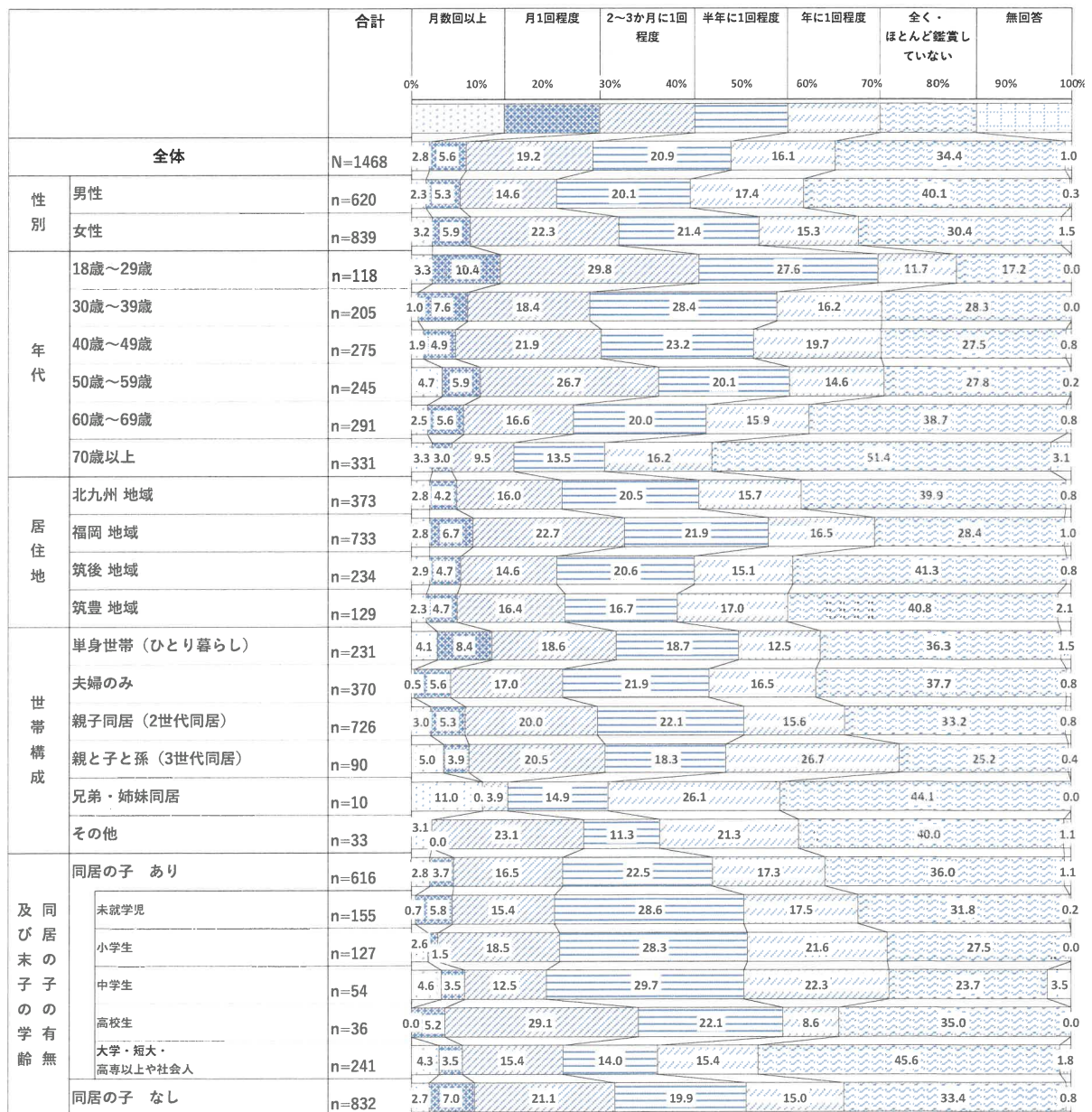
問8.あなたは、この1年間にどの程度、ホール・劇場、映画館、美術館・博物館で、文化芸術活動を直接鑑賞したり体験しましたか。（○は1つだけ）

この1年間に文化芸術を直接鑑賞した頻度は、「半年に1回程度」（20.9%）、「2～3か月に1回程度」（19.2%）がいずれも2割程度となっている。年に1回程度以上鑑賞した県民の割合（鑑賞率）は合わせて64.5%となっている。

年代別に見ると、18～29歳の鑑賞率が82.8%と高く、一方で70歳以上の鑑賞率は45.5%と低くなっており、年代が高くなるほど鑑賞率が下がる傾向が見られる。

居住地別に見ると、福岡地域の鑑賞率が70.6%と他地域よりも高くなっている。

【県民】図表10 この1年に文化芸術を直接、鑑賞・体験した頻度



2. 文化芸術の「鑑賞」について

（2） 直接、鑑賞・体験したジャンル

問8-1.あなたは、この1年間に直接鑑賞・体験した文化芸術のジャンルは何ですか。

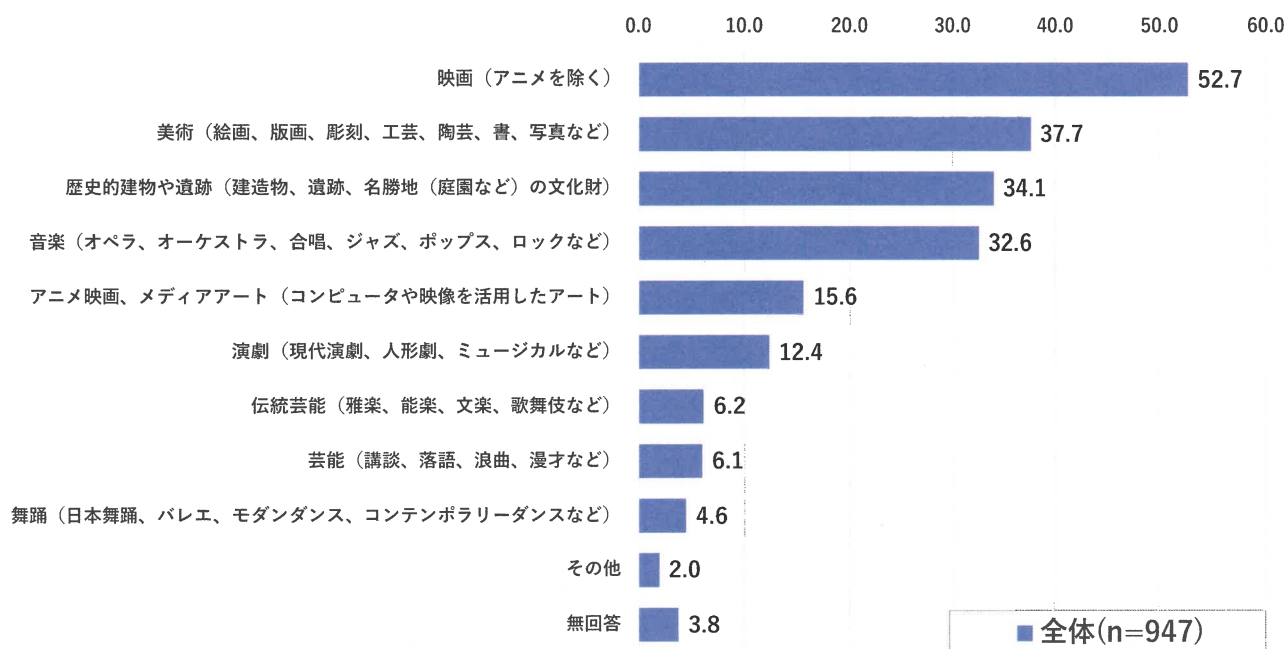
（○はいくつでも）

この1年間に直接、鑑賞・体験したジャンルは、「映画（アニメを除く）」が52.7%で最も高く、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など）」（37.7%）、「歴史的建物や遺跡（建造物、遺跡、名勝地（庭園など）の文化財）」（34.1%）、「音楽（オペラ、オーケストラ、合唱、ジャズ、ポップス、ロックなど）」（32.6%）が3割台で続いている。

年代別に見ると、18～29歳では「映画（アニメを除く）」が76.9%と30歳以上に比べて高い。また、若い年代ほど「アニメ映画、メディアアート（コンピュータや映像を活用したアート）」が高くなる傾向が見られる。

末子の学齢別に見ると、未就学児や小学生が末子の場合「アニメ映画、メディアアート」、中学生や高校生が末子の場合「映画（アニメを除く）」、高校生が末子の場合には更に「音楽」が他の末子学齢に比べてそれぞれ高くなっている。

【県民】図表 11-1 この1年に文化芸術を直接、鑑賞・体験したジャンル



【県民】図表 11-2 この1年に文化芸術を直接、鑑賞・体験したジャンル

		合計	音楽（オペラ、合唱、ジャズ、ロックなど）	音楽（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など）	演劇（現代演劇、人形劇、ミュージカルなど）	ダンス（モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	映画（アニメを除く）	アニメ映画、メディアアート（コンピュータや映像を活用したアート）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）	歴史的建物や遺跡（建造物、遺跡、名勝地（庭園など）の文化財）	その他	無回答
全体(n=947)		947	32.6	37.7	12.4	4.6	52.7	15.6	6.2	6.1	34.1	2.0	3.8	
性別	男性	370	25.8	34.7	7.3	3.3	56.1	15.7	5.8	5.8	35.1	0.7	2.3	
	女性	571	37.2	39.9	15.8	5.4	50.8	15.4	6.5	6.3	33.0	2.9	4.5	
年代	18歳～29歳	97	31.9	31.9	15.5	2.6	76.9	33.9	1.9	0.0	21.7	0.0	1.9	
	30歳～39歳	147	30.4	28.9	8.1	3.1	55.2	28.1	5.9	2.8	28.4	3.9	3.5	
	40歳～49歳	197	33.0	42.5	9.1	2.8	49.1	23.2	3.6	7.6	32.7	2.2	0.0	
	50歳～59歳	177	42.5	42.5	20.4	4.8	55.7	10.5	9.3	6.5	41.6	0.0	2.0	
	60歳～69歳	176	29.4	38.4	15.0	3.1	57.8	4.1	7.3	9.0	35.0	0.9	3.1	
	70歳以上	151	26.8	38.0	5.7	11.2	31.0	1.5	8.0	7.2	38.9	5.1	13.5	
居住地	北九州 地域	221	34.6	37.9	13.3	4.3	53.6	15.6	5.7	4.3	30.8	1.4	3.8	
	福岡 地域	517	32.1	39.1	10.9	4.7	54.0	16.1	6.2	7.3	36.1	2.6	3.6	
	筑後 地域	135	30.6	32.0	14.4	5.4	49.5	15.3	6.3	4.5	33.8	1.4	4.5	
	筑豊 地域	74	33.8	37.9	15.9	2.6	47.2	12.8	7.7	5.6	30.3	1.5	4.1	
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	144	31.5	41.8	12.4	4.8	56.6	15.5	10.4	8.0	39.0	3.0	6.0	
	夫婦のみ	228	25.6	39.2	8.7	3.3	47.6	5.1	5.5	6.1	36.9	0.4	8.1	
	親子同居（2世代同居）	479	36.5	37.3	12.5	5.1	54.3	21.1	5.8	6.6	33.5	2.3	1.2	
	親と子と孫（3世代同居）	67	32.3	28.8	21.2	3.7	47.3	12.7	5.0	0.9	23.5	1.5	2.5	
	兄弟・姉妹同居	5	7.1	81.5	46.2	0.0	100.0	35.3	0.0	0.0	39.2	0.0	0.0	
	その他	20	44.2	27.4	15.0	9.6	55.3	12.6	0.0	0.0	14.5	0.0	3.1	
同居の子どもがいない	同居の子 あり	388	33.4	34.3	11.6	5.7	50.2	20.3	5.9	5.0	33.1	2.6	1.3	
	未就学児	105	30.3	29.9	12.1	1.8	33.4	36.5	3.9	6.5	27.9	5.7	3.4	
	小学生	92	24.3	30.8	4.9	7.2	51.2	29.3	1.3	2.7	32.4	0.0	0.0	
	中学生	39	32.5	38.3	14.5	0.0	66.6	13.7	8.5	1.6	38.4	0.0	0.0	
	高校生	24	56.3	45.1	15.1	2.6	62.5	2.6	16.0	1.6	39.8	0.0	0.0	
	大学・短大・高専以上や社会人	127	38.7	37.6	14.6	9.5	56.7	5.7	8.1	7.0	35.4	3.3	1.1	
	同居の子 なし	547	32.7	40.5	13.1	3.5	55.3	12.6	6.6	7.0	35.2	1.3	5.1	

2. 文化芸術の「鑑賞」について

（3） 直接、鑑賞・体験した理由

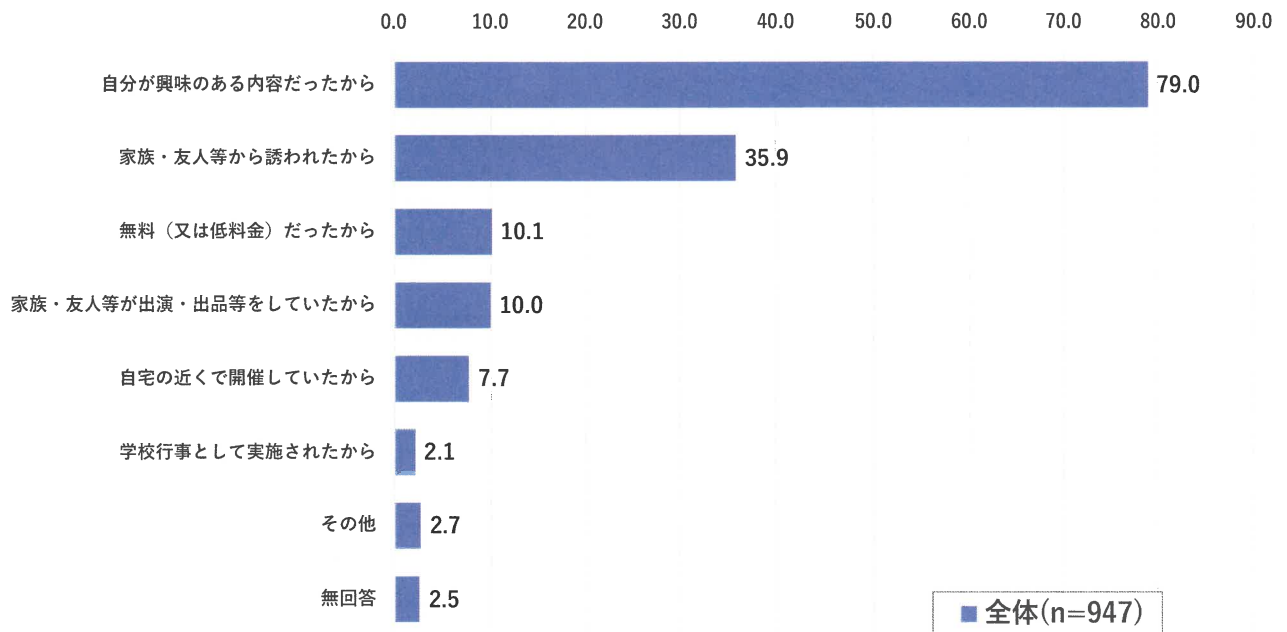
問8-2.直接鑑賞・体験した理由は何ですか。（○はいくつでも）

直接、鑑賞・体験した理由は、「自分が興味のある内容だったから」が79.0%で突出しており、「家族・友人等から誘われたから」が35.9%で続いている。

年代別に見ると、18～29歳と50～59歳では「自分が興味のある内容だったから」が85%程度と他の年代よりもやや高くなっている。

末子の学齢別に見ると、未就学児が末子の場合「家族・友人等から誘われたから」が43.5%と他の末子学齢に比べてやや高くなっている。

【県民】図表 12-1 この1年に文化芸術を直接、鑑賞・体験した理由



【県民】図表 12-2 この1年に文化芸術を直接、鑑賞・体験した理由

		合 計	内 容 自 分 が 興 味 の あ る	誘 わ れ た か ら 家 族 ・ 友 人 等 か ら	出 品 等 を し て い た か ら 家 族 ・ 友 人 等 が 出 演 ・	開 催 し て い た か ら 自 宅 の 近 く で	だ っ た か ら 無 料 （ 又 は 低 料 金 ）	実 施 さ れ た か ら 学 校 行 事 と し て	そ の 他	無 回 答
全体(n=947)		947	79.0	35.9	10.0	7.7	10.1	2.1	2.7	2.5
性 別	男性	370	77.3	32.5	8.8	7.8	9.2	1.7	1.7	2.8
	女性	571	79.8	37.9	10.5	7.8	10.6	2.2	3.3	2.4
年 代	18歳～29歳	97	85.1	40.0	2.6	4.1	3.6	4.0	1.9	3.9
	30歳～39歳	147	79.6	39.5	9.2	10.0	7.7	1.0	1.7	1.5
	40歳～49歳	197	76.0	31.4	8.1	6.0	12.3	3.9	5.0	1.5
	50歳～59歳	177	84.0	42.1	10.0	6.7	8.9	2.0	0.6	1.5
	60歳～69歳	176	80.9	30.2	10.6	11.5	10.5	2.0	2.8	2.1
	70歳以上	151	69.9	35.1	17.5	7.0	15.2	0.0	3.6	5.9
居 住 地	北九州 地域	221	72.5	42.2	10.0	8.5	9.0	2.8	1.9	3.3
	福岡 地域	517	82.1	32.8	9.5	8.0	12.0	1.8	2.6	1.8
	筑後 地域	135	75.2	38.3	11.3	6.3	6.3	2.7	4.5	4.1
	筑豊 地域	74	83.6	34.4	11.3	5.6	7.2	1.0	2.6	2.6
世 帯 構 成	単身世帯（ひとり暮らし）	144	85.1	43.7	9.1	6.5	7.6	0.5	1.6	2.4
	夫婦のみ	228	77.1	37.8	14.3	10.4	14.0	1.3	1.7	4.2
	親子同居（2世代同居）	479	78.9	34.6	8.6	7.5	10.2	3.0	3.3	1.7
	親と子と孫（3世代同居）	67	70.4	33.3	8.6	3.9	4.5	1.8	2.4	2.5
	兄弟・姉妹同居	5	88.6	11.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	20	85.3	12.6	10.1	8.5	7.3	5.3	9.6	0.0
及 同 居 の 子 の 学 有 無	同居の子 あり	388	72.8	37.1	9.9	7.4	11.0	3.2	3.7	1.8
	未就学児	105	62.8	43.5	12.7	6.1	10.1	3.4	6.5	3.4
	小学生	92	68.2	36.3	8.6	12.1	15.7	6.8	3.1	2.1
	中学生	39	80.1	31.8	9.5	8.5	12.2	6.4	6.4	0.0
	高校生	24	79.1	38.4	3.2	6.1	9.6	0.0	0.0	0.0
	大学・短大・高専以上や社会人	127	82.2	33.9	9.9	5.1	8.3	0.0	1.6	1.1
	同居の子 なし	547	83.8	35.9	10.1	7.9	9.8	1.3	1.7	2.7

2. 文化芸術の「鑑賞」について

（4） 直接、鑑賞・体験しなかった理由

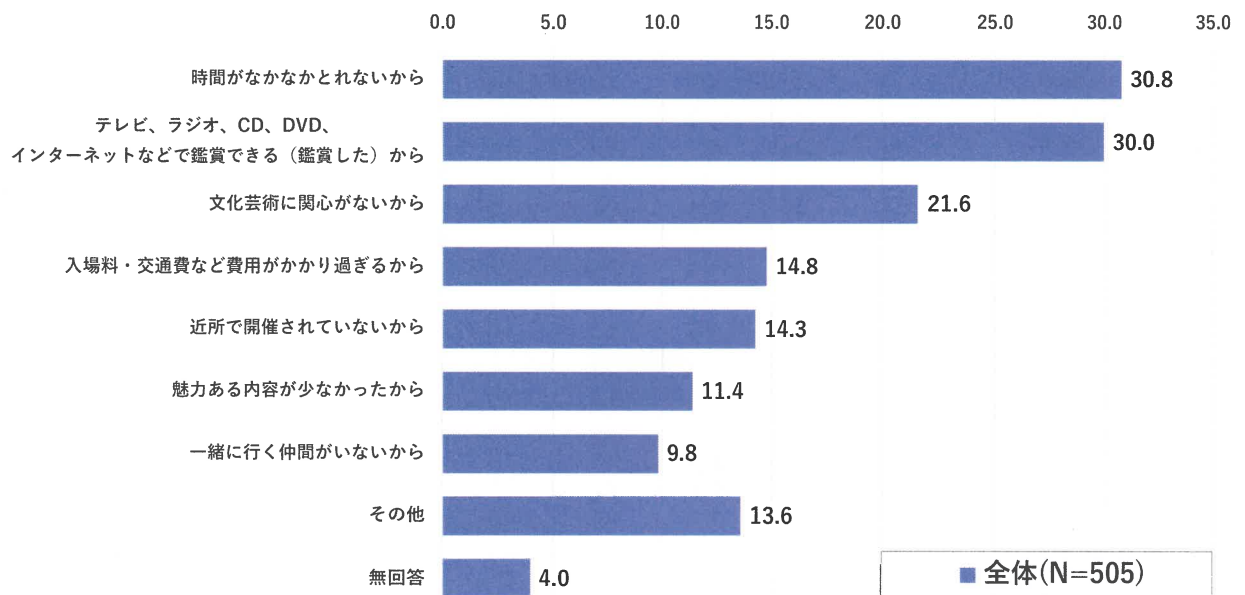
問8-3.直接鑑賞・体験しなかった理由は何ですか。（○はいくつでも）

直接、鑑賞・体験しなかった理由は、「時間がなかなかとれないから」が30.8%、「テレビ、ラジオ、CD、DVD、インターネットなどで鑑賞できる（鑑賞した）から」が30.0%と僅差が続いている。「文化芸術に関心がないから」は21.6%となっている。

年代別に見ると、若い年代ほど「時間がなかなかとれないから」が高くなる傾向が見られ、18～29歳では58.6%に達している。また18～29歳では「テレビ、ラジオ、CD、DVD、インターネットなどで鑑賞できるから（鑑賞した）」の割合も43.1%と30歳以上に比べて高い。

世帯構成別に見ると、単身世帯では「一緒に行く仲間がいないから」が20.6%と高くなっている。また、親と子と孫（3世代同居）では「時間がなかなかとれないから」が43.5%と高くなっている。

【県民】図表 13-1 この1年に文化芸術を直接、鑑賞・体験しなかった理由



【県民】図表 13-2 この1年に文化芸術を直接、鑑賞・体験しなかった理由

		合 計	少 な か っ た 内 容 が	一 緒 に 行 く 仲 間 が	時 間 が な か な か と れ な い か ら	近 所 で 開 催 さ れ て い な い か ら	入 場 料 ・ 交 通 費 な ど か	レ ビ、 ラ ジ オ、 C D、 D V D、 イ ン タ ー ネ ッ ト な ど で 鑑 賞 で き る か ら （ 鑑 賞 し た ）	そ の 他	文 化 芸 術 に 関 心 が な い か ら	無 回 答
全体(N=505)		505	11.4	9.8	30.8	14.3	14.8	30.0	13.6	21.6	4.0
性 別	男性	248	14.8	8.7	27.8	10.3	11.1	26.9	8.7	30.4	5.0
	女性	255	8.2	11.0	33.5	18.2	18.5	33.1	18.5	12.9	2.9
年 代	18歳～29歳	20	13.1	10.1	58.6	3.7	19.4	43.1	9.3	4.9	0.0
	30歳～39歳	58	12.9	7.4	45.0	12.8	22.5	34.8	26.9	9.1	0.7
	40歳～49歳	76	14.6	15.7	46.4	9.0	8.8	25.9	8.8	23.6	1.4
	50歳～59歳	68	19.4	8.5	35.9	13.3	19.8	27.6	5.5	24.0	0.0
	60歳～69歳	113	9.3	6.8	29.4	9.8	8.0	29.7	10.0	25.0	7.1
	70歳以上	170	7.5	10.6	14.6	21.8	16.8	29.9	17.5	23.7	6.2
居 住 地	北九州 地域	149	9.2	8.5	37.3	14.8	13.4	33.1	9.2	18.3	2.8
	福岡 地域	208	13.6	11.8	26.4	10.0	15.5	31.8	17.3	22.7	3.6
	筑後 地域	96	12.0	9.5	30.4	20.3	17.7	25.9	14.6	22.2	5.1
	筑豊 地域	52	7.9	6.5	30.9	18.7	10.8	21.6	10.1	25.2	6.5
世 帯 構 成	単身世帯（ひとり暮らし）	84	15.6	20.6	23.0	19.3	19.1	28.8	9.8	19.6	9.5
	夫婦のみ	140	10.6	5.3	17.6	17.1	20.7	29.7	16.2	28.4	3.9
	親子同居（2世代同居）	241	11.8	9.3	39.4	11.6	10.8	30.6	13.2	17.8	2.1
	親と子と孫（3世代同居）	23	3.3	11.9	43.5	7.7	8.7	27.8	8.1	29.9	7.0
	兄弟・姉妹同居	4	0.0	0.0	24.9	9.0	14.5	33.8	9.0	9.0	0.0
	その他	13	0.0	0.0	39.0	15.7	9.1	34.4	29.9	22.0	0.0
及 同 居 の 子 の 学 有 無	同居の子 あり	222	10.8	7.5	38.9	10.2	9.9	31.1	14.5	19.1	2.7
	未就学児	49	15.6	1.2	48.8	9.0	12.1	20.5	30.0	19.6	0.8
	小学生	35	0.0	8.4	46.4	9.5	10.2	42.5	6.5	24.5	1.1
	中学生	13	14.8	14.8	41.5	14.8	0.0	37.1	0.0	20.7	4.8
	高校生	13	3.0	0.0	45.2	0.0	25.7	26.1	3.0	16.1	0.0
	大学・短大・高専以上や社会人	110	12.5	10.1	31.6	11.5	8.4	31.9	13.3	17.7	3.3
	同居の子 なし	278	11.9	11.9	23.6	17.8	18.8	29.3	12.5	24.0	5.1

2. 文化芸術の「鑑賞」について

（5） 文化芸術の鑑賞に関心を持つ条件

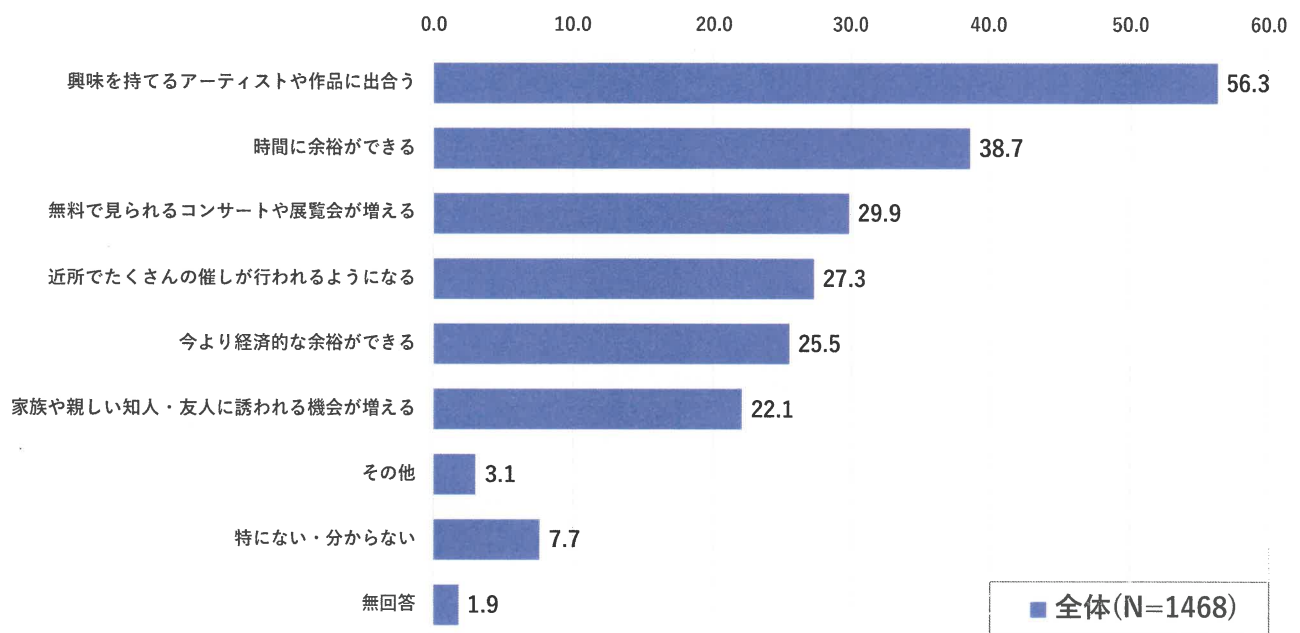
問9.あなたは、どのようなことがあれば自分が文化芸術の鑑賞にもっと関心を持つようになると思いますか。（〇はいくつでも）

文化芸術の鑑賞に関心を持つには、「興味を持てるアーティストや作品に出会う」が56.3%で最も高く、「時間に余裕ができる」が38.7%で続いている。

年代別に見ると、18～29歳、30～39歳、50～59歳では「興味を持てるアーティストや作品に出会う」が7割前後と高くなっている。また30～59歳までの子育て期の各年代で「時間に余裕ができる」が5割を超えて高くなっており日々の忙しさが垣間見える。

末子の学齢別に見ると、高校生以下が末子の場合「時間に余裕ができる」が大学生以上や同居の子どもがいない人に比べて高くなっており、特に末子が未就学児の場合は62.0%に達している。

【県民】図表 14-1 文化芸術の鑑賞に関心を持つ条件



【県民】図表 14-2 文化芸術の鑑賞に関心を持つ条件

		合 計	や 興 味 を 持 て る ア ー テ ィ ス ト	家 族 や 親 しい 知 人・ 友 人 に 誘 わ れ る 機 会 が 増 える	時 間 に 余 裕 が で き る	近 所 で た く さ ん の 催 し が 行 わ れ る よ う に な る	無 料 で 見 ら れ る コン サ ー ト や 展 覧 会 が 増 える	今 よ り 経 済 的 な 余 裕 が で き る	そ の 他	特 に な い・ 分 か ら な い	無 回 答
	全体(N=1468)	1468	56.3	22.1	38.7	27.3	29.9	25.5	3.1	7.7	1.9
性 別	男性	620	50.5	18.4	34.7	23.4	23.9	20.4	3.4	10.7	1.4
	女性	839	60.6	24.8	41.5	30.3	34.2	29.5	2.9	5.6	2.1
年 代	18歳～29歳	118	72.7	23.1	43.4	24.9	23.8	25.6	4.1	0.8	1.6
	30歳～39歳	205	67.1	22.6	53.2	31.8	32.0	30.7	3.3	1.9	0.9
	40歳～49歳	275	60.3	24.9	52.9	28.1	28.6	33.8	4.2	3.2	0.0
	50歳～59歳	245	69.4	19.5	55.4	30.5	31.7	35.6	1.6	3.6	0.4
	60歳～69歳	291	53.1	21.9	29.1	25.9	29.9	22.0	3.0	9.6	1.3
	70歳以上	331	34.0	21.0	11.9	23.8	30.3	11.3	2.8	13.9	5.5
居 住 地	北九州 地域	373	54.8	21.9	40.2	29.8	27.5	22.5	3.9	8.4	0.8
	福岡 地域	733	59.5	22.4	40.2	25.5	32.5	28.9	3.4	5.7	1.8
	筑後 地域	234	51.4	22.5	35.2	28.7	28.2	21.7	1.8	10.2	2.9
	筑豊 地域	129	51.6	19.9	32.3	27.9	24.9	22.3	1.2	12.6	3.2
世 帯 構 成	単身世帯（ひとり暮らし）	231	55.2	23.4	32.2	22.5	27.3	29.9	2.7	8.4	3.7
	夫婦のみ	370	51.0	23.8	25.4	27.1	32.5	18.0	3.2	12.2	1.7
	親子同居（2世代同居）	726	60.4	21.7	46.1	29.0	30.3	26.1	2.9	5.2	1.2
	親と子と孫（3世代同居）	90	51.5	14.7	49.6	20.8	22.1	34.3	2.1	9.3	1.8
	兄弟・姉妹同居	10	68.4	37.1	52.0	40.1	55.3	52.0	0.0	3.9	0.0
	その他	33	58.4	18.6	37.3	39.8	26.2	37.9	11.3	5.7	0.0
及 同 居 の 子 の 学 齢 無	同居の子 あり	616	54.5	21.8	47.0	26.1	30.1	26.1	2.1	5.9	1.5
	未就学児	155	56.2	20.1	62.0	32.9	37.1	24.8	6.6	1.7	0.0
	小学生	127	58.0	21.8	49.7	24.9	33.3	27.9	0.0	4.5	0.3
	中学生	54	63.0	28.9	59.1	31.3	30.9	31.5	0.0	5.3	1.1
	高校生	36	61.2	21.0	55.4	22.4	19.7	35.8	1.0	7.9	0.0
	大学・短大・高専以上や社会人	241	49.2	21.7	32.4	22.0	25.8	23.7	0.9	8.5	2.8
	同居の子 なし	832	58.2	22.3	32.6	28.2	30.0	25.1	3.4	9.1	1.9

2. 文化芸術の「鑑賞」について

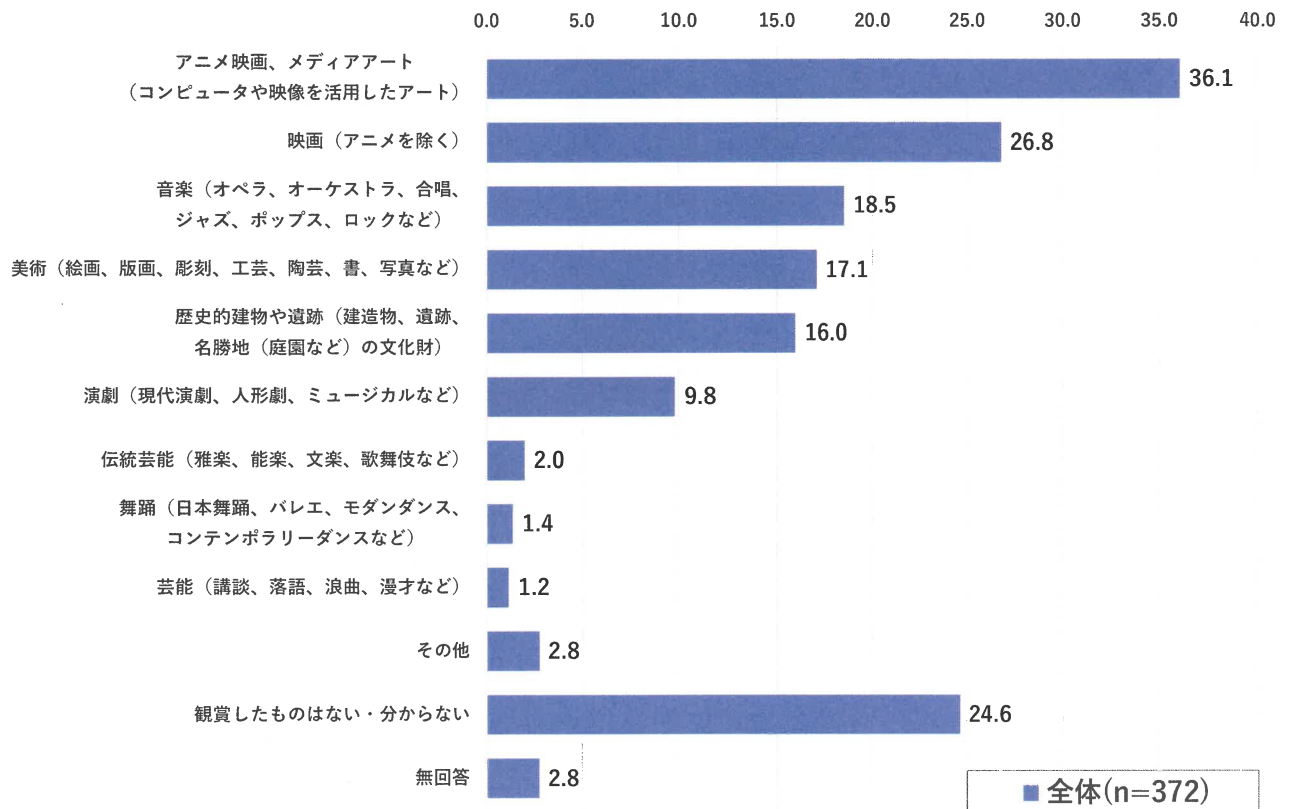
（6） 同居の末子が、この1年間に文化芸術を直接鑑賞したジャンル

問10. あなたと同居しているお子さんの中で「最も下の年齢（末子）のお子さん」は、この1年間に、ホール・劇場、映画館、美術館・博物館などでどのようなジャンルの文化芸術を直接鑑賞しましたか。（〇はいくつでも）

同居の高校生以下の末子が、この1年間に文化芸術を直接鑑賞したジャンルは、「アニメ映画、メディアアート（コンピュータや映像を活用したアート）」が36.1%で最も高く、「映画（アニメを除く）」が26.8%で続いている。

末子の学齢別に見ると、小学生が末子の場合「アニメ映画、メディアアート（コンピュータや映像を活用したアート）」の鑑賞が52.3%と半数を超えて高くなっている。また中学生、高校生が末子の場合「映画（アニメを除く）」や「音楽（オペラ、オーケストラ、合唱、ジャズ、ポップス、ロックなど）」が他の末子学齢よりも高い。

【県民】図表 15-1 同居の末子が、この1年間に文化芸術を直接鑑賞したジャンル



【県民】図表 15-2 同居の末子が、この1年間に文化芸術を直接鑑賞したジャンル

		合計	音楽（オペラ、クラシック、ジャズ、ロックなど）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など）	演劇（現代演劇、人形劇、ミュージカルなど）	ダンス（現代舞、バレエ、コンテンポラリーダンスなど）	映画（アニメを除く）	アニメ映画、メディアアート（コンピュータグラフィックス）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、漫才など）	歴史的建造物、名勝地（庭園など）の文化財	その他	観賞したものはない	無回答
全体(N=372)		372	18.5	17.1	9.8	1.4	26.8	36.1	2.0	1.2	16.0	2.8	24.6	2.8
性別	男性	157	12.7	15.9	5.7	1.2	24.5	35.5	3.7	1.6	12.3	0.7	28.3	4.4
	女性	214	22.4	17.5	12.9	1.5	28.6	36.7	0.8	0.9	18.3	4.4	22.1	1.6
年代	18歳～29歳	10	0.0	0.0	18.4	0.0	10.2	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	18.4	24.4
	30歳～39歳	111	10.9	15.7	8.3	0.3	9.2	25.6	4.9	0.0	16.3	3.4	42.8	2.3
	40歳～49歳	168	19.6	20.1	9.7	1.1	30.5	36.6	1.0	1.5	17.5	3.9	18.0	2.8
	50歳～59歳	54	32.1	16.9	11.3	3.5	49.0	49.6	0.7	0.0	16.2	0.0	8.5	0.0
	60歳～69歳	15	21.0	19.6	16.7	7.0	48.7	50.2	0.0	12.6	19.6	0.0	27.7	0.0
	70歳以上	15	24.9	2.6	4.2	0.0	26.4	50.7	0.0	0.0	2.6	0.0	23.3	4.2
居住地	北九州地域	85	21.0	13.6	2.5	1.2	30.9	39.5	2.5	0.0	16.0	2.5	24.7	0.0
	福岡地域	215	18.4	18.4	11.4	1.8	27.2	36.8	1.8	1.8	17.5	3.5	21.9	3.5
	筑後地域	49	15.0	13.8	16.3	0.0	20.0	27.5	2.5	1.3	12.5	0.0	35.0	5.0
	筑豊地域	23	18.0	24.6	8.2	1.6	23.0	34.4	1.6	0.0	8.2	3.3	27.9	1.6
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	夫婦のみ	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	親子同居（2世代同居）	321	19.1	17.2	9.7	1.3	27.1	34.3	2.0	1.4	16.8	3.1	25.4	2.9
	親と子と孫（3世代同居）	42	14.8	16.8	12.7	2.5	30.0	48.4	2.4	0.0	10.3	0.9	15.5	2.9
	兄弟・姉妹同居	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	9	15.4	15.4	0.0	0.0	4.1	40.7	0.0	0.0	11.3	0.0	39.8	0.0
及び同居の 子の学有 年齢無	同居の子あり	372	18.5	17.1	9.8	1.4	26.8	36.1	2.0	1.2	16.0	2.8	24.6	2.8
	未就学児	155	9.2	11.2	7.8	0.0	3.7	27.5	3.5	0.0	12.1	3.9	42.9	5.7
	小学生	127	20.6	24.8	13.9	2.6	32.2	52.3	1.3	1.5	21.9	1.1	10.7	0.0
	中学生	54	30.6	21.9	7.2	3.5	58.8	30.1	0.7	4.6	18.6	3.5	13.9	1.1
	高校生	36	33.1	7.7	7.9	0.0	59.5	24.6	0.0	0.0	7.9	2.9	11.1	2.7
	大学・短大・高専以上や社会人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	同居の子なし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

3.「文化施設」について

（1） 美術館・博物館へもっと行きやすくなる条件

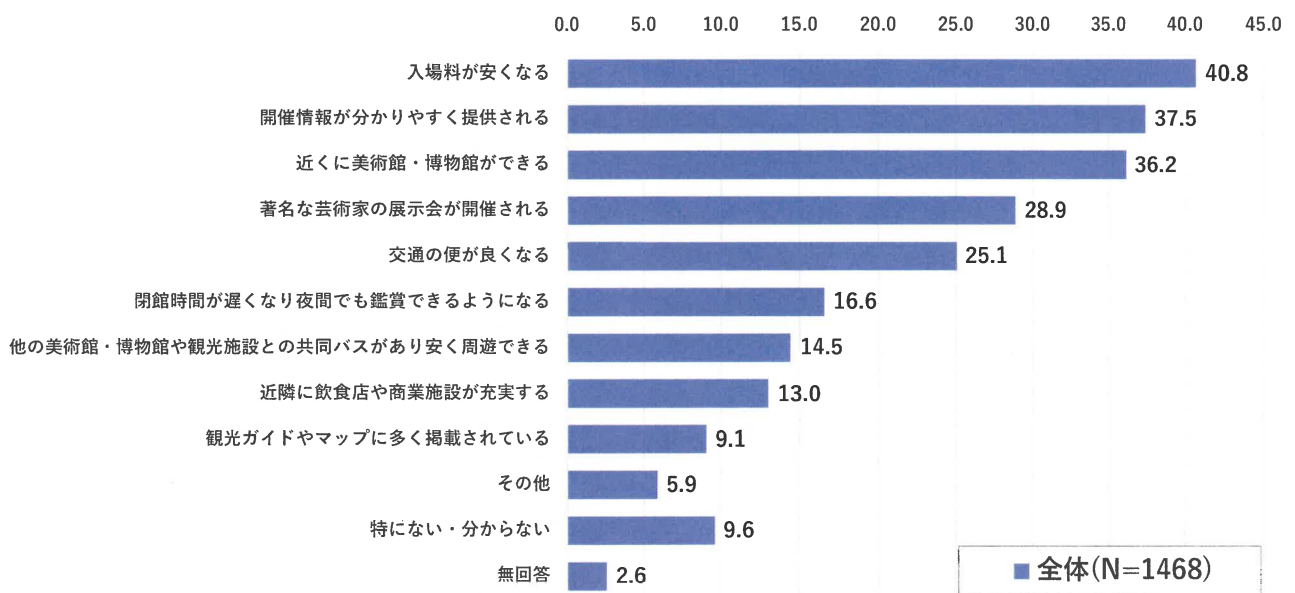
問 1 1. <美術館と博物館>に限定してお聞きます。あなたは、どうすれば美術館や博物館にもっと行きやすくなると思いますか。（○はいくつでも）

美術館・博物館へもっと行きやすくなるには、「入場料が安くなる」が40.8%で最も高く、次いで「開催情報が分かりやすく提供される」(37.5%)、「近くに美術館・博物館ができる」(36.2%)、「著名な芸術家の展示会が開催される」(28.9%)、「交通の便が良くなる」(25.1%)の順が続いている。

年代別に見ると、18～29歳では「近隣に飲食店や商業施設が充実する」が23.7%と30歳以上に比べて高くなっている。

居住地別に見ると、福岡地域では「入場料が安くなる」が46.1%と他地域に比べてやや高い。

【県民】図表 16-1 美術館・博物館へもっと行きやすくなる条件



【県民】図表 16-2 美術館・博物館へもっと行きやすくなる条件

		合 計	美 術 館 ・ 博 物 館 が 可 能	交 通 の 便 が 良 く な る	入 場 料 が 安 く な る	閉 館 時 間 が 遅 く な り 夜 間 で も 鑑 賞 で き る よ う に な る	開 催 情 報 が 分 かり や す く 提 供 さ れ る	著 名 な 芸 術 家 の 展 示 会 が 開 催 さ れ る	近 隣 に 飲 食 店 や 商 業 施 設 が 充 実 す る	観 光 ガ イ ド や マ ッ プ に 多 く 掲 載 さ れ て い る	施 設 と の 共 同 バ ス が あ り 安 く 周 遊 で き る	他 の 美 術 館 ・ 博 物 館 や 観 光	そ の 他	特 に な い ・ 分 か ら な い	無 回 答
全 体 (N=1468)		1468	36.2	25.1	40.8	16.6	37.5	28.9	13.0	9.1	14.5	5.9	9.6	2.6	
性 別	男 性	620	35.1	18.6	36.4	15.1	35.3	25.8	11.8	7.3	10.7	6.3	11.7	1.8	
	女 性	839	36.8	29.4	43.8	17.8	38.9	30.9	13.9	10.4	17.4	5.6	8.2	3.1	
年 代	18歳～29歳	118	34.0	18.3	36.0	17.2	42.7	37.8	23.7	9.9	12.3	5.1	4.0	2.1	
	30歳～39歳	205	37.3	23.9	42.7	17.5	43.6	27.9	19.5	5.1	11.2	9.6	7.1	0.0	
	40歳～49歳	275	35.0	23.2	44.2	22.2	34.2	33.5	13.5	9.5	11.7	8.7	3.7	2.9	
	50歳～59歳	245	34.7	26.5	46.8	25.0	46.1	35.9	18.0	11.5	12.9	5.7	9.4	0.6	
	60歳～69歳	291	38.6	24.0	46.4	15.4	33.6	27.3	9.6	8.1	19.3	3.1	9.9	3.6	
	70歳以上	331	36.2	29.4	28.6	5.9	31.4	19.0	4.1	9.9	16.3	4.2	18.0	4.6	
居 住 地	北九州 地域	373	34.6	25.3	35.4	15.4	37.6	27.5	13.8	9.3	12.9	5.3	11.5	1.1	
	福岡 地域	733	35.1	26.0	46.1	18.0	39.7	32.0	12.9	9.0	16.5	7.2	7.0	3.1	
	筑後 地域	234	39.4	22.5	36.0	14.6	32.6	24.0	12.3	9.1	10.7	3.9	13.8	3.1	
	筑豊 地域	129	41.6	23.8	34.3	15.2	33.1	24.3	13.2	8.5	14.1	3.5	11.4	2.9	
世 帯 構 成	単身世帯（ひとり暮らし）	231	33.0	30.0	39.8	25.4	39.0	25.7	13.5	10.8	17.4	3.1	7.8	4.4	
	夫婦のみ	370	37.2	26.2	47.9	11.1	37.6	29.2	6.8	10.5	16.8	4.8	10.0	1.6	
	親子同居（2世代同居）	726	35.6	21.2	38.2	17.6	37.2	30.1	16.6	7.3	12.5	7.5	10.0	2.0	
	親と子と孫（3世代同居）	90	41.2	34.7	32.8	9.7	34.7	29.1	10.7	10.4	9.7	3.9	7.5	4.5	
	兄弟・姉妹同居	10	44.1	66.0	57.4	27.6	33.7	25.9	18.8	30.7	66.9	11.0	0.0	6.4	
	その他	33	41.9	24.9	44.0	5.7	34.6	27.6	10.6	11.8	10.6	7.5	18.1	1.1	
及 同 居 の 子 の 学 有 無	同居の子 あり	616	34.4	21.5	38.5	13.4	34.9	25.9	14.4	6.5	11.1	6.7	11.2	2.9	
	未就学児	155	32.3	19.7	39.3	9.4	33.2	22.8	20.1	5.4	8.5	14.5	8.6	2.4	
	小学生	127	37.3	23.7	48.2	12.6	31.9	26.6	13.0	6.0	9.5	4.3	8.8	1.8	
	中学生	54	34.6	25.7	35.0	14.2	37.2	32.9	12.7	5.7	1.1	7.7	8.1	4.6	
	高校生	36	26.6	29.2	48.3	24.6	41.0	30.3	13.1	6.8	9.6	3.4	5.9	5.2	
	大学・短大・高専以上や社会人	241	35.3	19.7	32.8	14.5	36.5	25.0	12.4	7.6	16.4	3.3	15.1	3.0	
	同居の子 なし	832	37.5	27.4	42.6	18.8	39.5	31.0	12.2	11.1	16.8	5.2	8.3	2.1	

3.「文化施設」について

（2） 福岡県立文化施設の認知

問12. 以下の福岡県立の文化施設のうち、あなたが知っているものはどれですか。

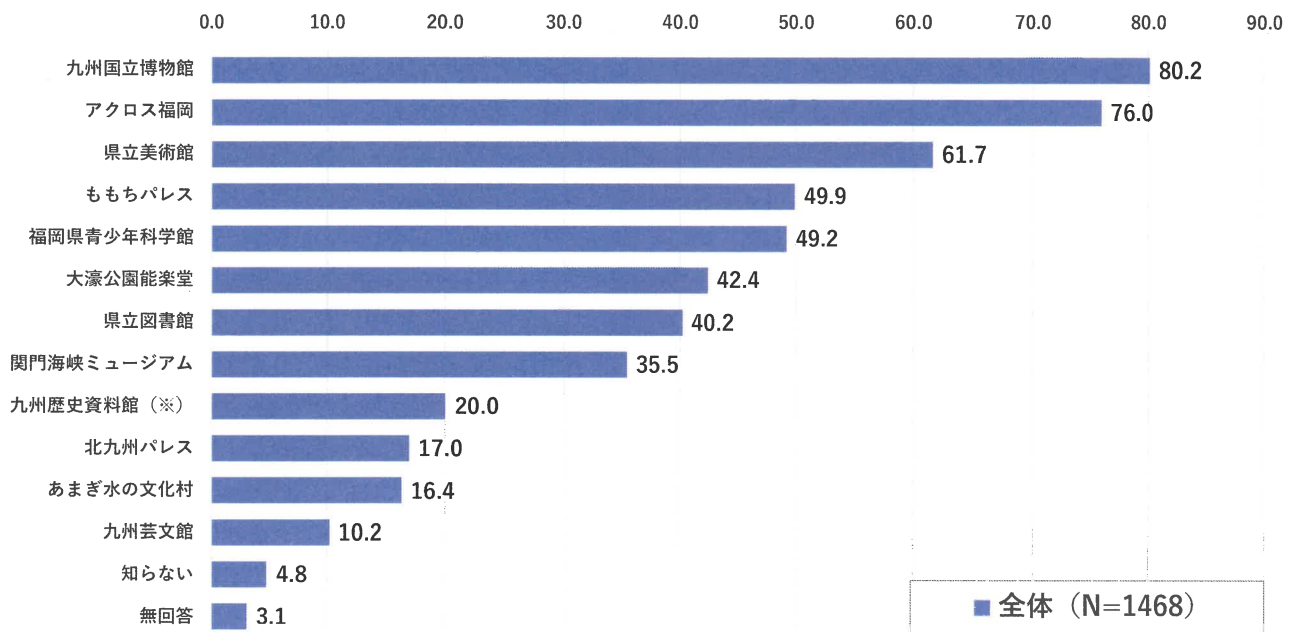
（○はいくつでも）

福岡県立の文化施設の認知率は、「九州国立博物館」が80.2%で最も高く、次いで「アクロス福岡」(76.0%)、「県立美術館」(61.7%)、「ももちパレス」(49.9%)、「福岡県青少年科学館」(49.2%)の順で続いている。全ての施設を知らない非認知率は4.8%となっている。

年代別に見ると、40～49歳、50～59歳の認知率が相対的に高く、特に上位の施設においては認知率の高さが他の年代に比べても顕著である。

居住地別に見ると、それぞれ居住地域内にある施設の認知率が高くなっているが、「福岡県青少年科学館」においては、福岡地域と筑後地域の認知率が6割台となっており、北九州地域と筑豊地域の2割台に比べて地域差が顕著である。

【県民】図表 17-1 福岡県立文化施設の認知



（※）分館である求菩提資料館、甘木歴史資料館を含む

【県民】図表 17-2 福岡県立文化施設の認知

		合 計	ア ク ロ ス 福 岡	も も ち バ レ ス	大 濠 公 園 能 楽 堂	県 立 美 術 館	県 立 図 書 館	九 州 芸 文 館	あ ま ぎ 水 の 文 化 村	九 州 国 立 博 物 館	九 州 歴 史 資 料 館 （※）	福 岡 県 青 少 年 科 学 館	関 門 海 峡 ミ ュ ジ ア ム	北 九 州 バ レ ス	知 ら な い	無 回 答
全体(N=1468)		1468	76.0	49.9	42.4	61.7	40.2	10.2	16.4	80.2	20.0	49.2	35.5	17.0	4.8	3.1
性 別	男性	620	74.3	46.1	42.0	60.8	41.4	10.8	15.1	81.6	20.8	45.3	35.9	18.6	5.1	2.7
	女性	839	77.2	52.5	42.5	62.2	39.3	9.7	17.4	79.1	19.4	51.8	35.4	15.9	4.6	3.3
年 代	18歳～29歳	118	83.1	43.0	31.2	51.6	35.5	6.6	9.1	74.5	19.0	54.5	36.3	12.2	2.4	1.9
	30歳～39歳	205	85.9	51.1	35.8	62.3	47.4	6.7	11.2	78.4	17.8	57.7	32.1	19.0	2.9	0.9
	40歳～49歳	275	87.6	62.0	46.1	70.6	53.9	11.9	18.4	89.7	19.4	65.3	43.8	17.3	1.7	2.1
	50歳～59歳	245	86.2	65.6	55.4	70.4	44.3	9.5	19.1	86.3	20.7	61.3	43.0	20.3	3.0	1.9
	60歳～69歳	291	70.9	46.6	44.6	62.3	35.9	11.4	22.9	78.5	21.8	37.3	33.6	18.3	4.8	3.5
	70歳以上	331	54.5	32.6	35.8	50.1	26.5	12.0	12.9	72.3	19.6	29.9	26.4	13.6	10.8	6.0
居 住 地	北九州 地域	373	64.6	38.5	25.6	47.8	24.4	4.8	6.2	72.2	15.7	21.6	66.6	49.2	6.2	3.1
	福岡 地域	733	86.1	61.1	56.4	72.9	54.6	8.8	17.5	86.6	20.4	62.6	25.5	6.2	2.6	2.6
	筑後 地域	234	70.0	39.9	32.1	54.3	28.7	26.6	30.5	75.2	25.6	62.4	18.8	4.4	7.3	5.0
	筑豊 地域	129	62.5	37.8	30.2	51.0	24.9	4.7	13.8	76.0	20.5	29.0	32.3	14.4	8.8	2.6
世 帯 構 成	単身世帯（ひとり暮らし）	231	72.1	47.0	35.8	54.6	28.2	6.6	14.2	73.3	19.6	39.2	30.9	13.4	8.0	5.2
	夫婦のみ	370	69.3	43.9	43.9	60.5	38.7	12.1	14.7	80.0	20.5	45.7	34.8	16.6	5.4	4.5
	親子同居（2世代同居）	726	80.2	53.3	44.2	64.8	45.0	10.3	17.7	82.6	19.5	54.1	37.7	18.8	3.7	1.7
	親と子と孫（3世代同居）	90	76.8	54.2	44.9	55.4	34.8	9.5	23.9	77.7	21.6	53.5	31.7	16.5	5.0	1.1
	兄弟・姉妹同居	10	89.7	49.5	25.2	70.8	45.6	11.0	0.0	93.6	21.9	36.6	36.8	36.8	0.0	6.4
	その他	33	77.2	53.9	29.7	69.2	40.0	16.3	10.5	79.5	23.7	45.9	40.6	7.4	0.0	5.0
及 同 居 の 子 の 学 有 齢 無	同居の子 あり	616	79.0	52.6	42.0	62.5	43.1	9.4	19.4	81.7	19.4	53.1	38.1	20.1	4.1	2.2
	未就学児	155	83.7	51.8	43.4	62.6	45.6	8.2	13.1	81.3	14.6	62.0	39.4	19.2	2.8	1.2
	小学生	127	80.7	54.9	36.4	67.3	53.5	9.6	20.7	83.3	19.6	67.5	43.0	21.8	2.7	2.3
	中学生	54	86.5	64.3	43.1	61.3	52.4	6.9	25.8	85.0	30.9	59.4	42.9	17.1	0.7	2.3
	高校生	36	87.3	67.7	44.1	58.5	34.4	1.7	21.1	91.3	7.9	47.4	47.9	18.4	2.7	0.0
	大学・短大・高専以上や社会人	241	73.1	47.6	43.9	61.1	33.2	11.4	21.3	80.1	21.9	39.9	32.7	20.4	6.0	3.0
	同居の子 なし	832	73.6	47.8	42.8	61.0	37.7	10.6	14.1	79.0	20.3	46.5	33.5	14.8	5.4	3.7

（※）分館である求菩提資料館、甘木歴史資料館を含む

3.「文化施設」について

（3） この1年で利用した福岡県立文化施設

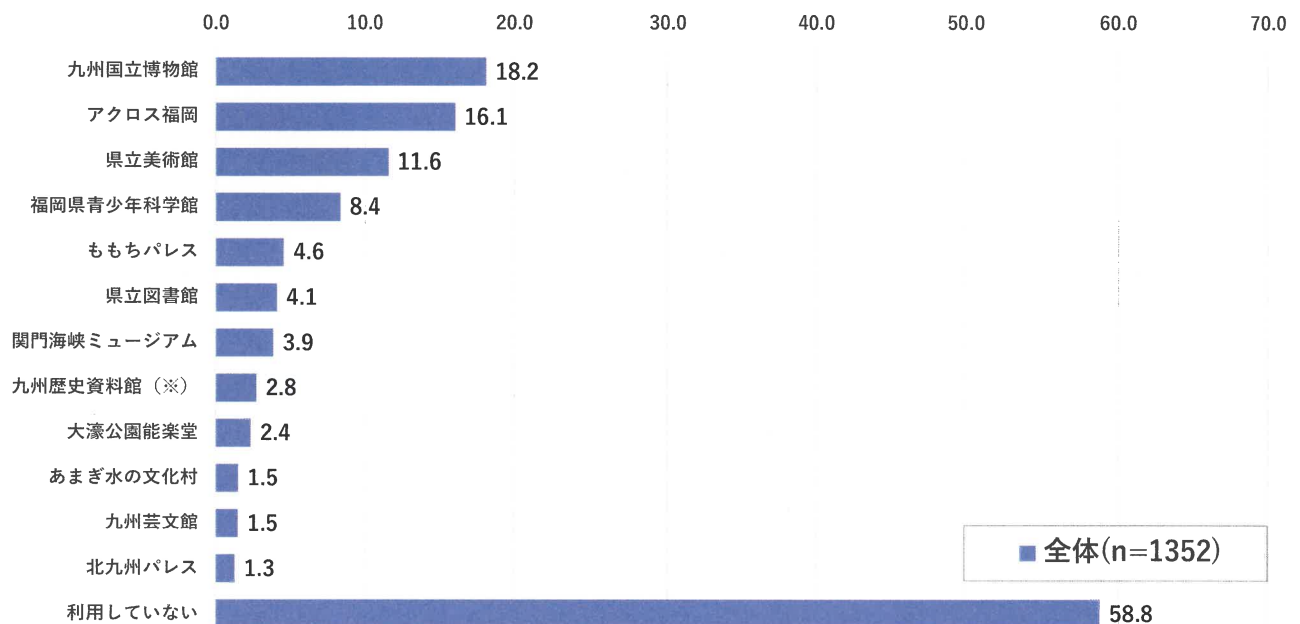
問13. <知っている福岡県立の文化施設>のうち、この1年間に文化芸術の鑑賞や活動のために利用したことがあるものはどれですか。（〇はいくつでも）

この1年で利用した福岡県立の文化施設は、「九州国立博物館」が18.2%で最も高く、次いで「アクロス福岡」（16.1%）、「県立美術館」（11.6%）の順で続いている。その他の施設の利用は1割未満となっており、全ての施設を利用していない非利用者が58.8%を占めている。

年代別に見ると、50～59歳では「九州国立博物館」が24.8%と他の年代よりもやや高い。「九州国立博物館」は若い年代の利用が比較的低い傾向となっている。

末子の学齢別に見ると、未就学児と小学生が末子の場合「福岡県青少年科学館」の利用が2割前後と高くなっている。

【県民】図表 18-1 この1年で利用した福岡県立文化施設



（※）分館である求菩提資料館、甘木歴史資料館を含む

【県民】図表 18-2 この1年で利用した福岡県立文化施設

		合 計	ア ク ロ ス 福 岡	も ち パ レ ス	大 濠 公 園 能 楽 堂	県 立 美 術 館	県 立 図 書 館	九 州 芸 文 館	あ ま ぎ 水 の 文 化 村	九 州 国 立 博 物 館	九 州 歴 史 資 料 館 （※）	福 岡 県 青 少 年 科 学 館	関 門 海 峡 ミ ュ ー ジ ア ム	北 九 州 パ レ ス	利 用 し て い な い	無 回 答
全体(N=1352)		1352	16.1	4.6	2.4	11.6	4.1	1.5	1.5	18.2	2.8	8.4	3.9	1.3	58.8	0.0
性 別	男性	571	11.8	3.1	1.9	9.2	4.4	1.3	1.8	15.9	2.2	7.6	2.3	1.0	64.2	0.0
	女性	773	18.7	5.8	2.7	13.3	3.9	1.7	1.3	19.7	2.9	9.0	5.1	1.5	55.1	0.0
年 代	18歳～29歳	112	23.9	6.3	0.9	9.2	4.4	0.0	1.7	9.4	5.0	10.4	5.2	0.0	55.7	0.0
	30歳～39歳	197	12.1	3.4	0.5	8.7	3.7	1.3	2.2	10.2	2.5	14.0	3.3	0.0	62.1	0.0
	40歳～49歳	264	15.4	1.2	1.6	13.1	8.6	0.5	2.0	15.7	0.8	13.5	4.3	1.2	58.4	0.0
	50歳～59歳	233	23.7	6.9	3.9	14.2	4.7	1.8	1.4	24.8	1.1	6.8	3.4	1.3	51.6	0.0
	60歳～69歳	267	9.6	3.9	2.0	11.0	2.1	1.5	1.6	20.6	3.9	5.6	4.2	2.1	62.5	0.0
	70歳以上	276	15.8	6.7	4.1	11.8	1.5	3.1	0.6	21.2	3.6	2.8	3.5	2.0	60.8	0.0
居 住 地	北九州 地域	338	6.5	1.5	1.2	4.3	2.2	0.3	0.0	11.1	3.4	3.1	9.9	4.0	68.7	0.0
	福岡 地域	695	23.9	6.8	3.3	16.6	6.2	0.5	1.6	21.5	2.4	11.7	1.6	0.3	50.8	0.0
	筑後 地域	205	9.2	3.0	1.8	8.0	1.5	7.1	3.9	16.1	3.0	8.9	1.5	0.3	66.1	0.0
	筑豊 地域	114	9.3	3.0	1.3	9.6	1.7	1.0	1.3	22.5	2.3	3.0	4.0	1.3	64.9	0.0
世 帯 構 成	単身世帯（ひとり暮らし）	200	17.5	5.1	3.5	12.4	5.2	1.6	1.4	17.8	3.4	8.1	3.9	1.0	58.3	0.0
	夫婦のみ	334	13.3	3.7	2.7	12.0	3.1	3.3	1.0	23.5	2.7	4.1	2.4	1.7	59.5	0.0
	親子同居（2世代同居）	686	16.8	4.8	1.5	11.9	4.7	0.9	1.9	16.4	2.4	10.4	3.8	1.2	59.2	0.0
	親と子と孫（3世代同居）	85	18.4	4.4	6.4	8.5	1.9	0.0	1.4	11.5	1.2	8.4	5.9	2.2	56.9	0.0
	兄弟・姉妹同居	9	11.7	0.0	0.0	11.7	0.0	0.0	0.0	11.7	0.0	32.8	23.4	0.0	55.5	0.0
	その他	32	7.2	9.3	0.0	7.2	3.3	1.9	1.9	13.1	6.0	3.9	9.9	0.0	58.1	0.0
及 び 同 居 の 子 の 有 無	同居の子 あり	577	15.7	5.0	1.3	11.4	4.3	0.7	2.3	15.2	2.5	11.6	5.0	1.7	59.0	0.0
	未就学児	149	10.9	2.9	1.7	10.6	5.6	0.8	1.2	9.9	2.0	20.2	6.9	0.0	56.3	0.0
	小学生	121	17.8	4.0	0.0	9.6	8.3	0.3	5.7	11.8	3.3	18.6	5.4	0.9	56.7	0.0
	中学生	52	24.8	3.6	0.0	11.6	3.6	1.2	0.0	15.2	0.0	4.8	5.2	2.0	62.5	0.0
	高校生	35	15.8	5.4	5.4	26.1	5.4	0.0	5.4	28.6	0.0	5.4	5.4	3.0	58.1	0.0
	大学・短大・高専以上や社会人	219	15.7	7.3	1.5	10.5	1.2	0.7	1.3	18.8	3.3	4.7	3.5	2.6	61.6	0.0
	同居の子 なし	756	16.3	4.1	3.2	12.1	4.1	2.2	1.0	20.3	2.6	6.0	3.1	1.0	58.8	0.0

（※）分館である求菩提資料館、甘木歴史資料館を含む

4. 文化芸術の「参加」について

（1） この1年間に自ら実践した文化芸術活動のジャンル

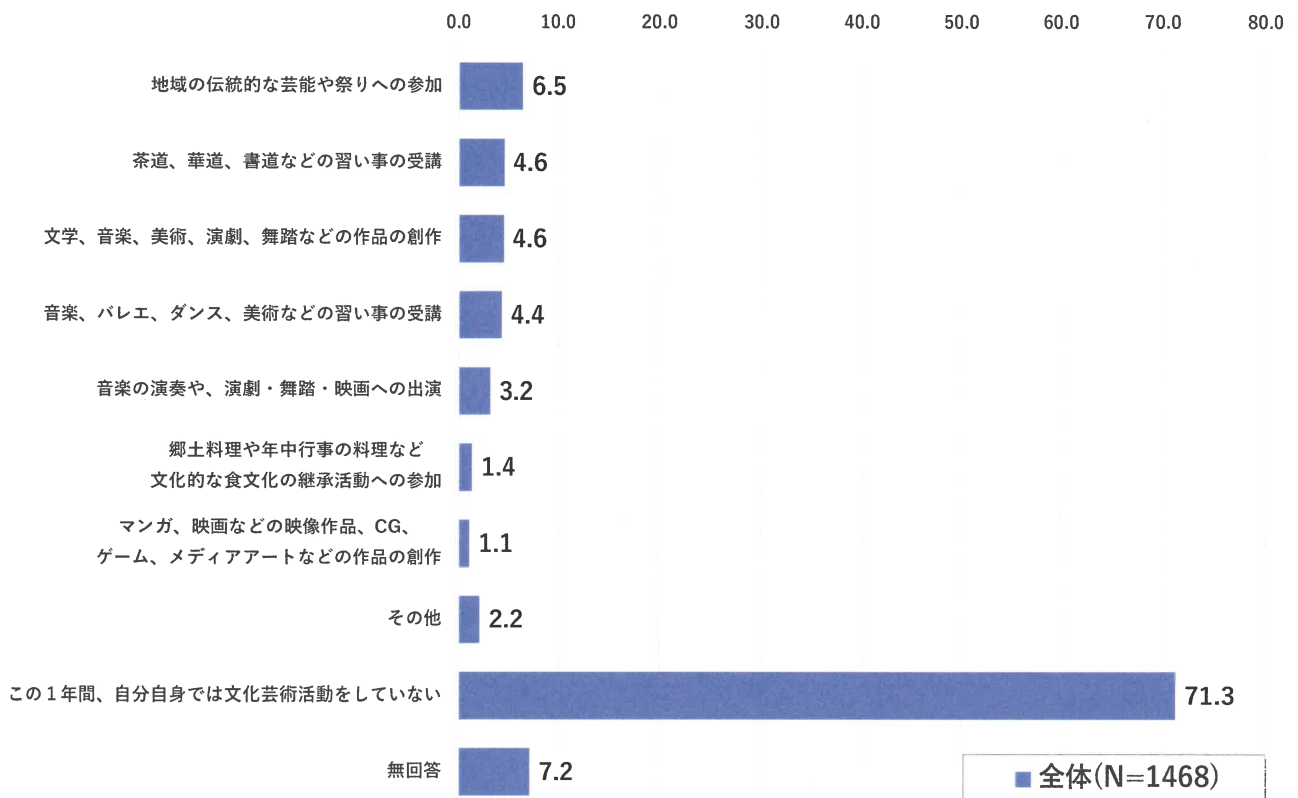
問14. この1年間に、鑑賞ではなく、自ら文化芸術活動の実践（創作や出演、習い事、祭りや体験活動へ参加など）をしたジャンルは何ですか。（○はいくつでも）

この1年間に自ら実践した文化芸術活動のジャンルは、「地域の伝統的な芸能や祭りへの参加」が6.5%と最も高いが、全てのジャンルが1割未満であり「活動をしていない」割合が71.3%を占めている。「活動をしていない」と無回答を除いた、実践した県民の割合は21.5%となっている。

年代別に見ると、30～39歳では「活動をしていない」が82.1%と他の年代より高い。

末子の学齢別に見ると、中学生が末子の場合「活動していない」が85.5%と特に高くなっている。

【県民】図表 19-1 この1年間に自ら実践した文化芸術活動のジャンル



II.調査結果 第1章 県民に対する文化芸術活動実態調査（令和2年）

【県民】図表 19-2 この1年間に自ら実践した文化芸術活動のジャンル

		合計	文学、音楽、美術、演劇、舞踏などの作品の創作	マンガ、映画などの映像作品、アートなどの作品の制作	音楽の演奏や、演劇、舞踏、映画への出演	音楽、バレエ、ダンス、美術などの習い事の受講	茶道、華道、書道などの習い事の受講	郷土料理や年中行事の料理活動への参加	地域の伝統的な芸能や祭りへの参加	その他	この1年間、自分自身では文化芸術活動をしていない	無回答
	全体(N=1468)	1468	4.6	1.1	3.2	4.4	4.6	1.4	6.5	2.2	71.3	7.2
性別	男性	620	2.3	1.2	3.1	2.1	1.9	1.2	8.2	1.0	77.8	5.9
	女性	839	6.3	1.1	3.3	6.1	6.7	1.5	5.3	3.0	66.4	8.1
年代	18歳～29歳	118	8.3	4.5	6.7	4.6	3.9	0.0	1.9	0.9	69.4	4.3
	30歳～39歳	205	2.2	2.0	2.8	2.3	1.7	0.0	6.3	0.5	82.1	3.1
	40歳～49歳	275	6.1	0.8	4.4	3.0	3.0	1.4	7.2	1.6	77.5	2.1
	50歳～59歳	245	3.6	0.2	4.0	5.2	6.3	1.6	7.1	1.2	74.0	3.2
	60歳～69歳	291	2.7	0.8	1.5	4.1	5.0	3.0	7.8	4.1	66.2	11.5
	70歳以上	331	5.9	0.6	2.1	6.3	6.6	1.1	6.1	3.1	62.6	14.3
居住地	北九州 地域	373	2.2	1.4	2.8	3.7	3.9	0.8	7.0	0.3	73.3	8.1
	福岡 地域	733	5.7	0.8	3.9	4.9	4.9	1.8	4.6	2.8	70.9	6.7
	筑後 地域	234	5.2	1.6	2.1	3.9	5.0	1.6	10.7	3.1	70.0	7.0
	筑豊 地域	129	4.1	1.5	2.6	4.1	4.7	0.3	7.9	2.1	70.4	7.9
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	231	6.4	2.2	2.2	3.6	4.7	0.7	6.1	1.5	70.8	10.3
	夫婦のみ	370	4.2	0.5	1.9	3.4	5.6	2.4	6.8	3.7	68.7	10.8
	親子同居（2世代同居）	726	4.1	1.0	4.4	4.5	3.9	1.0	6.5	1.5	74.0	4.1
	親と子と孫（3世代同居）	90	5.5	2.3	3.4	9.6	7.0	0.0	6.9	2.1	63.2	9.0
	兄弟・姉妹同居	10	11.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.1	3.9
	その他	33	3.7	0.0	0.0	5.7	5.7	1.8	7.9	5.7	62.6	10.6
同居の子どもがいない	同居の子 あり	616	2.9	0.5	3.5	5.4	3.2	0.6	7.0	1.6	74.2	5.4
	未就学児	155	4.5	0.7	5.0	6.9	0.9	0.0	3.9	0.2	81.1	2.3
	小学生	127	2.3	1.0	3.6	4.9	3.9	0.8	13.6	2.0	70.2	6.1
	中学生	54	0.7	0.0	0.0	0.7	5.5	0.0	3.7	3.5	85.5	1.1
	高校生	36	1.0	1.0	10.4	7.9	8.1	1.0	1.7	1.0	68.5	2.9
	大学・短大・高専以上や社会人	241	2.5	0.2	2.2	5.4	3.1	1.0	7.1	1.9	70.7	7.7
	同居の子 なし	832	5.9	1.6	3.1	3.6	5.5	1.7	6.2	2.7	69.4	8.4

4. 文化芸術の「参加」について

（2） この1年間に自ら実践した文化芸術活動の頻度

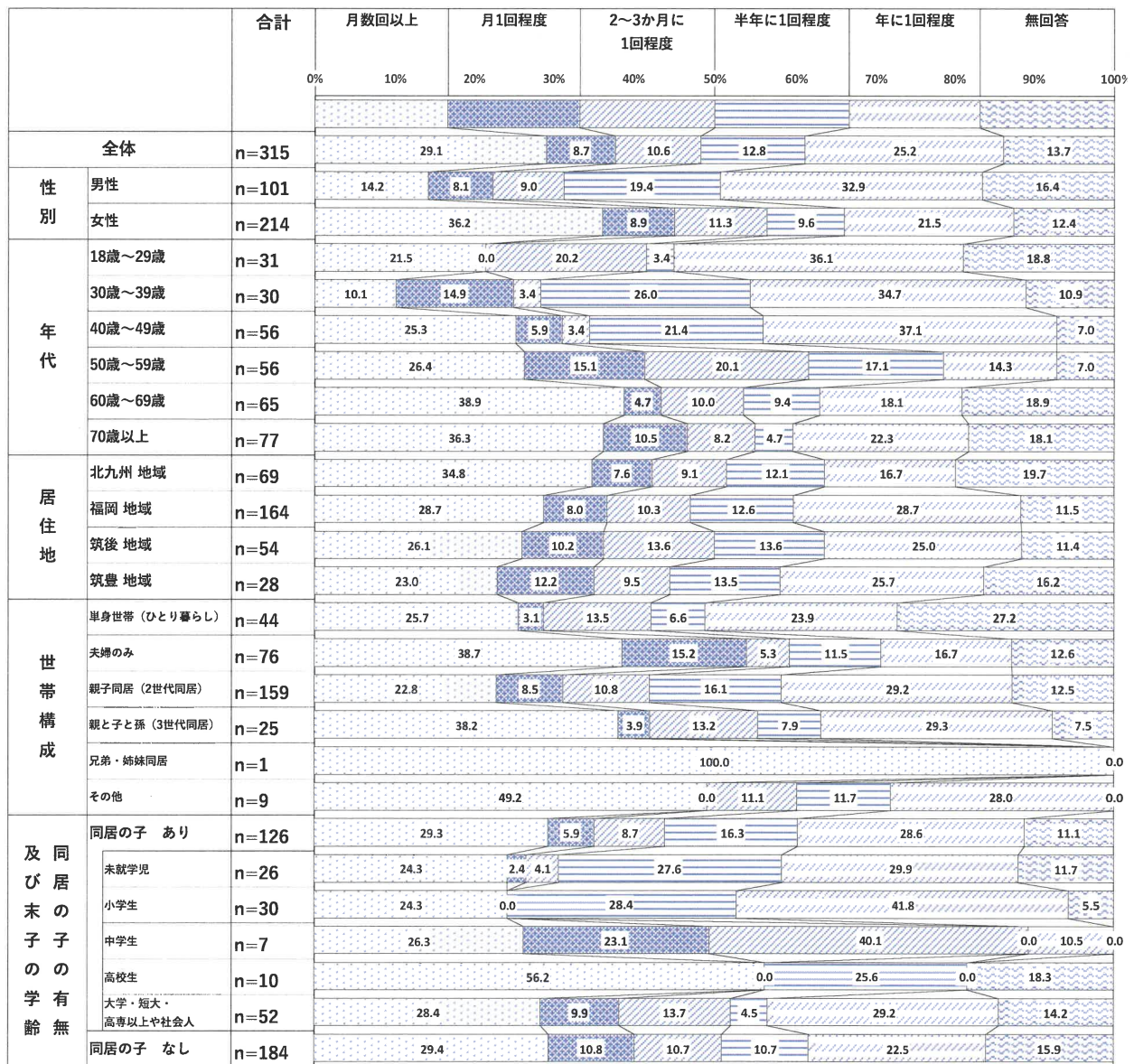
問14-1. あなたは、上記で提示したような創作や出演、習い事、地域の芸能や祭りへの参加などの活動を、この1年間でどの程度しましたか。（○は1つだけ）

この1年間に自ら実践した文化芸術活動の頻度は、「月数回以上」（29.1％）の高頻度者と「年に1回程度」（25.2％）の低頻度者の割合がそれぞれ高くなっている。

年代別に見ると、18～29歳、30～39歳、40～49歳では「年に1回程度」が35％前後と50歳以上に比べて高く、活動の頻度は比較的低い。

居住地別に見ると、北九州地域では他の地域に比べて「月数回以上」が34.8％とやや高く、「年に1回程度」が16.7％とやや低くなっており、活動の頻度は比較的高い。

【県民】図表20 この1年間に自ら実践した文化芸術活動の頻度



4. 文化芸術の「参加」について

（3） 同居の末子が、学校以外でこの1年間に行った文化芸術活動

問15. あなたと同居しているお子さんの中で「最も下の年齢（末子）のお子さん」は、学校以外でこの1年間に、どのような内容の文化芸術活動をしましたか。（〇はいくつでも）

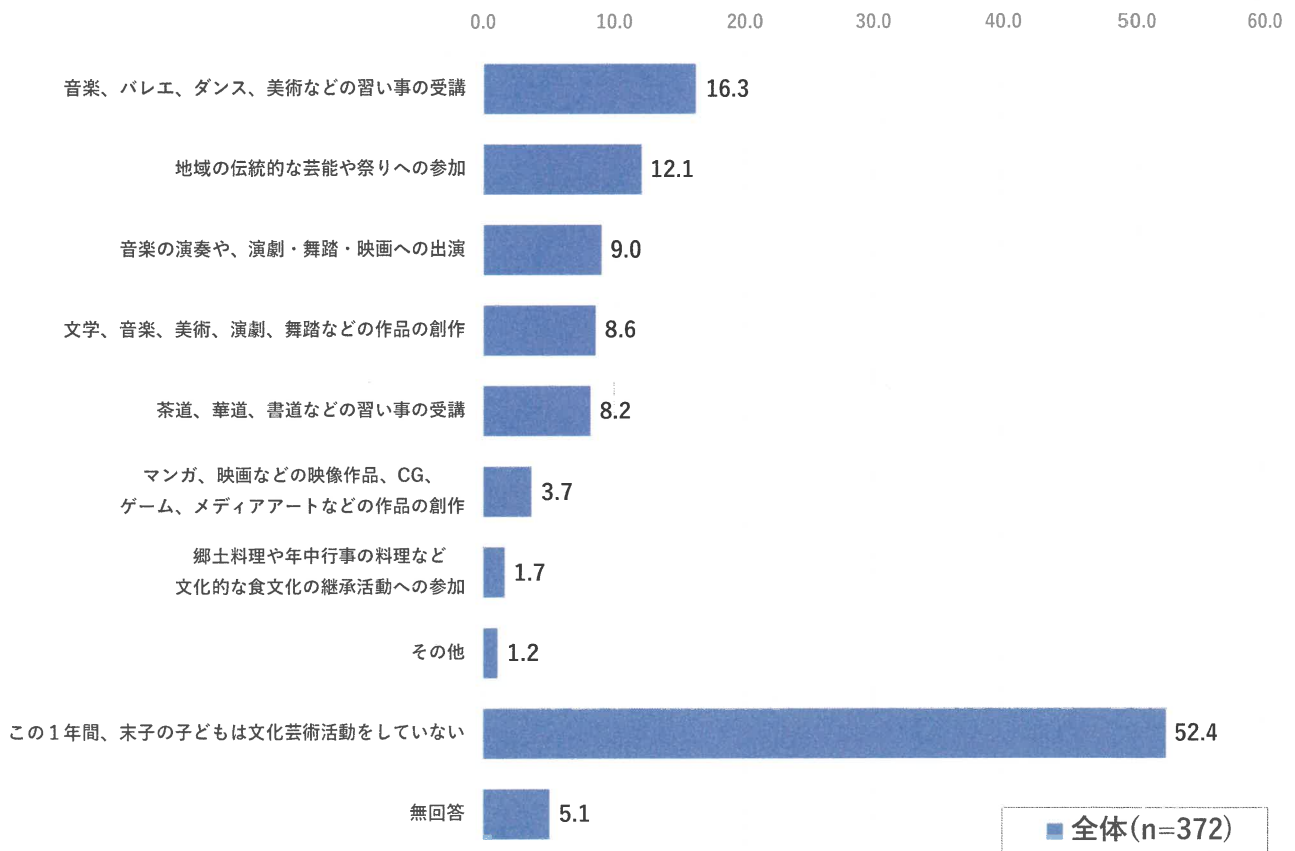
同居の末子が、学校以外でこの1年間に行った文化芸術活動は、「音楽、バレエ、ダンス、美術などの習い事の受講」が16.3%で最も高く、「地域の伝統的な芸能や祭りへの参加」が12.1%で続いている。その他の活動は1割未満であり「活動をしていない」割合が52.4%に達している。「活動をしていない」と無回答を除いた、活動した割合は42.5%となっている。

年代別に見ると、30～39歳では「活動をしていない」が71.6%と他の年代より高い。

居住地別に見ると、福岡地域では「活動をしていない」が45.6%と他の地域よりも低く、活動した割合は48.3%と比較的高い。

末子の学齢別に見ると、未就学児が末子の場合「活動をしていない」が67.4%と高くなっている。

【県民】図表 21-1 同居の末子が、学校以外でこの1年間に行った文化芸術活動



【県民】図表 21-2 同居の末子が、学校以外でこの1年間に行った文化芸術活動

		合計	文学、音楽、美術、演劇、舞踏などの作品の制作	マンガ、映画などの映像作品、ゲーム、メデ	音楽の演奏や、演劇、舞踏・映画への出演	音楽、バレエ、ダンス、美術などの習い事の受講	茶道、華道、書道などの習い事の受講	活動への参加	郷土料理や年中行事の料理など文化的な食文化の継承	地域の伝統的な芸能や祭りへの参加	その他	この1年間、末子の子どもは文化芸術活動をしていない	無回答
	全体(N=372)	372	8.6	3.7	9.0	16.3	8.2	1.7	12.1	1.2	52.4	5.1	
性別	男性	157	10.1	5.7	8.6	17.6	2.9	2.4	12.3	1.2	55.3	3.2	
	女性	214	7.6	2.3	9.4	15.5	12.2	1.2	12.1	1.2	49.9	6.6	
年代	18歳～29歳	10	18.4	0.0	0.0	18.4	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	34.6	
	30歳～39歳	111	7.7	1.7	4.4	9.0	0.6	1.7	9.8	0.0	71.6	2.7	
	40歳～49歳	168	7.3	3.8	6.7	19.7	13.3	1.1	12.7	1.1	48.3	3.4	
	50歳～59歳	54	10.5	3.5	23.5	19.0	4.7	1.1	14.8	3.5	35.4	11.0	
	60歳～69歳	15	12.6	16.7	23.6	30.6	0.0	12.6	20.7	4.1	57.2	4.1	
	70歳以上	15	13.0	7.8	9.4	7.2	35.3	0.0	13.6	0.0	27.4	2.6	
居住地	北九州 地域	85	3.7	0.0	13.6	12.3	6.2	0.0	11.1	0.0	60.5	4.9	
	福岡 地域	215	11.4	5.3	8.8	20.2	9.6	2.6	11.4	1.8	45.6	6.1	
	筑後 地域	49	5.0	1.3	5.0	10.0	6.3	1.3	17.5	1.3	62.5	2.5	
	筑豊 地域	23	8.2	8.2	3.3	8.2	6.6	0.0	11.5	0.0	63.9	1.6	
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	夫婦のみ	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	親子同居（2世代同居）	321	9.7	3.8	8.9	17.1	8.1	2.0	12.3	1.4	51.8	4.8	
	親と子と孫（3世代同居）	42	2.4	4.2	12.3	13.9	10.3	0.0	13.6	0.0	47.1	8.3	
	兄弟・姉妹同居	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	その他	9	0.0	0.0	0.0	0.0	4.1	0.0	0.0	0.0	95.9	0.0	
及び同居の末子の学齢無	同居の子 あり	372	8.6	3.7	9.0	16.3	8.2	1.7	12.1	1.2	52.4	5.1	
	未就学児	155	8.0	0.2	4.7	10.5	0.2	0.0	8.7	0.0	67.4	5.4	
	小学生	127	8.9	5.5	9.8	24.1	18.2	3.5	19.1	0.5	37.0	2.6	
	中学生	54	11.7	8.4	18.3	20.2	12.1	3.5	10.7	3.5	41.5	10.1	
	高校生	36	5.6	5.2	11.0	8.1	1.7	0.0	4.6	5.2	57.9	5.2	
	大学・短大・高専以上や社会人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	同居の子 なし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

4. 文化芸術の「参加」について

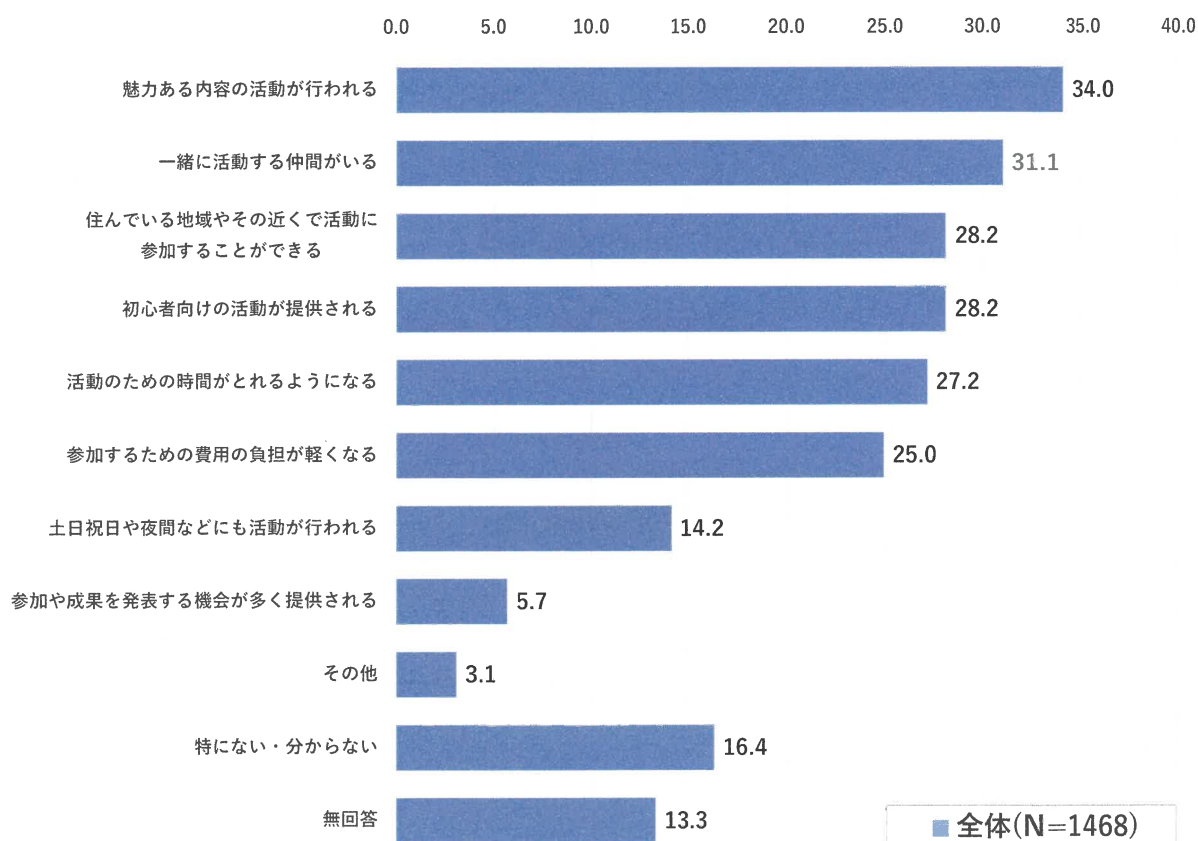
（4） 文化芸術活動に参加しやすくなる条件

問16. あなたは、どうすれば文化芸術活動（鑑賞以外）にもっと参加しやすくなると思いますか。（〇はいくつでも）

文化芸術活動に参加しやすくなるには、「魅力ある内容の活動が行われる」が34.0%で最も高く、次いで「一緒に活動する仲間がいる」（31.1%）、「住んでいる地域やその近くで活動に参加することができる」「初心者向けの活動が提供される」（共に28.2%）、「活動のための時間がとれるようになる」（27.2%）が3割前後で続いている。

年代別に見ると、18～29歳では「一緒に活動する仲間がいる」（47.6%）、「活動のための時間がとれるようになる」（45.1%）が高い。30～39歳でも「活動のための時間がとれるようになる」（42.4%）は高く、「土日祝日や夜間などにも活動が行われる」（26.9%）、「初心者向けの活動が提供される」（40.0%）についても他の年代に比べて高くなっている。

【県民】図表 22-1 文化芸術活動に参加しやすくなる条件



II.調査結果 第1章 県民に対する文化芸術活動実態調査（令和2年）

【県民】図表 22-2 文化芸術活動に参加しやすくなる条件

		合計	活動が 行われ る	魅力 ある 内容 の	一 緒に 活動 する 仲間 が いる	活 動 の た め の 時 間 が と れ る よ う に な る	活 動 が 行 わ れ る	土 日 祝 日 や 夜 間 な ど に も	参 加 す る こ と が で き る	住 ん で い る 地 域 や そ の 近 く で 活 動 に 参 加 す る こ と が で き る	参 加 す る た め の 費 用 の 負 担 が 軽 く な る	参 加 す る た め の 費 用 の 負 担 が 軽 く な る	初 心 者 向 け の 活 動 が 提 供 さ れ る	参 加 や 成 果 を 発 表 す る 機 会 が 多 く 提 供 さ れ る	参 加 や 成 果 を 発 表 す る 機 会	そ の 他	特 に な い ・ 分 か ら な い	無 回 答
全体(N=1468)		1468	34.0	31.1	27.2	14.2	28.2	25.0	28.2	5.7	3.1	16.4	13.3					
性別	男性	620	30.9	28.2	24.8	11.8	22.6	18.0	22.2	5.7	3.0	18.7	14.1					
	女性	839	35.8	32.7	28.8	16.1	32.1	29.8	32.1	5.7	3.2	14.8	12.8					
年代	18歳～29歳	118	41.5	47.6	45.1	17.4	23.2	23.7	32.5	6.5	3.2	4.8	9.4					
	30歳～39歳	205	43.8	33.9	42.4	26.9	33.9	32.2	40.0	4.0	3.3	6.5	8.4					
	40歳～49歳	275	39.8	39.2	36.4	18.7	30.8	32.8	27.2	10.9	6.8	9.2	5.3					
	50歳～59歳	245	38.4	28.3	31.0	16.1	27.7	22.8	31.6	3.8	1.1	14.3	17.7					
	60歳～69歳	291	30.2	23.5	18.9	8.3	29.7	24.1	25.7	3.6	1.3	17.9	18.4					
	70歳以上	331	19.9	25.2	7.8	4.9	22.6	17.1	19.2	5.5	3.0	32.9	16.8					
居住地	北九州 地域	373	30.3	28.1	26.1	14.9	25.8	23.6	27.8	5.9	2.0	18.0	14.3					
	福岡 地域	733	37.4	35.1	30.2	16.0	30.4	28.9	30.4	5.9	3.9	14.4	10.6					
	筑後 地域	234	31.1	25.6	23.5	7.8	26.4	17.8	21.9	5.5	2.6	17.0	20.1					
	筑豊 地域	129	30.5	27.3	20.5	13.2	25.5	19.9	27.9	4.4	2.9	21.7	14.1					
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	231	32.3	32.1	24.5	21.9	25.6	28.2	25.9	6.8	2.2	19.9	15.6					
	夫婦のみ	370	30.2	28.5	16.5	6.4	24.7	19.5	23.8	3.6	1.3	20.4	20.1					
	親子同居（2世代同居）	726	36.5	30.9	33.0	16.3	30.9	27.7	31.5	6.7	4.4	13.1	8.9					
	親と子と孫（3世代同居）	90	29.9	33.4	34.2	11.2	25.1	19.8	18.4	5.6	2.1	21.4	13.5					
	兄弟・姉妹同居	10	64.4	61.4	41.0	18.8	45.0	53.5	37.7	3.9	0.0	3.9	6.4					
	その他	33	31.0	39.4	17.9	10.6	30.6	15.0	43.7	1.8	5.7	12.9	11.8					
及び同居の 末子の 学齢無	同居の子 あり	616	34.2	29.1	30.2	14.6	30.1	26.6	27.6	6.8	4.6	15.3	7.6					
	未就学児	155	37.9	27.5	46.2	21.3	33.2	26.6	38.2	10.0	8.7	6.0	0.0					
	小学生	127	38.6	33.6	34.5	11.0	37.6	32.1	24.3	6.4	4.3	12.6	0.0					
	中学生	54	41.4	41.5	28.3	9.4	22.1	30.2	25.0	6.6	1.1	13.2	5.8					
	高校生	36	45.6	45.1	44.6	23.1	29.8	33.3	14.6	15.6	6.9	8.7	0.0					
	大学・短大・高専以上や社会人	241	26.8	23.1	16.3	12.4	26.4	22.1	25.4	3.8	2.7	23.6	17.6					
	同居の子 なし	832	33.8	32.2	25.1	13.8	26.8	24.0	28.3	5.0	1.8	17.3	17.2					

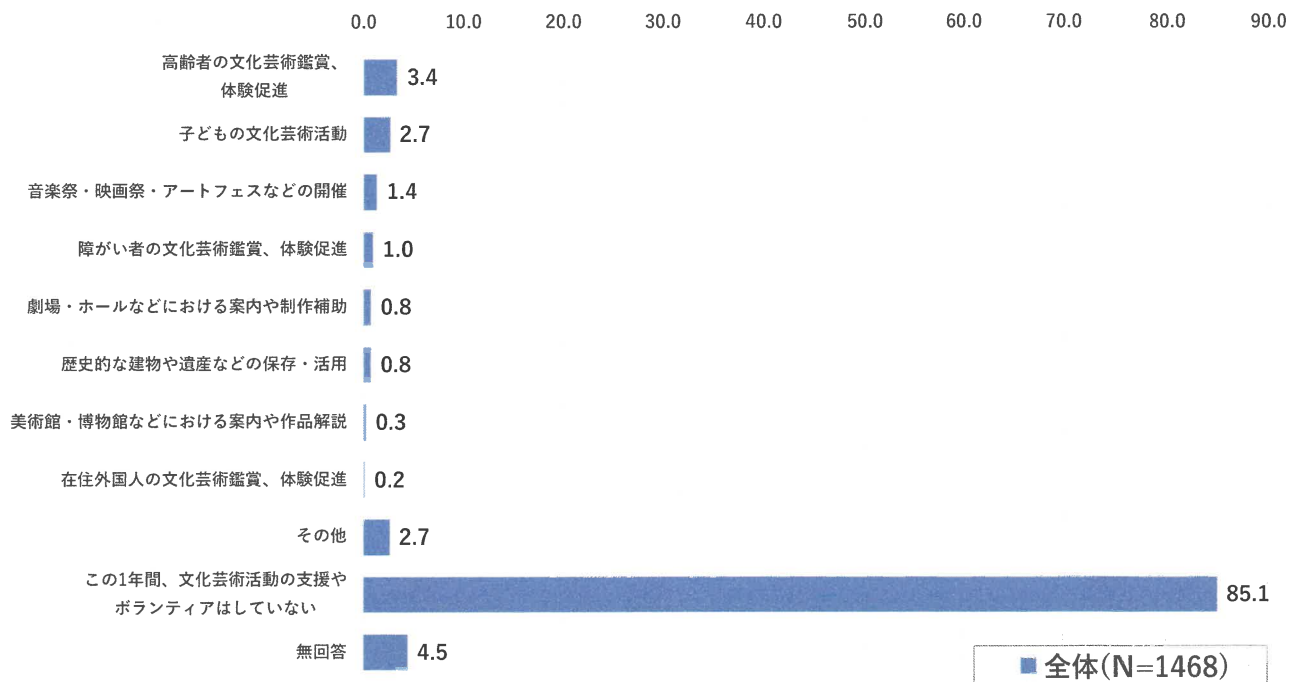
5. 文化芸術の「参加（企画・支援）」について

（1） この1年間の文化芸術活動の支援やボランティアの参加状況

問17. あなたは、この1年間に、以下のような文化芸術活動の支援やボランティアをしましたか。（〇はいくつでも）

この1年間の文化芸術活動の支援やボランティアの参加状況は、「高齢者の文化芸術鑑賞、体験促進」が3.4%、「子どもの文化芸術活動」が2.7%など見られるがいずれも参加状況は低く、「支援やボランティアはしていない」が85.1%を占めている。「支援やボランティアはしていない」と無回答を除いた、参加した割合は10.4%となっている。
年代別に見ると、30～39歳では「支援やボランティアはしていない」が91.0%と他の年代よりやや高い。

【県民】図表 23-1 この1年間の文化芸術活動の支援やボランティアの参加状況



【県民】図表 23-2 この1年間の文化芸術活動の支援やボランティアの参加状況

		合 計	子 ど も の 文 化 芸 術 活 動	高 齢 者 の 文 化 芸 術 鑑 賞 、 体 験 促 進	障 が い 者 の 文 化 芸 術 鑑 賞 、 体 験 促 進	在 住 外 国 人 の 文 化 芸 術 鑑 賞 、 体 験 促 進	美 術 館 ・ 博 物 館 な ど に お け る 案 内 や 作 品 解 説	劇 場 ・ ホ ー ル な ど に お け る 案 内 や 制 作 補 助	音 楽 祭 ・ 映 画 祭 ・ ア ー ト フェ ス チ バル な ど の 開 催	歴 史 的 な 建 物 や 遺 産 な ど の 保 存 ・ 活 用	そ の 他	この1年間、 文化芸術活動の支援や ボランティアはしていない	無 回 答
	全体(N=1468)	1468	2.7	3.4	1.0	0.2	0.3	0.8	1.4	0.8	2.7	85.1	4.5
性 別	男性	620	2.5	2.4	1.1	0.3	0.4	0.7	0.9	0.9	3.6	86.4	3.8
	女性	839	2.9	4.1	1.0	0.1	0.3	0.9	1.8	0.7	2.1	84.1	5.0
年 代	18歳～29歳	118	3.2	0.5	1.2	0.0	0.0	2.1	3.2	1.6	5.1	84.1	2.1
	30歳～39歳	205	1.8	1.5	1.2	0.0	1.1	0.9	1.0	0.5	2.3	91.0	2.4
	40歳～49歳	275	5.0	1.8	1.0	0.0	0.0	0.8	1.1	0.3	2.5	89.1	0.6
	50歳～59歳	245	3.6	3.5	0.8	0.0	0.0	0.8	0.2	0.2	2.8	88.6	1.7
	60歳～69歳	291	2.3	4.7	1.3	0.7	0.1	0.5	2.1	1.3	1.5	84.0	4.3
	70歳以上	331	0.9	5.6	0.7	0.2	0.5	0.6	1.5	1.0	3.2	76.7	12.1
居 住 地	北九州 地域	373	3.1	3.1	1.4	0.6	0.6	0.8	0.8	1.1	2.8	85.1	3.7
	福岡 地域	733	2.3	3.6	0.8	0.0	0.0	0.5	1.8	0.3	2.6	86.1	4.1
	筑後 地域	234	3.4	3.1	0.8	0.3	0.5	1.6	1.3	1.3	2.9	83.3	6.3
	筑豊 地域	129	2.6	3.5	1.5	0.0	0.9	0.9	0.9	1.8	2.6	82.4	5.9
世 帯 構 成	単身世帯（ひとり暮らし）	231	1.6	4.5	2.0	0.0	0.5	1.0	2.5	0.5	1.3	82.6	6.3
	夫婦のみ	370	2.1	3.7	0.0	0.4	0.2	0.3	1.2	0.8	1.6	83.7	7.4
	親子同居（2世代同居）	726	3.1	3.0	1.2	0.0	0.4	1.1	1.3	0.9	4.0	87.0	1.8
	親と子と孫（3世代同居）	90	6.0	3.3	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	2.1	84.7	3.1
	兄弟・姉妹同居	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	96.1	3.9
	その他	33	0.0	1.8	3.1	3.1	0.0	0.0	3.7	1.8	0.0	83.3	9.9
及 同 居 の 子 の 学 有 無	同居の子 あり	616	3.5	3.3	0.5	0.0	0.3	0.5	1.0	0.5	3.7	87.0	2.0
	未就学児	155	4.9	1.5	0.2	0.0	0.8	0.2	1.9	0.0	5.0	86.6	1.2
	小学生	127	5.4	2.1	0.5	0.0	0.0	0.0	0.8	0.3	1.5	88.5	1.3
	中学生	54	2.7	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	90.4	2.3
	高校生	36	1.0	7.3	0.0	0.0	0.0	5.2	0.0	0.0	1.0	84.6	2.9
	大学・短大・高専以上や社会人	241	2.3	4.4	0.8	0.0	0.2	0.4	0.8	1.1	5.1	86.4	2.0
	同居の子 なし	832	2.2	3.4	1.4	0.3	0.3	1.0	1.7	0.9	2.0	84.2	5.6

5. 文化芸術の「参加（企画・支援）」について

（2） 文化芸術活動の支援やボランティアに参加しやすくなる条件

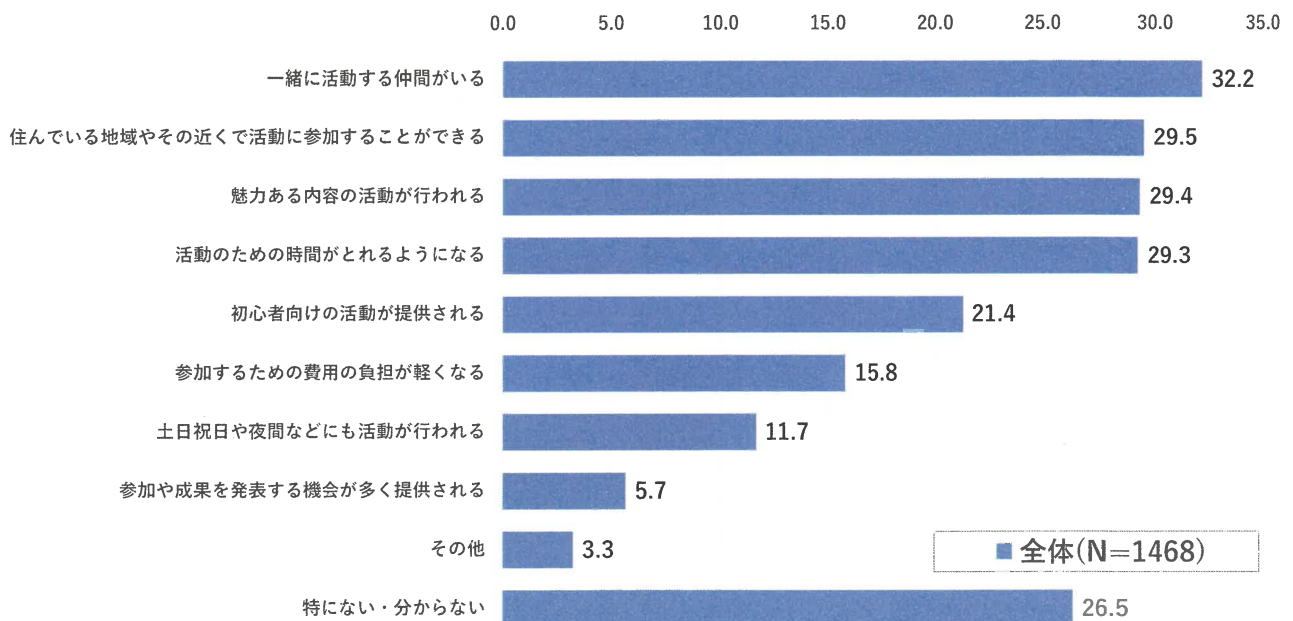
問18. あなたは、どうすれば支援やボランティア活動にもっと参加しやすくなると思いますか。
（〇はいくつでも）

文化芸術活動の支援やボランティアに参加しやすくなるには、「一緒に活動する仲間がいる」が32.2%で最も高く、「住んでいる地域やその近くで活動に参加することができる」（29.5%）、「魅力ある内容の活動が行われる」（29.4%）、「活動のための時間がとれるようになる」（29.3%）が僅差で続いている。

年代別に見ると、18～29歳では「魅力ある内容の活動が行われる」が44.9%と30歳以上に比べて高くなっている。また、30～39歳、40～49歳、50～59歳では「活動のための時間がとれるようになる」がいずれも4割前後と高くなっている。

末子の学齢別に見ると、高校生以下が末子の場合「活動のための時間がとれるようになる」が大学生以上や同居の子どもがいない人に比べて高くなっており、特に末子が高校生の場合は52.6%に達している。

【県民】図表 24-1 文化芸術活動の支援やボランティアに参加しやすくなる条件



【県民】図表 24-2 文化芸術活動の支援やボランティアに参加しやすくなる条件

		合計	魅力ある 内容の活動が 行われる	一緒に活動する 仲間がいる	活動のための 時間とれるよう になる	土日祝日や夜間 などにも活 動が行われる	住んでいる地域や その近くで活動に 参加することが できる	費用の負担が 軽くなる	参加者のための 活動が提供される	機会が多くなる 発表される	その他	特になし・分 からない	無回答
全体(N=1468)		1468	29.4	32.2	29.3	11.7	29.5	15.8	21.4	5.7	3.3	26.5	3.0
性別	男性	620	28.7	28.5	27.3	9.0	26.2	12.1	19.3	5.3	2.7	29.3	2.1
	女性	839	29.3	34.9	30.6	13.6	32.1	18.2	22.5	6.0	3.7	24.4	3.6
年代	18歳～29歳	118	44.9	42.1	37.2	17.2	36.2	22.5	23.7	6.5	6.9	9.2	0.5
	30歳～39歳	205	35.9	34.3	39.6	20.7	29.2	19.6	29.5	5.9	2.4	20.2	0.9
	40歳～49歳	275	31.2	38.7	42.1	13.0	28.1	16.6	20.8	5.8	3.8	19.6	0.0
	50歳～59歳	245	33.2	35.8	39.5	15.8	32.4	16.5	27.0	6.2	1.6	22.0	0.9
	60歳～69歳	291	21.8	24.6	21.5	7.3	31.2	15.9	20.3	5.6	2.1	35.2	2.7
	70歳以上	331	21.4	26.2	8.1	3.7	25.3	10.2	12.6	4.9	4.4	37.9	9.6
居住地	北九州 地域	373	26.4	30.3	29.5	10.1	26.7	15.4	21.6	4.2	2.2	27.2	2.8
	福岡 地域	733	32.0	33.5	30.7	13.9	32.5	17.8	21.9	6.7	4.1	24.7	2.8
	筑後 地域	234	27.7	29.5	26.4	8.6	26.6	10.7	20.1	5.5	2.6	27.7	4.4
	筑豊 地域	129	26.1	34.9	25.8	9.1	26.4	15.2	19.6	4.7	2.6	31.7	2.1
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	231	29.8	34.4	25.4	18.2	30.5	18.7	24.3	7.3	3.6	23.4	5.2
	夫婦のみ	370	27.8	30.7	19.3	5.0	29.1	12.8	19.6	3.5	1.8	31.4	4.6
	親子同居（2世代同居）	726	31.0	31.5	34.9	13.0	30.1	16.5	21.8	6.0	4.6	24.2	1.6
	親と子と孫（3世代同居）	90	22.2	34.4	37.8	9.4	23.8	13.0	19.3	9.4	0.0	31.9	3.2
	兄弟・姉妹同居	10	42.5	46.5	30.1	23.7	41.0	27.6	18.8	0.0	0.0	32.2	0.0
	その他	33	18.0	34.4	21.7	16.3	29.9	23.3	21.9	1.8	0.0	27.2	1.1
及び同居の 子どもの有 無	同居の子 あり	616	28.7	29.5	34.9	11.9	26.7	15.1	19.0	6.1	2.8	27.0	2.3
	未就学児	155	34.0	26.9	47.0	14.8	25.0	14.0	23.8	7.4	3.8	17.9	0.0
	小学生	127	30.3	36.0	42.1	12.1	32.0	19.8	16.5	4.4	0.5	19.5	1.5
	中学生	54	42.9	34.7	40.2	9.1	28.1	15.9	16.1	8.2	4.6	24.8	1.1
	高校生	36	31.4	32.3	52.6	20.6	47.7	18.9	19.8	7.9	3.4	18.1	0.0
	大学・短大・高専以上や社会人	241	21.3	26.6	20.1	9.3	21.9	12.7	18.1	5.5	3.0	38.6	3.7
	同居の子 なし	832	29.7	34.1	25.5	11.4	31.7	16.5	23.0	5.4	3.7	25.9	3.6

6. 文化芸術の「環境整備」について

（1） 居住地域における文化的環境の満足度

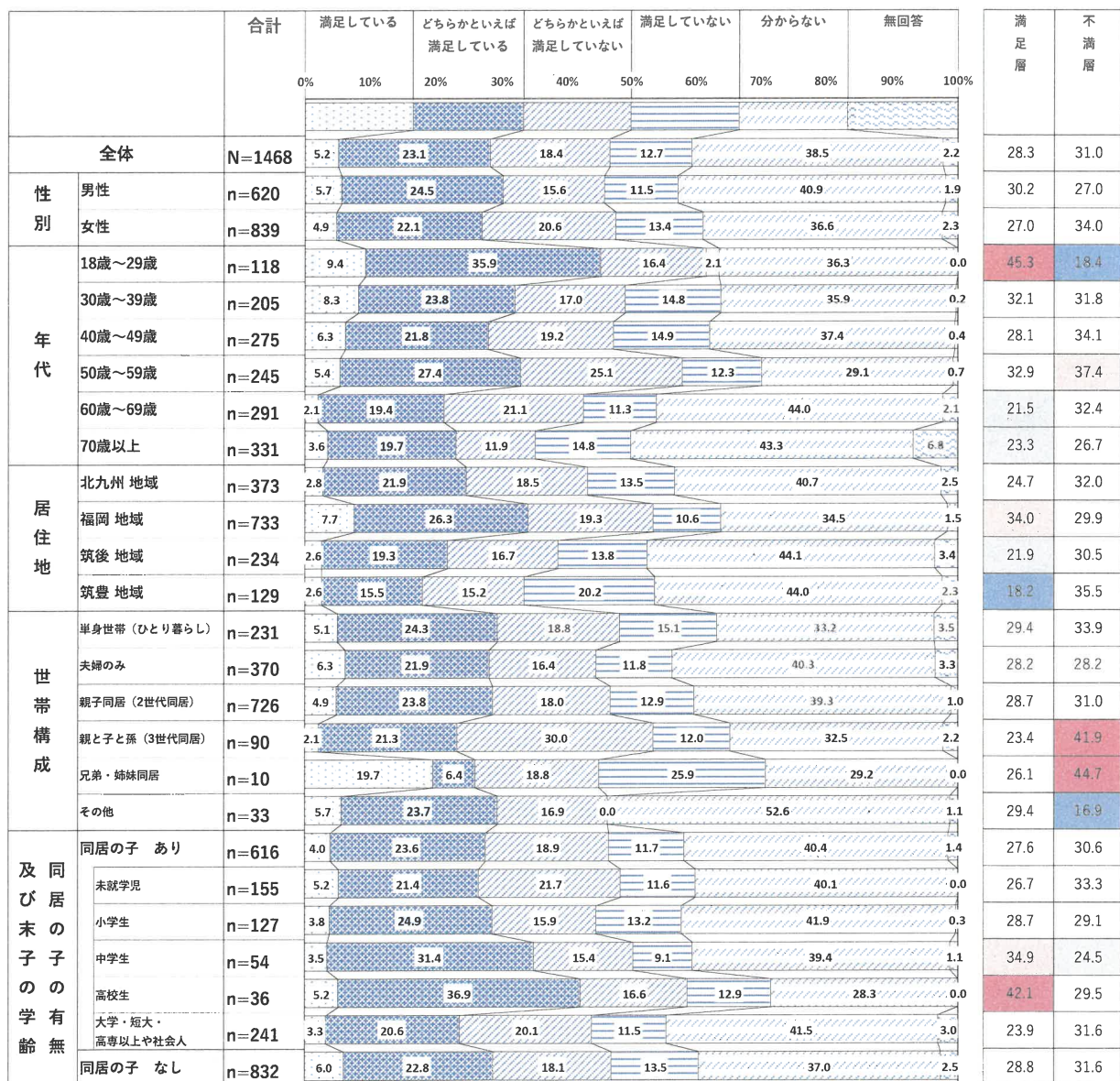
問19. あなたは、文化芸術を鑑賞したり習い事をしたりする機会や文化財・伝統的なまちなみの保存・整備など、お住まいの地域での文化的な環境に満足していますか。（○は1つだけ）

居住地域における文化的環境の満足度は、「満足している」（5.2％）と「どちらかといえば満足している」（23.1％）を合わせた『満足層』が28.3％に対して、「満足していない」（12.7％）と「どちらかといえば満足していない」（18.4％）を合わせた『不満層』が31.0％となっており『満足層』を若干上回っている。

年代別に見ると、18～29歳では『満足層』が45.3％と高く『不満層』は18.4％に留まっている。

居住地別に見ると、福岡地域では『満足層』が34.0％と比較的高く、筑後地域と筑豊地域では『満足層』が共に2割程度に留まっている。

【県民】図表25 居住地域における文化的環境の満足度



『満足層』…「満足している」「どちらかといえば満足している」の計

『不満層』…「満足していない」「どちらかといえば満足していない」の計

6. 文化芸術の「環境整備」について

（2） 居住地域において文化的環境を充実させる内容

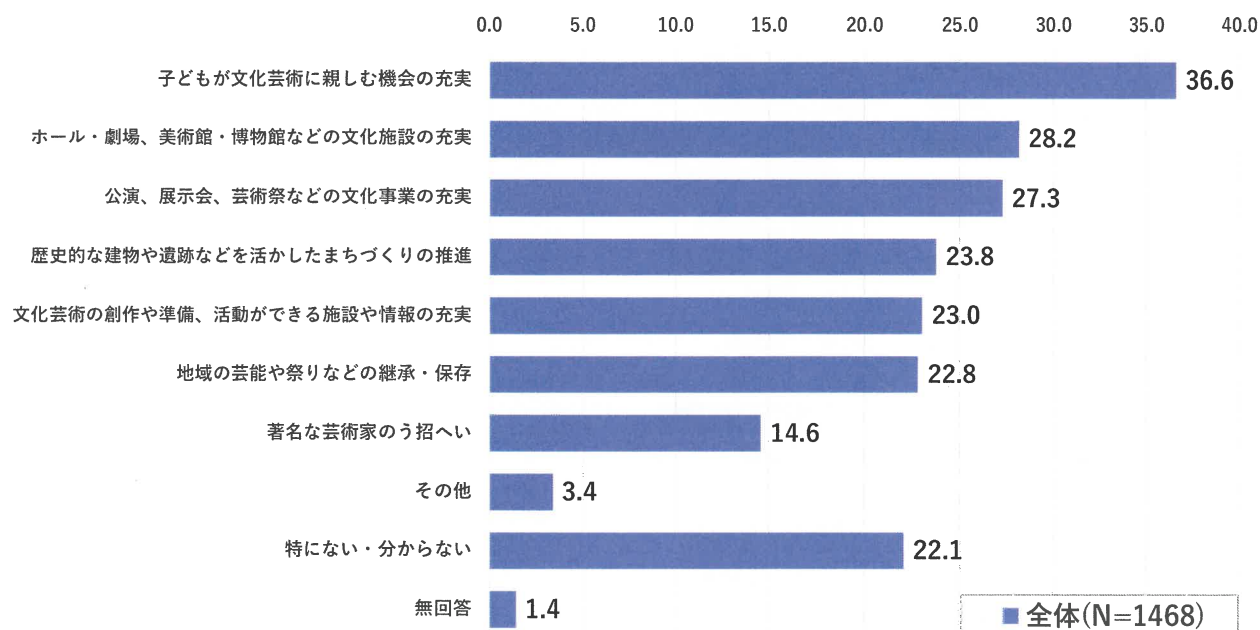
問20. あなたは、お住まいの地域の文化的な環境を充実させるために、何が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

居住地域において文化的環境を充実させるのに必要な内容は、「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」が36.6%で最も高く、次いで「ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実」（28.2%）、「公演、展示会、芸術祭などの文化事業の充実」（27.3%）が3割弱で続いている。

年代別に見ると、30～39歳、40～49歳では「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」が共に55%程度見られ他の年代に比べて特に高い。

末子の学齢別に見ると、学齢が低いほど「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」が高くなる傾向が見られ、末子が未就学児では74.2%に達している。

【県民】図表 26-1 居住地域において文化的環境を充実させる内容



【県民】図表 26-2 居住地域において文化的環境を充実させる内容

		合 計	施 設 の 充 実	ホ ー ル ・ 博 物 館 ・ 劇 場 な ど の 文 化 機 関 の 充 実	や 情 報 の 充 実	文 化 芸 術 の 創 作 や 準 設	公 演 、 展 示 会 、 芸 術 祭 な ど の 文 化 事 業 の 充 実	著 名 な 芸 術 家 の う 招 へ	地 域 の 芸 能 や 祭 り な ど の 継 承 ・ 保 存	歴 史 的 な 建 物 や ま ち づ く り の 推 進	親 し む 機 会 の 充 実	子 ど も が 文 化 芸 術 に	そ の 他	特 に な い ・ 分 か ら な い	無 回 答
	全体(N=1468)	1468	28.2	23.0	27.3	14.6	22.8	23.8	36.6	3.4	22.1	1.4			
性 別	男性	620	23.5	21.2	24.0	14.6	25.4	25.8	32.5	4.0	23.7	0.7			
	女性	839	31.7	24.6	29.9	14.8	21.0	22.3	39.9	3.0	20.5	1.9			
年 代	18歳～29歳	118	33.2	25.8	28.3	12.1	16.2	25.8	38.7	3.7	16.8	0.0			
	30歳～39歳	205	32.7	29.7	30.8	19.1	19.5	24.8	55.8	1.8	12.7	0.0			
	40歳～49歳	275	25.1	25.7	29.2	18.3	22.1	23.0	53.6	4.6	17.5	0.0			
	50歳～59歳	245	30.8	29.4	34.1	18.8	28.7	25.5	37.2	1.6	21.1	0.4			
	60歳～69歳	291	27.4	18.4	24.9	13.1	24.3	24.3	27.1	5.6	24.1	1.1			
	70歳以上	331	25.2	15.3	20.6	8.0	22.1	21.2	18.3	2.7	32.0	5.1			
居 住 地	北九州 地域	373	27.0	22.8	28.4	14.3	25.8	22.5	38.8	2.8	21.1	0.8			
	福岡 地域	733	30.7	24.7	29.9	14.9	21.1	25.8	37.4	3.9	20.1	1.3			
	筑後 地域	234	24.3	19.1	20.9	14.6	21.7	20.4	35.0	3.7	26.1	2.9			
	筑豊 地域	129	24.6	21.4	21.1	13.5	25.8	22.3	29.3	2.1	29.0	1.5			
世 帯 構 成	単身世帯（ひとり暮らし）	231	30.3	28.6	29.2	12.2	21.7	24.7	25.5	2.0	26.5	2.6			
	夫婦のみ	370	28.0	21.4	27.6	15.1	23.6	27.9	26.7	2.8	23.3	1.7			
	親子同居（2世代同居）	726	25.7	22.3	27.6	15.9	23.3	22.1	45.2	4.7	20.4	0.8			
	親と子と孫（3世代同居）	90	42.7	20.0	19.5	10.7	19.3	19.4	41.7	0.7	21.3	1.1			
	兄弟・姉妹同居	10	38.0	42.5	57.4	18.8	28.3	32.2	38.6	0.0	10.3	0.0			
	その他	33	33.7	18.1	22.4	11.3	24.1	21.7	29.9	1.8	16.6	0.0			
及 同 居 の 子 の 学 有 無	同居の子 あり	616	26.0	20.4	24.6	14.3	21.7	20.0	48.2	3.3	21.3	1.2			
	未就学児	155	27.4	22.6	30.3	13.9	24.0	18.6	74.2	3.4	8.1	0.0			
	小学生	127	28.2	23.4	21.8	13.4	13.2	16.3	60.0	2.0	19.3	0.0			
	中学生	54	22.4	25.7	27.5	25.0	20.2	30.8	54.6	1.1	19.3	1.1			
	高校生	36	25.8	33.3	28.2	20.7	21.8	28.1	46.4	0.0	16.9	0.0			
	大学・短大・高専以上や社会人	241	25.1	14.7	21.7	12.0	25.2	19.4	24.8	5.0	31.5	2.1			
	同居の子 なし	832	30.0	24.8	29.4	14.8	23.7	27.1	28.6	3.6	22.4	1.5			

7. 「地域の伝統文化」について

（1） 地域の伝統文化への考え方

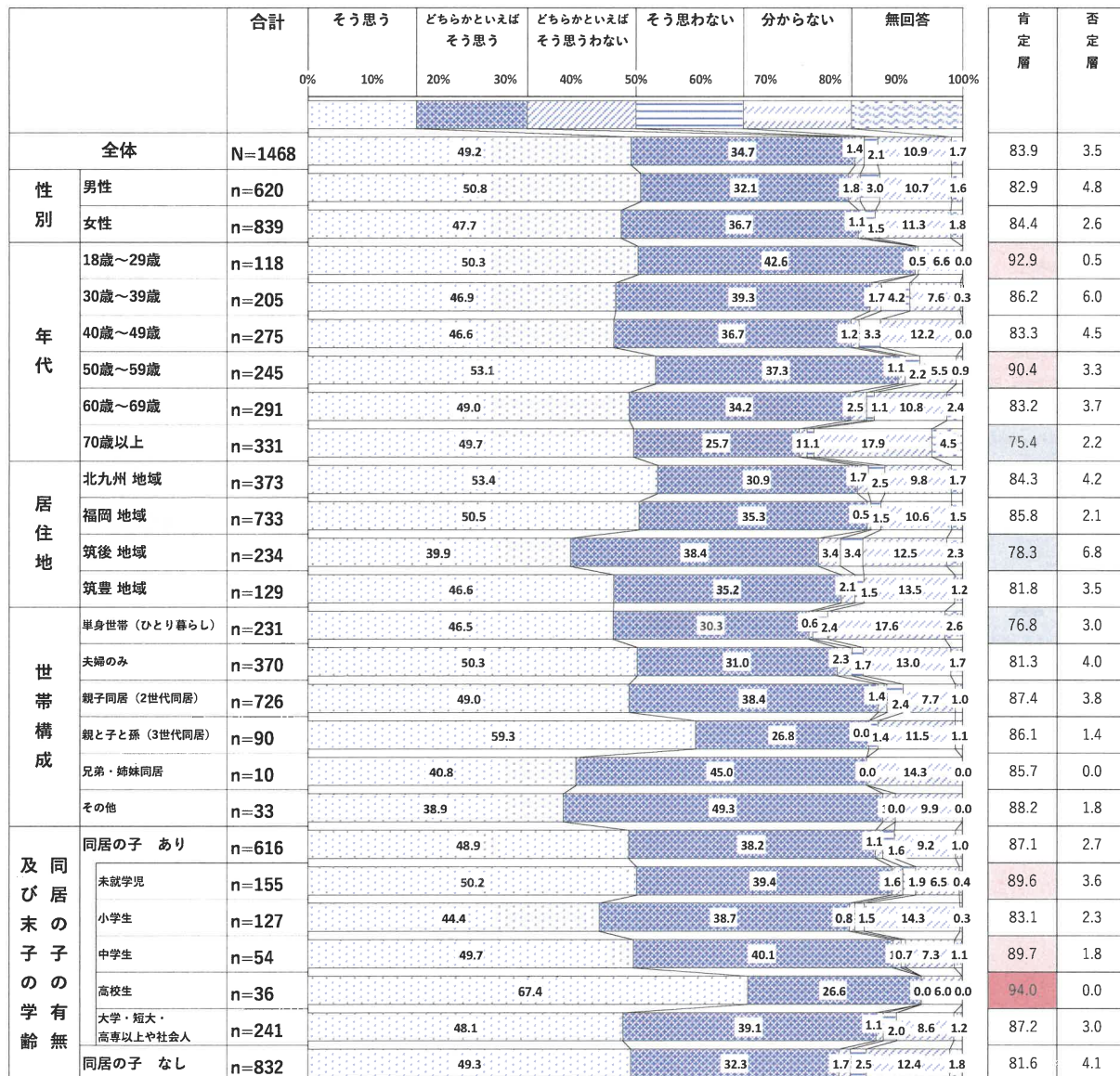
問21. 「伝統的な祭りや歴史的な建物などの存在が、その地域の人々にとって地域への愛着や誇りとなる」との考え方について、あなたはどのように思いますか。（○は1つだけ）

＜伝統的な祭りや歴史的な建物などの存在が、その地域の人々にとって地域への愛着や誇りとなる＞との考え方について、「そう思う」（49.2%）と「どちらかといえばそう思う」（34.7%）を合わせた『肯定層』が83.9%に対して、「そう思わない」（2.1%）と「どちらかといえばそう思わない」（1.4%）を合わせた『否定層』は3.5%となっており『肯定層』が大半を占めている。

年代別に見ると、18～29歳と50～59歳では『肯定層』が9割に達しており他の年代よりもやや高い。

同居の子どもの有無、末子の学齢別に見ると、同居の子どもがいる人の方がいない人よりも『肯定層』の割合が高く、特に末子が高校生の『肯定層』は94.0%に達し『否定層』は全く見られない。

【県民】図表27 地域の伝統文化への考え方



『肯定層』…「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の計

『否定層』…「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の計

7.「地域の伝統文化」について

（2）地域の伝統芸能への担い手としての参加状況

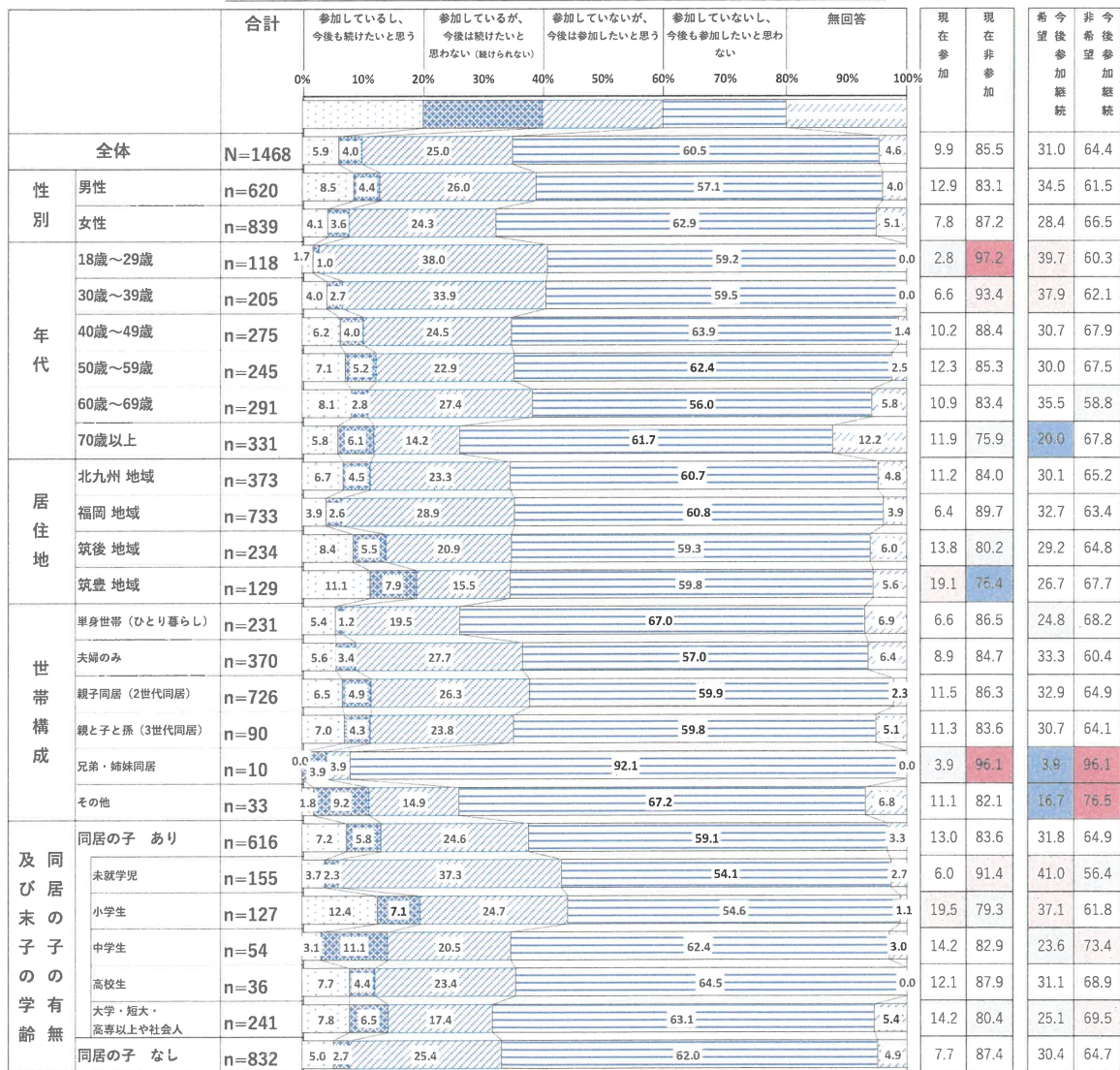
問22. あなたは、自分が住んでいる地域の伝統芸能に担い手（出演、みこしの担ぎ手、裏方等）として参加していますか。または参加したいと思いますか。（○は1つだけ）

地域の伝統芸能への担い手としての現在の参加状況は、『現在参加』が9.9%、『現在非参加』が85.5%の割合となっている。一方、今後の参加・継続意向は、『今後参加継続希望』が31.0%、『今後参加継続非希望』が64.4%の割合となっている。

年代別に見ると、18～29歳、30～39歳では『現在非参加』の割合が高く、18～29歳では97.2%と特に高い。しかしながら『今後参加継続希望』がそれぞれ4割弱見られ、今後の希望は他の年代よりもやや高くなっている。

末子の学齢別に見ると、『現在非参加』の割合が高いのは末子が未就学児であり91.4%に達している。一方『現在参加』は末子が小学生の場合19.5%とやや高くなっている。これら末子が未就学児、小学生の人は『今後参加継続希望』についてはいずれも4割前後と中学生以上に比べて高くなっている。

【県民】図表28 地域の伝統芸能への担い手としての参加状況



『現在参加』…『参加しているし、今後は継続したいと思う』『参加しているが、今後は続けたいと思わない（続けられない）』の計／『現在非参加』…『参加していないが、今後は参加したいと思う』『参加していないし、今後も参加したいと思わない』の計

『今後参加継続希望』…『参加しているし、今後は継続したいと思う』『参加していないが、今後は参加したいと思う』／『今後参加継続非希望』…『参加しているが、今後は続けたいと思わない（続けられない）』『参加していないし、今後も参加したいと思わな

7.「地域の伝統文化」について

（3） 地域の伝統芸能への担い手としての参加意向がない理由

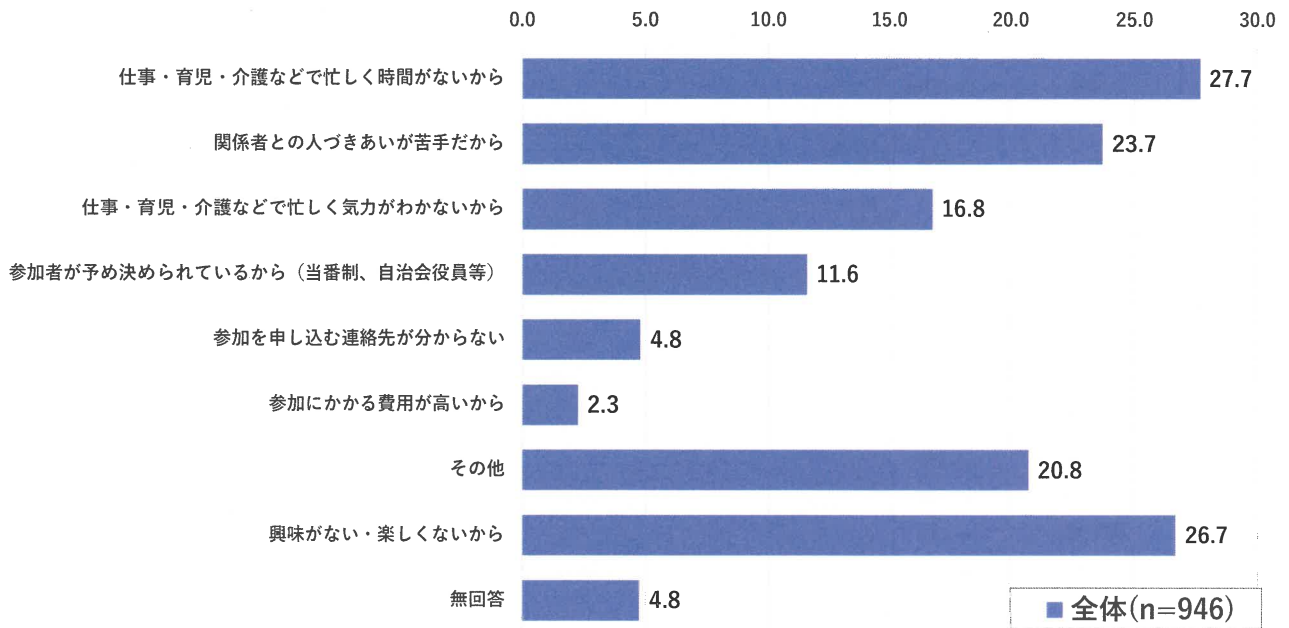
問2-2-1. あなたが担い手（出演、みこしの担ぎ手、裏方等）として参加を続けたいとは思わない、または参加したいと思わない理由はなんですか。（〇はいくつでも）

地域の伝統芸能への担い手としての参加意向がない理由は、「仕事・育児・介護などで忙しく時間がないから」が27.7%で最も高く、「関係者との人づきあいが苦手だから」（23.7%）、「仕事・育児・介護などで忙しく気力がわからないから」（16.8%）の順で続いている。そもそも「興味がない・楽しくないから」が26.7%見られる。

年代別に見ると、30～39歳、40～49歳、50～59歳では「仕事・育児・介護などで忙しく時間がないから」が4割前後と他の年代に比べて高くなっている。

末子の学齢別に見ると、高校生以下の末子の場合「仕事・育児・介護などで忙しく時間がないから」が高く、特に末子が未就学児の人は66.4%に達している。

【県民】図表 29-1 地域の伝統芸能への担い手としての参加意向がない理由



【県民】図表 29-2 地域の伝統芸能への担い手としての参加意向がない理由

		合 計	らで仕 忙し・育 見・介 護な い か ど	いで仕 忙し・育 見・介 護な い か ど	が参 加を 申し 込 む 連 絡 先	自 治 会 役 員 等 ）	参 加 者 が 予 め 決 め ら れ る か ら （ 当 番 制 、 れ	が 関 係 者 と の 人 づ き あ い	高 い か ら 参 加 に か か る 費 用 が	そ の 他	楽 し く な い か ら 興 味 が な い ・	無 回 答
	全体(N=946)	946	27.7	16.8	4.8	11.6	23.7	2.3	20.8	26.7	4.8	
性 別	男性	381	26.6	14.7	2.9	9.0	21.2	1.8	17.7	34.2	3.7	
	女性	558	28.8	17.9	6.2	13.4	25.2	2.7	22.8	21.5	5.4	
年 代	18歳～29歳	71	26.3	15.5	12.6	13.9	20.7	0.0	8.4	36.5	5.3	
	30歳～39歳	127	46.1	33.7	9.9	9.3	29.8	5.0	7.1	20.5	3.0	
	40歳～49歳	186	46.7	24.8	5.6	10.3	25.1	1.6	13.3	26.2	1.3	
	50歳～59歳	166	39.2	23.1	4.9	15.0	28.3	4.0	9.3	24.6	3.6	
	60歳～69歳	171	11.1	8.2	1.0	13.7	29.0	1.6	23.5	27.9	6.7	
	70歳以上	225	6.1	3.1	1.7	9.1	12.8	1.4	45.1	28.2	7.8	
居 住 地	北九州 地域	243	36.6	17.7	2.2	8.2	21.1	1.7	21.1	22.8	6.0	
	福岡 地域	465	26.0	17.5	7.7	12.2	26.8	2.4	19.5	26.8	4.1	
	筑後 地域	151	22.2	16.5	2.4	14.1	20.2	2.4	23.4	29.0	4.4	
	筑豊 地域	87	21.2	11.3	0.9	13.4	20.8	3.0	22.1	32.5	5.6	
世 帯 構 成	単身世帯（ひとり暮らし）	158	16.6	10.0	4.2	11.7	30.0	1.3	22.5	30.1	5.6	
	夫婦のみ	224	15.3	11.8	3.7	11.3	21.8	1.3	27.4	25.0	6.8	
	親子同居（2世代同居）	471	38.5	20.9	4.8	10.2	22.2	2.8	17.2	27.7	3.9	
	親と子と孫（3世代同居）	58	27.8	16.1	10.4	19.7	21.0	3.3	19.8	23.5	0.0	
	兄弟・姉妹同居	9	6.6	20.6	0.0	23.7	36.4	0.0	31.0	31.0	0.0	
	その他	25	14.5	27.6	7.4	17.8	28.7	7.4	17.9	8.9	8.9	
及 び 同 居 の 子 の 学 有 無	同居の子 あり	400	40.0	21.2	4.5	10.0	22.0	3.0	20.3	24.6	2.4	
	未就学児	87	66.4	35.2	5.5	7.3	21.8	6.1	8.2	11.1	4.3	
	小学生	78	44.7	21.5	9.9	11.0	23.9	0.8	12.2	33.5	0.0	
	中学生	39	47.4	31.2	0.0	15.2	23.7	0.0	18.9	26.9	0.0	
	高校生	25	40.4	36.8	4.0	8.2	4.0	1.5	12.5	29.3	0.0	
	大学・短大・高専以上や社会人	168	22.7	9.3	2.6	10.0	23.7	3.3	32.0	25.6	3.5	
	同居の子 なし	538	18.8	13.5	5.1	12.8	25.1	1.8	21.0	28.4	6.2	

8.「能楽」について

（1）「能楽」を直接鑑賞した経験の有無

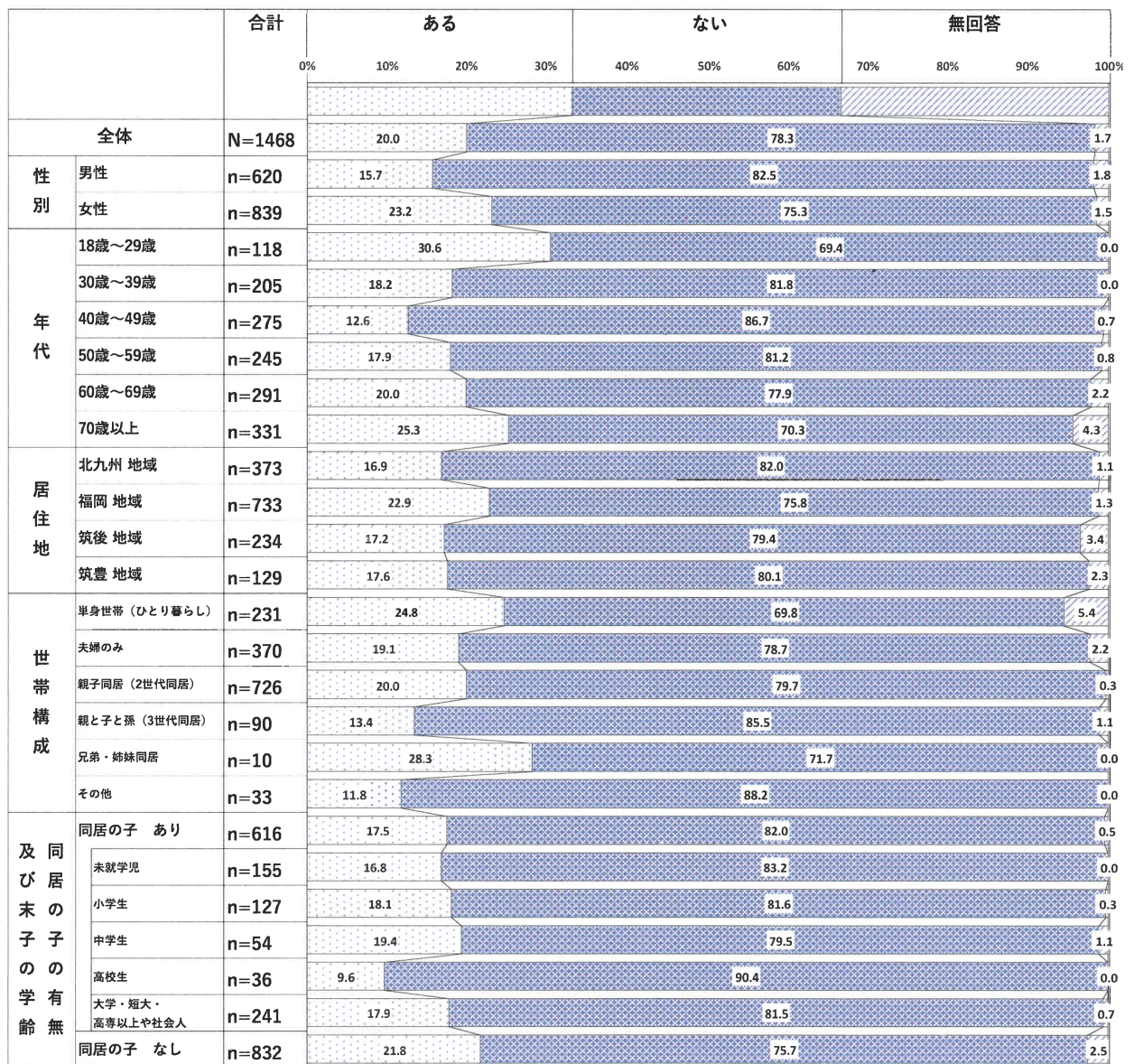
問23.「能楽」を直接鑑賞したことがありますか。（○は1つだけ）

能楽を直接鑑賞したことが「ある」人は20.0%と5人に1人の割合である。

年代別に見ると、18～29歳では30.6%が経験しており30歳以上に比べて高い。

末子の学齢別に見ると、末子が高校生の人は「ない」（未経験）が90.4%と高くなっている。

【県民】図表30 「能楽」を直接鑑賞した経験の有無



8.「能楽」について

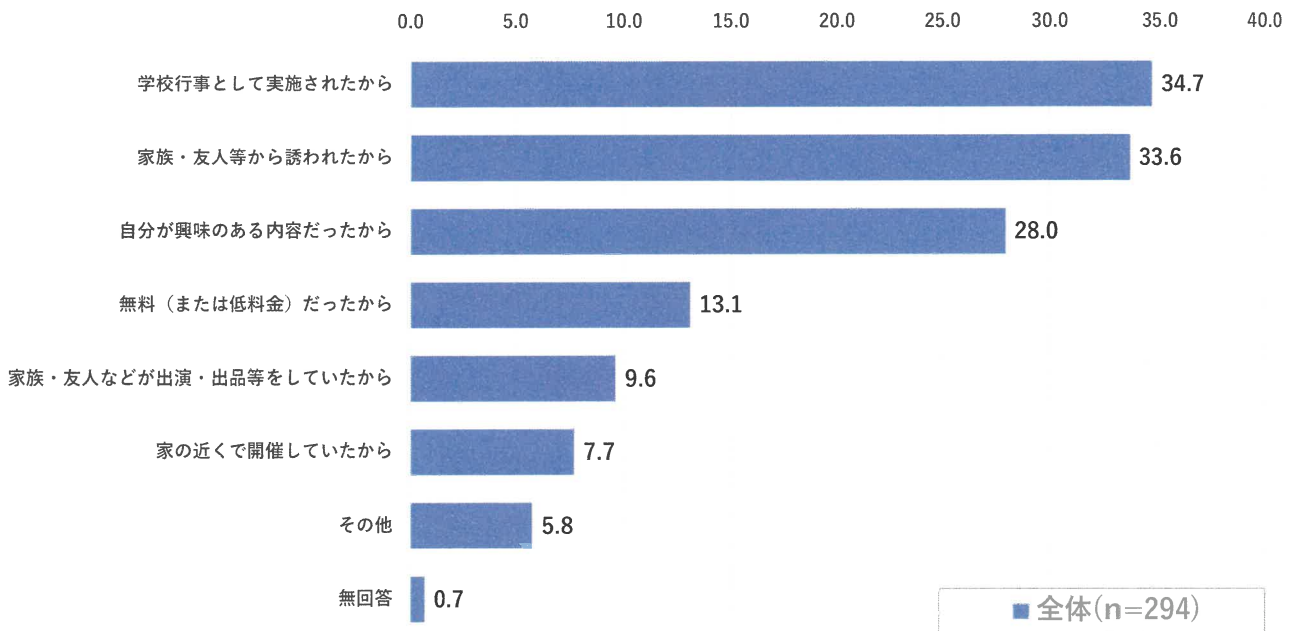
(2) 「能楽」を直接鑑賞した理由

問23-1. 鑑賞した理由は何ですか。（〇はいくつでも）

能楽を直接鑑賞した理由は、「学校行事として実施されたから」が34.7%で最も高く、「家族・友人等から誘われたから」が33.6%と僅差が続いている。「自分が興味のある内容だったから」という積極的な理由は28.0%となっている。

年代別に見ると、18～29歳、30～39歳、40～49歳では「学校行事として実施されたから」が高く、特に18～29歳は97.3%とほとんどを占めている。一方、50歳以上では「自分に興味のある内容だったから」が比較的高くなっている。また70歳以上では「家族・友人等から誘われたから」が50.4%と半数を超えている。

【県民】図表 31-1 「能楽」を直接鑑賞した理由



【県民】図表 31-2 「能楽」を直接鑑賞した理由

		合 計	自 分 が 興 味 の あ る 内 容 だ っ た か ら	家 族 ・ 友 人 等 か ら 誘 わ れ た か ら	家 族 ・ 友 人 な ど が 出 品 等 を し て い た か ら	家 の 近 く で 開 催 し て い た か ら	無 料 （ ま た は 低 料 金 ） だ っ た か ら	学 校 行 事 と し て 実 施 さ れ た か ら	そ の 他	無 回 答
全体(N=294)		294	28.0	33.6	9.6	7.7	13.1	34.7	5.8	0.7
性 別	男性	97	27.3	28.1	4.1	7.6	12.1	36.1	9.2	0.0
	女性	195	27.6	35.8	12.5	6.9	12.8	34.3	4.2	1.1
年 代	18歳～29歳	36	2.9	1.0	0.0	0.0	0.0	97.3	1.7	0.0
	30歳～39歳	37	9.9	22.8	8.9	11.7	14.6	57.6	0.0	0.0
	40歳～49歳	35	31.4	26.2	3.0	6.1	9.6	47.2	0.0	0.0
	50歳～59歳	44	33.5	34.3	12.7	0.9	14.2	22.5	13.4	0.0
	60歳～69歳	58	37.4	40.5	8.9	9.1	15.5	25.7	7.2	0.0
	70歳以上	84	36.0	50.4	15.7	12.6	17.3	5.1	7.6	2.5
居 住 地	北九州 地域	63	23.3	28.3	11.7	16.7	13.3	30.0	3.3	3.3
	福岡 地域	168	29.2	34.8	7.9	3.4	15.7	38.2	4.5	0.0
	筑後 地域	40	31.8	33.3	13.6	10.6	4.5	31.8	13.6	0.0
	筑豊 地域	23	25.0	40.0	10.0	10.0	8.3	26.7	8.3	0.0
世 帯 構 成	単身世帯（ひとり暮らし）	57	28.3	39.3	7.6	4.6	23.1	25.8	2.8	0.0
	夫婦のみ	71	36.6	50.8	12.3	13.5	19.2	16.9	4.9	0.0
	親子同居（2世代同居）	145	22.3	23.5	8.1	6.2	7.4	47.6	7.5	1.4
	親と子と孫（3世代同居）	12	16.8	32.0	5.0	11.8	8.7	44.5	0.0	0.0
	兄弟・姉妹同居	3	100.0	38.7	38.7	0.0	0.0	0.0	38.7	0.0
	その他	4	26.7	36.3	43.1	0.0	0.0	15.6	0.0	0.0
及 同 居 の 子 の 学 齢 無	同居の子 あり	108	18.8	28.4	9.5	8.8	8.8	39.1	6.8	1.9
	未就学児	26	7.2	14.8	4.0	16.7	13.6	62.2	0.0	0.0
	小学生	23	17.1	25.0	7.2	9.1	6.2	55.1	0.0	0.0
	中学生	10	54.3	21.7	18.1	0.0	18.1	9.5	18.1	0.0
	高校生	3	17.5	10.8	10.8	10.8	10.8	28.3	54.2	0.0
	大学・短大・高専以上や社会人	43	19.2	42.8	12.3	6.1	5.3	26.5	8.4	0.0
	同居の子 なし	181	33.1	37.6	8.9	7.3	16.0	32.6	5.3	0.0

9.「子ども・学校教育における文化芸術活動」について

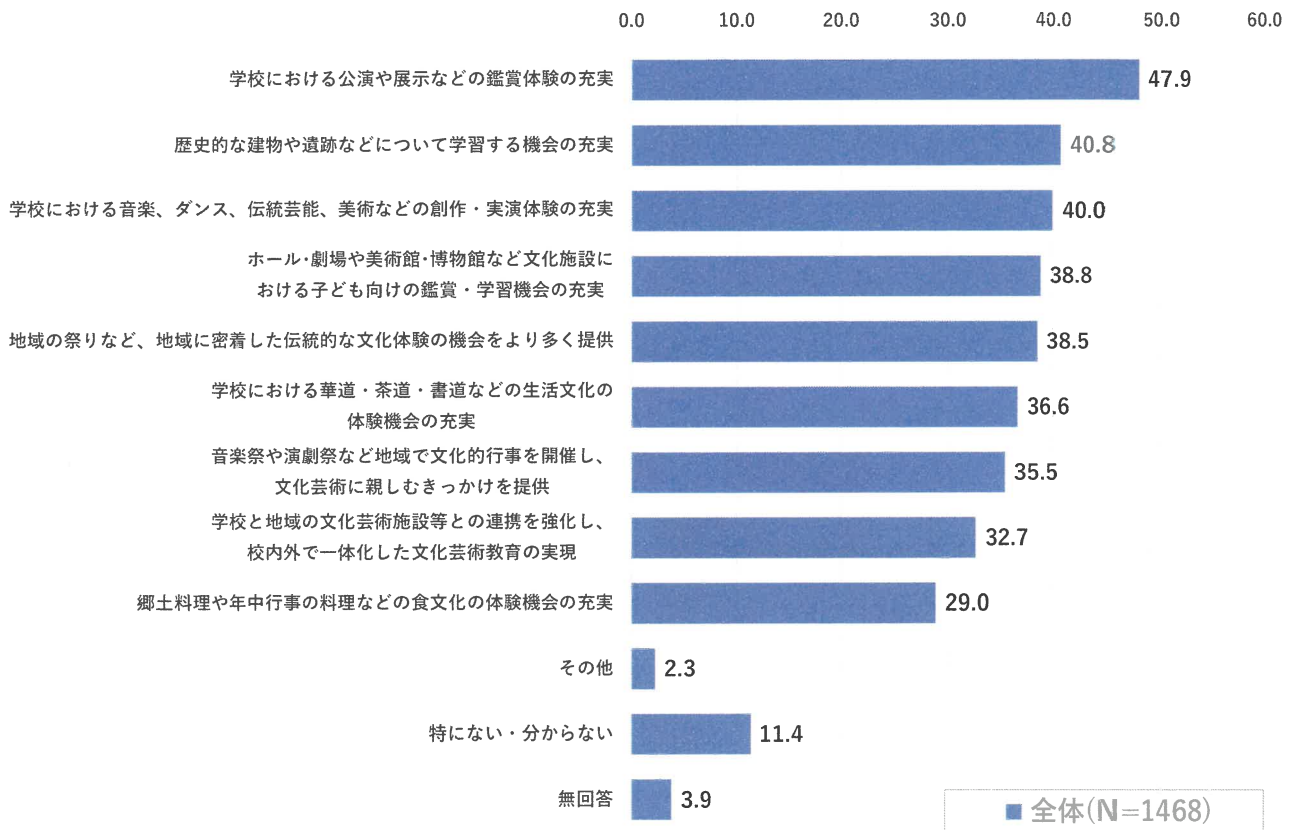
（1）子どもの文化芸術体験に重要なこと

問24. あなたは、子どもの文化芸術体験について、何が重要だと思いますか。（○はいくつでも）

子どもの文化芸術体験に重要なことは、「学校における公演や展示などの鑑賞体験の充実」が47.9%で最も高く、次いで「歴史的な建物や遺跡などについて学習する機会の充実」（40.8%）、「学校における音楽、ダンス、伝統芸能、美術などの創作・実演体験の充実」（40.0%）が続いている。

年代別に見ると、18～29歳、30～39歳では「学校における公演や展示などの鑑賞体験の充実」が6割に達し特に高くなっている。他にも「学校における音楽、ダンス、伝統芸能、美術などの創作・実演体験の充実」や「学校における華道・茶道・書道などの生活文化の体験機会の充実」など学校における体験充実の割合が高い。

【県民】図表 32-1 子どもの文化芸術体験に重要なこと



II.調査結果 第1章 県民に対する文化芸術活動実態調査（令和2年）

【県民】図表 32-2 子どもの文化芸術体験に重要なこと

		合 計	ど の鑑賞体験の充実	学 校における音楽、ダンス、伝統芸能、美術などの創作・実演体験の充実	学 校における生活文化の体験・茶道・書道などの充実	郷土料理や年中行事の料理などの食文化の体験機会の充実	歴史的な建物や遺跡などについて学習する機会の充実	学校と地域の文化芸術施設等との連携を強化し、校外での実践した文化芸術教育の実現	美術館・博物館、ホール・劇場や美術館・博物館などの文化施設における学びの機会への充実	音楽祭や演劇祭など、地域で文化行事を開催し、文化芸術に親しみきっかけを提供しむきかけを提供	着した伝統的な文化体験の機会をより多く提供	その他	特にない・分からない	無回答
	全体(N=1468)	1468	47.9	40.0	36.6	29.0	40.8	32.7	38.8	35.5	38.5	2.3	11.4	3.9
性別	男性	620	46.4	36.2	32.0	27.1	43.4	31.6	36.2	33.8	39.4	2.2	13.2	1.8
	女性	839	48.9	43.1	40.3	30.3	38.9	33.6	40.9	37.0	38.1	2.4	10.2	5.3
年代	18歳～29歳	118	60.8	56.2	45.5	28.6	27.6	39.3	36.1	41.0	34.1	3.2	4.0	0.0
	30歳～39歳	205	61.9	47.8	49.4	41.7	44.5	37.6	47.7	42.5	46.1	1.8	8.5	0.0
	40歳～49歳	275	54.3	43.7	36.7	31.9	45.8	35.9	49.4	34.5	38.7	2.2	7.6	0.7
	50歳～59歳	245	50.4	45.6	41.3	26.8	43.9	42.1	45.5	40.8	45.2	2.8	9.9	1.9
	60歳～69歳	291	45.9	39.2	30.9	26.8	46.0	32.5	37.2	36.6	39.9	2.9	13.4	2.7
	70歳以上	331	28.9	22.5	27.5	22.0	32.8	18.1	22.2	25.4	29.2	1.4	18.5	12.8
居住地	北九州 地域	373	50.6	42.7	37.6	29.5	37.1	32.6	37.9	34.3	37.9	2.0	12.1	2.5
	福岡 地域	733	48.5	41.5	38.4	31.7	44.8	35.3	42.3	36.3	41.0	2.8	9.3	4.1
	筑後 地域	234	44.4	32.4	31.6	22.7	37.3	28.2	34.2	35.2	35.8	1.8	14.4	5.2
	筑豊 地域	129	43.7	37.5	32.8	23.2	34.6	26.1	30.5	34.3	31.4	0.9	16.4	3.8
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	231	40.3	34.1	32.1	30.2	31.6	25.0	31.6	28.9	32.1	0.8	16.6	7.7
	夫婦のみ	370	40.9	34.7	34.2	27.4	42.5	27.2	33.9	29.4	36.2	2.5	13.8	5.6
	親子同居（2世代同居）	726	54.5	44.6	40.2	29.5	42.8	38.7	43.5	40.9	42.2	2.7	8.3	1.7
	親と子と孫（3世代同居）	90	48.3	42.5	28.0	20.2	43.5	33.4	42.3	39.4	41.2	2.1	14.2	1.5
	兄弟・姉妹同居	10	18.8	53.5	75.4	57.4	45.0	38.6	55.9	46.5	41.0	0.0	10.3	0.0
	その他	33	43.4	34.9	37.3	38.7	39.8	18.5	36.0	24.9	25.8	1.8	12.5	0.0
同居の子の有無	同居の子 あり	616	52.5	42.7	36.1	28.7	44.5	36.8	42.5	39.4	41.1	2.2	9.4	1.7
	未就学児	155	63.3	53.1	37.9	39.1	49.5	44.0	51.0	47.3	54.2	4.0	5.5	0.0
	小学生	127	58.5	36.4	38.1	26.5	47.1	30.0	50.8	37.8	34.3	0.0	7.4	0.3
	中学生	54	54.5	48.7	47.2	27.8	42.1	61.7	49.2	39.9	41.0	2.3	1.8	1.1
	高校生	36	58.8	57.8	47.4	35.7	49.7	44.1	42.9	32.9	32.0	0.0	7.5	0.0
	大学・短大・高専以上や社会人	241	41.7	36.3	30.3	22.8	40.1	29.6	31.6	36.5	38.2	2.6	14.5	3.3
	同居の子 なし	832	44.4	38.5	37.1	28.7	38.4	30.1	36.4	33.0	37.1	2.4	12.8	5.0

9.「子ども・学校教育における文化芸術活動」について

（2） 子どもの文化芸術体験に期待する効果

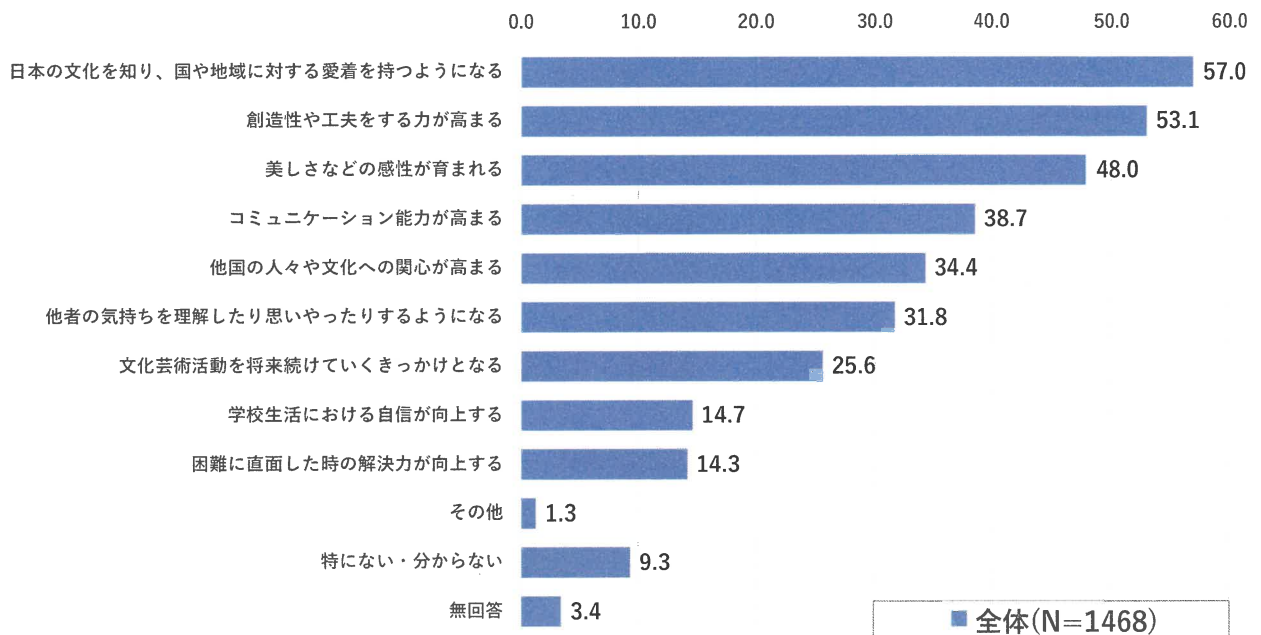
問25. あなたが子どもの文化芸術体験について、期待する効果は何ですか。（○はいくつでも）

子どもの文化芸術体験に期待する効果は、「日本の文化を知り、国や地域に対する愛着を持つようになる」が57.0%で最も高く、「創造性や工夫をする力が高まる」（53.1%）、「美しさなどの感性が育まれる」（48.0%）がそれに続いている。

年代別に見ると、18～29歳では「創造性や工夫をする力が高まる」が64.9%と高く、30～39歳では「美しさなどの感性が育まれる」（61.5%）と「他国の人々や文化への関心が高まる」（49.1%）が他の年代に比べて高い。

末子の学齢別に見ると、末子が未就学児は相対的に高く期待する効果が多岐に渡っている。末子が中学生では「日本の文化を知り、国や地域に対する愛着を持つようになる」が77.0%と目立っている。

【県民】図表 33-1 子どもの文化芸術体験に期待する効果



【県民】図表 33-2 子どもの文化芸術体験に期待する効果

		合計	美 し さ な ど の 感 性 が 育 ま れ る	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 能 力 が 高 ま る	工 夫 を す る 力 が 高 ま る	創 造 性 や 意 図 性 が 高 ま る	他 国 の 人 々 や 文 化 へ の 関 心 が 高 ま る	他 者 の 気 持 ち を 理 解 し た り 思 い や つ た り す る よ う に な る	自 信 が 向 上 す る	学 校 生 活 に お け る	困 難 に 直 面 し た 時 の 解 決 力 が 向 上 す る	持 つ よ う に な る	日 本 の 文 化 を 知 り、 国 や 地 域 に 対 す る 愛 着 を	文 化 芸 術 活 動 を 得 来 続 け て い く き つ か け と な る	そ の 他	特 に な い、 分 か ら な い	無 回 答
全体(N=1468)		1468	48.0	38.7	53.1	34.4	31.8	14.7	14.3	57.0	25.6	1.3	9.3	3.4			
性 別	男性	620	43.9	38.7	50.8	28.7	31.6	12.5	12.9	57.5	20.6	1.8	11.6	1.7			
	女性	839	50.5	38.7	54.5	38.6	31.6	16.2	15.4	56.9	29.2	0.9	7.7	4.8			
年 代	18歳～29歳	118	54.1	31.3	64.9	43.6	20.7	5.1	3.7	54.6	28.1	0.9	6.1	0.0			
	30歳～39歳	205	61.5	45.9	62.2	49.1	34.0	14.7	17.4	62.6	28.7	0.5	4.7	0.0			
	40歳～49歳	275	48.9	46.0	62.1	35.6	34.0	14.2	15.1	58.1	22.2	3.1	6.7	0.7			
	50歳～59歳	245	55.5	41.0	54.5	33.6	30.7	16.1	17.8	64.7	28.3	1.1	7.3	1.1			
	60歳～69歳	291	43.1	36.0	44.1	30.9	30.8	12.9	12.2	57.2	28.9	1.0	11.3	4.1			
	70歳以上	331	35.2	31.3	42.4	24.3	33.7	18.6	14.7	47.4	20.5	0.9	15.3	10.3			
居 住 地	北九州 地域	373	48.0	39.9	52.2	33.1	34.3	16.6	14.6	57.6	23.0	1.7	8.1	4.2			
	福岡 地域	733	51.0	39.4	57.5	37.9	30.7	14.4	14.7	59.3	29.1	1.3	8.5	2.8			
	筑後 地域	234	42.3	35.0	44.4	29.0	29.8	13.1	11.7	53.5	20.9	1.0	11.5	4.4			
	筑豊 地域	129	40.8	37.5	46.6	28.4	34.9	13.5	15.2	49.0	22.0	0.9	13.5	2.9			
世 帯 構 成	単身世帯（ひとり暮らし）	231	49.5	36.2	42.7	32.3	28.0	12.6	11.1	52.4	28.6	1.4	13.1	6.7			
	夫婦のみ	370	39.4	37.1	48.7	31.3	35.4	16.3	16.0	54.5	26.6	0.0	13.3	4.9			
	親子同居（2世代同居）	726	53.5	40.4	59.0	36.2	32.0	13.7	14.4	61.1	25.4	1.8	6.3	1.0			
	親と子と孫（3世代同居）	90	47.5	36.6	53.7	36.0	30.9	19.0	15.3	51.3	22.0	3.2	8.6	3.6			
	兄弟・姉妹同居	10	35.5	33.1	72.3	42.5	44.1	22.8	11.8	75.4	27.6	0.0	6.4	0.0			
	その他	33	19.0	42.3	45.3	38.2	15.6	14.9	15.0	41.6	9.9	0.0	8.6	5.7			
及 同 居 の 子 の 学 齢 無	同居の子 あり	616	51.2	41.6	57.1	35.5	31.9	15.3	15.4	60.9	22.6	1.6	7.0	1.5			
	未就学児	155	61.1	52.7	66.5	54.7	39.8	18.3	20.6	61.6	23.9	2.1	2.4	1.2			
	小学生	127	53.4	40.8	62.4	30.2	28.3	14.5	13.1	59.3	23.7	0.0	5.6	0.3			
	中学生	54	52.3	38.6	56.0	29.7	17.7	12.8	8.2	77.0	14.8	1.1	1.8	1.1			
	高校生	36	55.0	55.5	58.4	14.9	39.0	9.8	17.9	56.8	18.9	2.7	3.1	0.0			
	大学・短大・高専以上や社会人	241	43.4	34.0	48.9	30.6	31.2	15.3	14.8	59.0	25.0	2.0	11.9	2.1			
	同居の子 なし	832	46.1	36.3	50.3	33.7	32.0	14.1	13.6	54.8	28.1	1.2	11.3	4.2			

9.「子ども・学校教育における文化芸術活動」について

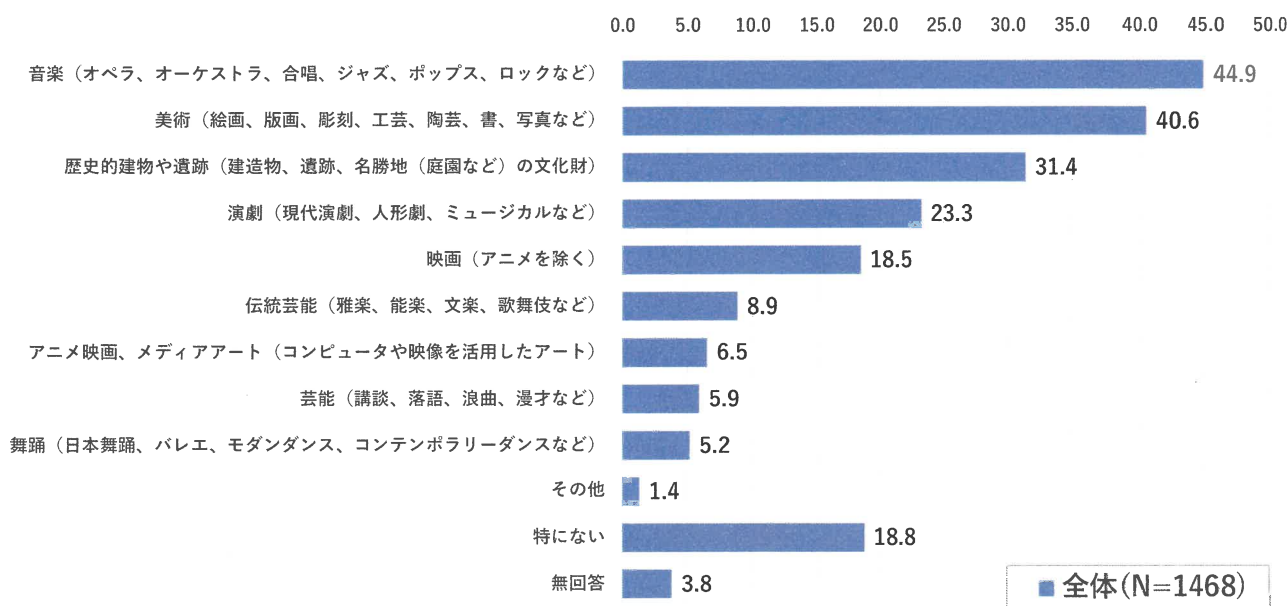
（3） 学校での文化芸術活動の中で親しむことができたもの

問26. あなたが学校で行った文化芸術活動の中で、文化芸術に親しむことができたものは何ですか。（〇はいくつでも）

自分自身が学校での文化芸術活動の中で親しむことができたものは、「音楽（オペラ、オーケストラ、合唱、ジャズ、ポップス、ロックなど）」（44.9%）、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など）」（40.6%）、「歴史的建物や遺跡（建造物、遺跡、名勝地（庭園など）の文化財）」（31.4%）が上位に挙げられている。

年代別に見ると、18～29歳、30～39歳では「音楽（オペラ、オーケストラ、合唱、ジャズ、ポップス、ロックなど）」、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など）」がいずれも5割台と高くなっている。また、「アニメ映画、メディアアート（コンピュータや映像を活用したアート）」についても40歳以上に比べて高くなっている。

【県民】図表 34-1 学校での文化芸術活動の中で親しむことができたもの



【県民】図表 34-2 学校での文化芸術活動の中で親しむことができたもの

		合計	音楽（オペラ、ジャズ、ロックなど）	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など）	演劇（現代演劇、人形劇、ミュージカルなど）	ダンス（モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）	映画（アニメを除く）	アニメ映画、メディアアート（コンピュータや映像を活用したアート）	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	芸能（講談、落語、漫才など）	歴史的建物や遺跡（建造物、遺跡、名勝地、庭園など）の文化財	その他	特にない	無回答
全体(N=1468)		1468	44.9	40.6	23.3	5.2	18.5	6.5	8.9	5.9	31.4	1.4	18.8	3.8
性別	男性	620	39.3	32.4	16.3	3.0	19.7	6.9	7.4	6.5	34.5	1.5	23.2	2.8
	女性	839	48.9	46.6	28.5	6.9	17.6	6.1	10.0	5.3	28.9	1.3	15.8	4.5
年代	18歳～29歳	118	56.5	54.7	33.8	7.0	27.6	15.3	13.8	3.0	32.1	3.2	3.9	0.0
	30歳～39歳	205	58.1	50.7	29.3	5.3	20.0	16.7	12.6	7.0	41.7	1.0	12.5	0.0
	40歳～49歳	275	48.4	46.8	23.0	0.7	17.4	6.1	6.0	4.4	36.9	1.9	14.8	0.1
	50歳～59歳	245	50.4	40.0	36.3	3.4	27.6	5.6	7.8	4.7	30.8	0.4	16.2	0.8
	60歳～69歳	291	40.3	35.6	19.1	7.4	18.5	4.2	9.9	7.7	28.3	2.0	26.1	5.4
	70歳以上	331	29.4	29.1	10.1	7.7	8.8	0.2	7.3	6.4	23.4	0.6	27.1	11.4
居住地	北九州 地域	373	44.7	40.2	21.9	3.9	16.0	5.3	4.5	3.9	30.1	1.4	18.8	5.1
	福岡 地域	733	47.2	42.5	26.0	5.9	20.4	8.0	11.3	7.0	35.1	1.5	16.8	2.3
	筑後 地域	234	43.1	38.9	20.1	5.7	18.5	4.7	9.9	6.5	29.8	0.8	21.1	5.2
	筑豊 地域	129	36.4	33.7	17.6	3.8	15.2	5.0	5.6	4.7	17.9	1.2	26.4	6.2
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	231	40.0	37.2	18.7	4.9	17.9	4.0	9.3	6.6	27.9	0.6	22.6	6.0
	夫婦のみ	370	37.9	36.1	18.9	7.4	15.7	4.3	7.6	4.7	30.1	1.1	23.6	6.6
	親子同居（2世代同居）	726	49.1	43.7	26.4	3.1	20.4	7.5	9.5	6.7	35.0	1.9	15.9	1.9
	親と子と孫（3世代同居）	90	50.1	44.3	25.5	14.1	16.9	11.6	7.9	3.2	20.4	0.4	17.1	3.6
	兄弟・姉妹同居	10	25.2	57.4	3.9	0.0	34.6	19.7	0.0	0.0	3.9	0.0	10.3	3.9
	その他	33	52.1	40.3	36.4	7.5	16.8	11.3	13.8	1.8	29.4	0.0	10.4	0.0
及び同居の未就学児の有無	同居の子 あり	616	48.6	43.3	24.8	4.3	18.6	7.2	8.9	5.8	35.5	0.8	17.9	2.6
	未就学児	155	55.6	52.9	24.6	5.0	17.1	8.8	10.5	6.7	44.7	0.5	15.9	0.0
	小学生	127	53.4	42.4	28.4	3.8	19.2	16.1	7.5	4.2	35.4	0.0	14.0	1.8
	中学生	54	40.2	61.3	32.6	0.0	19.5	4.1	4.2	1.8	42.8	1.1	11.1	1.1
	高校生	36	52.0	33.1	18.9	0.0	25.2	2.9	4.4	3.9	24.6	1.0	26.5	0.0
	大学・短大・高専以上や社会人	241	42.6	35.8	22.5	5.9	18.3	3.1	10.4	7.2	30.1	1.3	21.4	4.4
	同居の子 なし	832	42.0	38.8	22.1	5.8	18.5	6.2	9.1	5.9	28.5	1.8	19.7	4.7

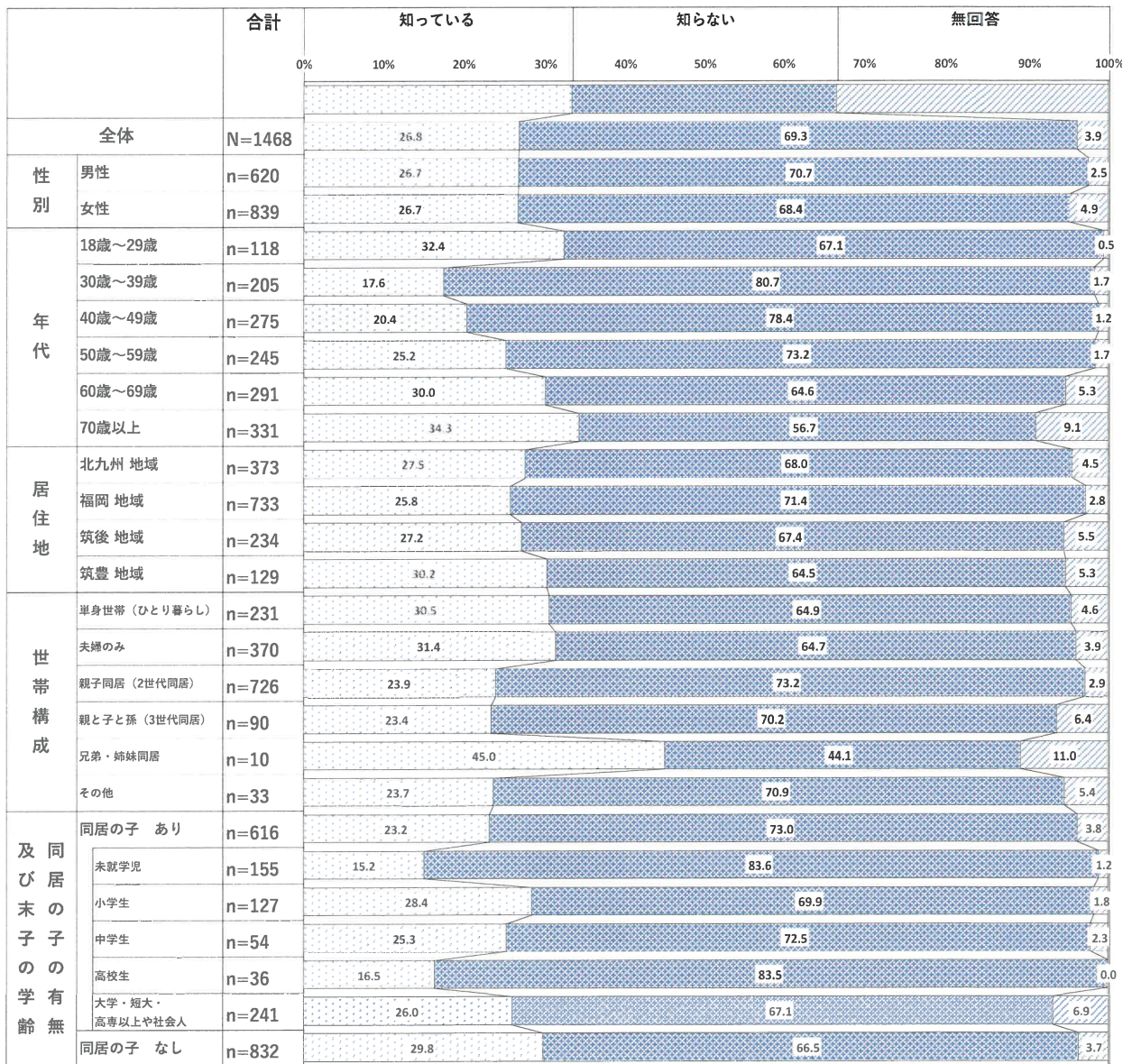
10.「障がいのある人の文化芸術活動」について

（1）文化活動を通じて、障がいのある人等と交流を深めコミュニティを強くしていこうとする考え方の認知状況

問27. 近年、文化芸術活動を共に行うことを通じて、障がいのある人や高齢者、生活に困窮している方など社会的に孤立しがちな人との交流を深め、コミュニティを強くしていこうという考え方があることを知っていますか。（○は1つだけ）

<文化活動を通じて、障がいのある人や高齢者、生活に困窮している方など社会的に孤立しがちな人との交流を深め、コミュニティを強くしていこうとする考え方>について認知しているのは26.8%となっている
年代別に見ると、30～39歳、40～49歳では「知らない」割合が8割前後と高くなっている

【県民】図表35 文化活動を通じて、障がいのある人等と交流を深めコミュニティを強くしていこうとする考え方の認知状況



10.「障がいのある人の文化芸術活動」について

（2）文化活動を通じて、障がいのある人等と交流を深めコミュニティを強くしていこうとする考え方を実現させるための取組

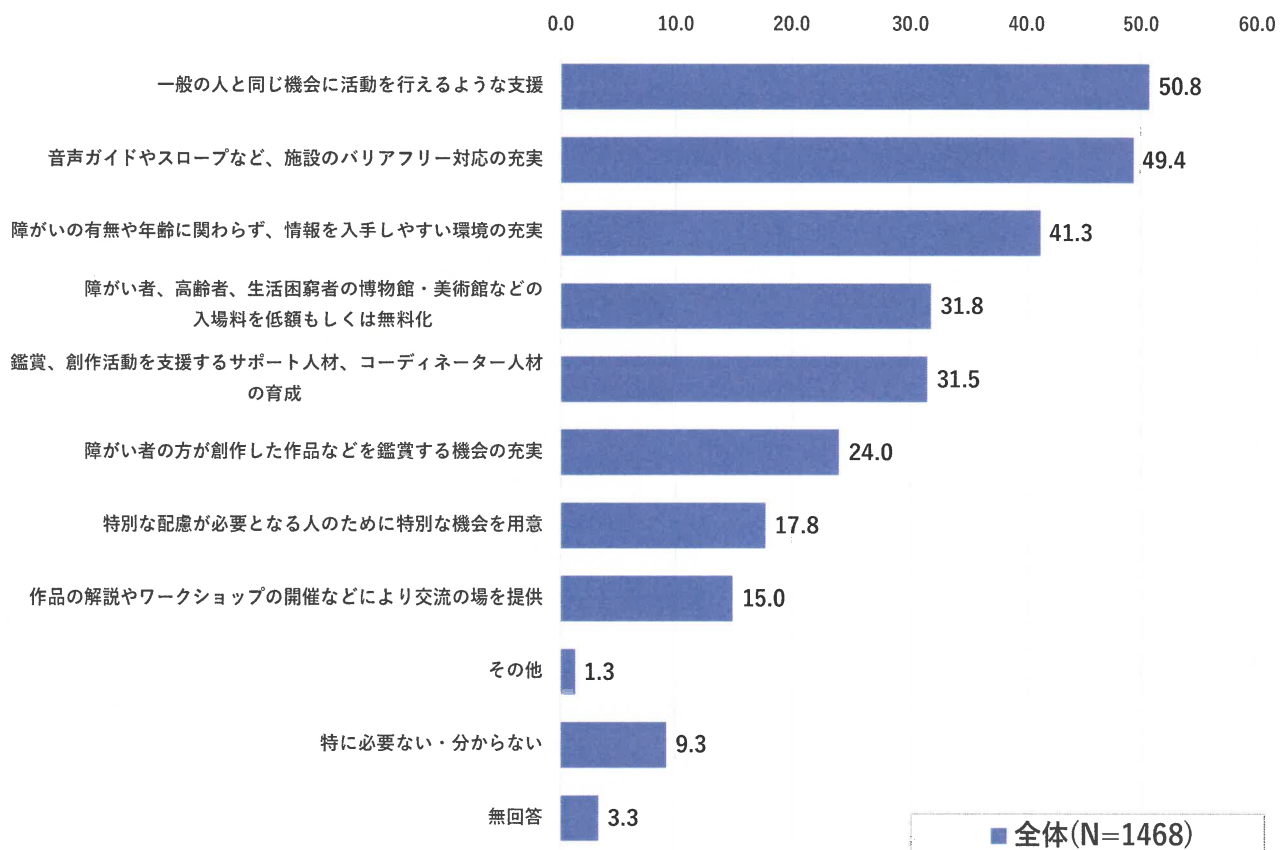
問28.文化芸術活動を通じて、障がいのある人や高齢者、生活に困窮している方など社会的に孤立しがちな人との交流を深め、コミュニティを強くしていこうという考えを実現するためにはどのような取組が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

＜文化活動を通じて、障がいのある人や高齢者、生活に困窮している方など社会的に孤立しがちな人との交流を深め、コミュニティを強くしていこうとする考え方＞を実現させるための取組は、「一般の人と同じ機会に活動を行えるような支援」が50.8%で最も高く、「音声ガイドやスロープなど、施設のバリアフリー対応の充実」が49.4%と僅差で続いている。

年代別に見ると、18～29歳では、「一般の人と同じ機会に活動を行えるような支援」が68.9%と高く、50～59歳では「鑑賞、創作活動を支援するサポート人材、コーディネーター人材の育成」が42.1%と他の年代に比べて高くなっている。

【県民】図表 36-1 文化活動を通じて、障がいのある人等と交流を深めコミュニティを強くしていこうとする

考え方を實現させるための取組



【県民】図表 36-2 文化活動を通じて、障がいのある人等と交流を深めコミュニティを強くしていこうとする考え方を実現させるための取組

		合計	の特別な配慮が必要となる人	を一般の人と同じ機会に活動	障がい者、高齢者、生活困窮者の博物館・美術館などの入場料を低額もしくは無料化	応、施設のバリアフリー化	音声ガイドやスロープなど	作品の解説やワークショップの開催などにより交流の場を提供	ネット・人材の育成	鑑賞、創作活動を支援する	障がいの有無や年齢に関わらず、情報を入手しやすい環境の充実	実品など鑑賞する機会の充実	障がい者の方が創作した作品	その他	特に必要ない・分からない	無回答
	全体(N=1468)	1468	17.8	50.8	31.8	49.4	15.0	31.5	41.3	24.0	1.3	9.3	3.3			
性別	男性	620	18.9	49.4	31.1	40.8	11.4	29.4	38.5	22.8	1.1	11.4	3.0			
	女性	839	17.0	51.8	32.3	55.7	17.8	32.9	43.2	24.7	1.4	7.8	3.5			
年代	18歳～29歳	118	19.5	68.9	26.0	58.3	8.9	25.3	48.2	24.1	1.6	5.4	1.0			
	30歳～39歳	205	17.6	50.6	28.1	58.6	23.4	33.6	47.8	25.9	0.9	7.5	1.4			
	40歳～49歳	275	20.4	47.9	25.8	54.9	13.7	38.9	41.2	22.9	3.0	8.7	0.7			
	50歳～59歳	245	23.2	54.4	30.3	55.4	15.3	42.1	42.0	27.6	1.0	6.4	1.5			
	60歳～69歳	291	16.7	53.3	38.9	49.0	16.8	31.9	40.8	21.3	0.6	9.2	3.6			
	70歳以上	331	12.4	41.6	36.0	31.9	11.4	18.1	34.7	23.9	0.8	14.6	8.7			
居住地	北九州 地域	373	16.3	50.6	28.4	48.9	15.2	29.8	42.1	24.4	1.4	8.1	2.8			
	福岡 地域	733	20.1	52.1	35.1	50.8	15.2	33.5	42.0	24.0	1.3	8.5	2.6			
	筑後 地域	234	14.1	45.7	29.0	47.3	13.6	30.0	37.1	22.7	0.8	11.2	6.0			
	筑豊 地域	129	16.1	53.7	28.4	47.2	16.1	27.6	42.2	25.8	2.1	13.5	4.4			
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	231	19.6	44.8	31.3	46.8	15.9	27.7	44.3	25.1	1.9	12.4	3.9			
	夫婦のみ	370	14.6	49.3	37.3	46.2	13.6	30.9	38.6	22.8	0.1	12.0	4.4			
	親子同居（2世代同居）	726	18.0	54.5	30.0	52.7	15.8	33.0	41.8	24.3	2.0	7.3	1.6			
	親と子と孫（3世代同居）	90	24.6	42.0	27.4	44.4	12.7	31.8	34.2	21.6	0.0	5.7	8.5			
	兄弟・姉妹同居	10	3.9	53.5	48.9	52.9	27.6	59.9	57.4	38.6	0.0	3.9	6.4			
	その他	33	27.6	52.9	28.5	45.9	14.6	29.1	57.7	34.1	0.0	8.6	3.1			
及同居の 末の子の 学有無	同居の子 あり	616	18.4	51.1	28.7	49.6	15.4	31.3	40.2	22.7	1.5	8.2	2.6			
	未就学児	155	20.0	50.2	22.3	55.3	21.3	33.0	44.6	26.7	3.5	6.6	1.2			
	小学生	127	16.9	55.2	25.3	53.4	11.3	36.6	44.1	15.9	0.5	12.5	1.5			
	中学生	54	27.6	39.9	35.0	52.2	5.3	37.5	28.9	19.4	0.0	5.2	1.1			
	高校生	36	25.3	70.7	26.7	58.8	10.6	43.3	42.2	30.2	0.0	5.9	0.0			
	大学・短大・高専以上や社会人	241	15.4	49.7	33.9	42.7	17.1	24.4	37.7	23.6	1.4	7.9	4.2			
	同居の子 なし	832	17.3	50.6	34.1	49.6	14.8	32.0	41.5	25.1	1.2	10.1	3.7			

11.「文化資源の活用」について

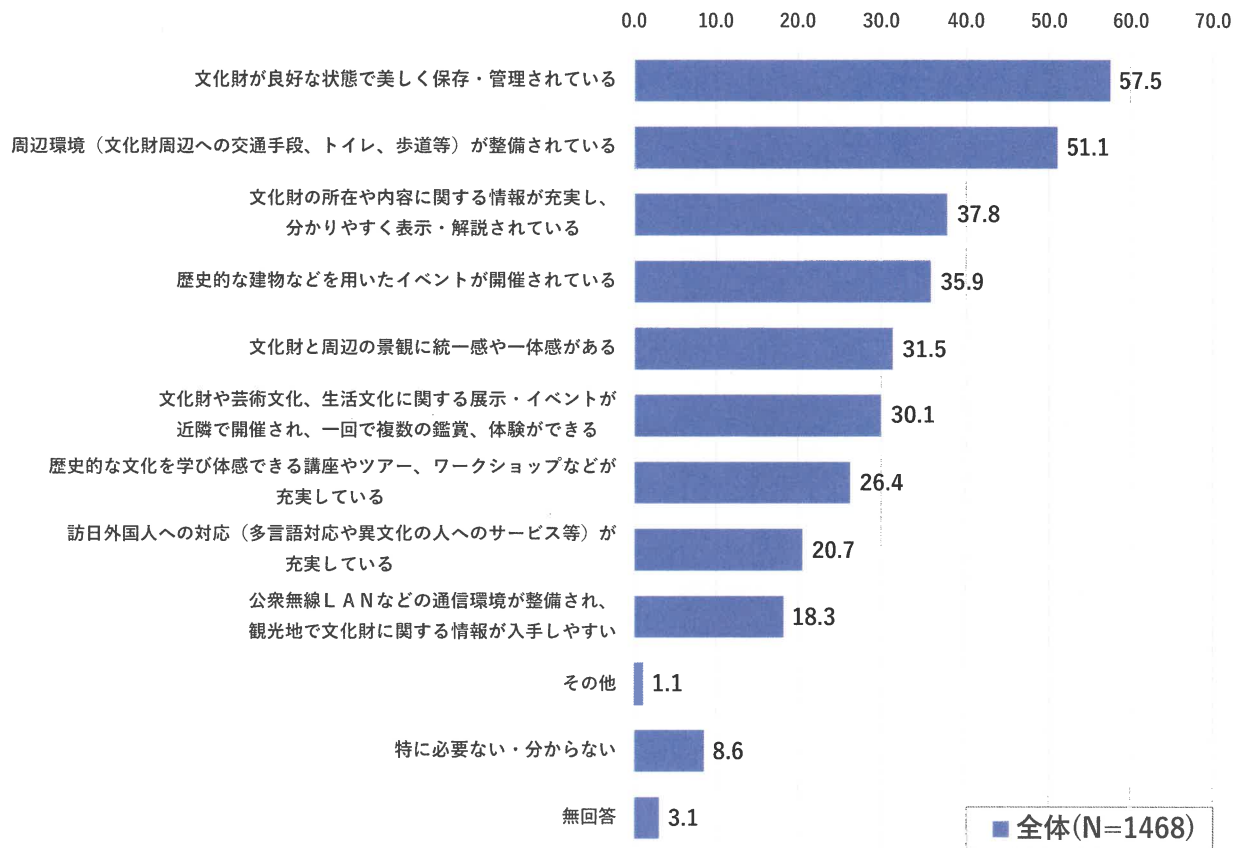
（1）文化財を観光資源として魅力あるものにするために重要なこと

問29. あなたは、文化財を観光の資源として魅力あるものにしていくためにはどのようなことが重要だと思いますか。（〇はいくつでも）

文化財を観光資源として魅力あるものにするために重要なことは、「文化財が良好な状態で美しく保存・整理されている」が57.5%で最も高く、「周辺環境（文化財周辺への交通手段、トイレ、歩道等）が整備されている」が51.1%でそれに続いている。

年代別に見ると、30～39歳では「歴史的な建物などを用いたイベントが開催されている」（52.3%）、「公衆無線LANなどの通信環境が整備され、観光地で文化財に関する情報が入手しやすい」（31.6%）が他の年代に比べて高くなっている。

【県民】図表 37-1 文化財を観光資源として魅力あるものにするために重要なこと



【県民】図表 37-2 文化財を観光資源として魅力あるものにするために重要なこと

		合計	文化財が良好な状態である 保存・管理されている	歴史的な建物などを用いた イベントが開催されている	文化財と周辺の景観に 統一感や一体感がある	文化財や芸術文化、生活文化に 関する展示・イベントが近隣で 定期的に開催されている	文化財の所在や内容に関する 情報が発見され、分かっている	文化財の所在や内容に関する 情報が発見され、分かっている	歴史的な文化を学ぶ体験できる 講座やツアー、ワークショップ などが充実している	公共施設やLANなどの通信環境が 整備され、観光地としての魅力が ある	訪日外国人への対応（多言語 等）が充実している	周辺環境（文化財周辺への交通 手段、トイレ、歩道等）が 整備されている	その他	特に必要ない・分からない	無 回 答
全体(N=1468)		1468	57.5	35.9	31.5	30.1	37.8	26.4	18.3	20.7	51.1	1.1	8.6	3.1	
性別	男性	620	59.0	32.7	32.4	22.8	37.6	23.6	20.9	16.3	49.4	1.7	8.4	2.6	
	女性	839	56.0	38.1	30.3	35.3	37.7	28.7	16.2	24.1	52.4	0.6	8.9	3.5	
年代	18歳～29歳	118	58.6	37.6	41.2	29.4	37.3	29.7	20.5	24.5	49.0	0.3	6.1	0.0	
	30歳～39歳	205	65.0	52.3	31.8	38.4	35.1	32.7	31.6	29.2	60.2	0.0	6.9	0.5	
	40歳～49歳	275	56.4	40.2	32.6	31.7	37.0	28.1	21.0	26.8	51.9	2.7	6.6	0.8	
	50歳～59歳	245	64.6	38.6	36.4	31.5	41.5	31.2	20.0	22.1	57.1	1.6	4.5	1.2	
	60歳～69歳	291	54.1	29.8	28.8	25.6	37.4	25.1	16.5	16.0	47.7	0.8	10.2	4.0	
	70歳以上	331	51.0	24.2	25.2	26.3	37.8	17.4	7.7	12.1	44.2	0.6	14.1	8.4	
居住地	北九州 地域	373	54.8	39.0	30.3	33.1	38.8	25.3	18.5	19.9	54.2	1.1	8.1	2.2	
	福岡 地域	733	61.1	37.4	35.1	30.7	39.7	29.6	18.8	23.7	51.8	0.8	7.5	2.8	
	筑後 地域	234	53.3	31.1	26.4	23.5	32.6	20.6	17.2	14.9	45.7	1.8	10.4	5.2	
	筑豊 地域	129	52.8	27.0	23.5	29.6	33.7	21.7	17.0	16.1	47.5	1.5	13.5	3.5	
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	231	55.7	37.2	29.8	35.7	38.9	24.8	13.6	20.1	48.9	0.0	8.9	5.9	
	夫婦のみ	370	58.4	29.5	29.7	27.9	37.8	23.9	15.6	15.7	48.2	0.0	11.2	4.4	
	親子同居（2世代同居）	726	58.7	39.8	33.3	28.1	38.9	28.1	22.4	23.8	53.3	1.8	7.8	1.3	
	親と子と孫（3世代同居）	90	57.7	29.0	35.7	29.7	33.1	23.9	13.8	18.5	47.5	3.6	6.4	3.9	
	兄弟・姉妹同居	10	15.8	32.2	3.9	64.4	11.8	34.6	27.6	42.5	79.3	0.0	3.9	6.4	
	その他	33	49.0	35.0	17.4	42.5	30.3	37.3	6.1	16.7	54.1	0.0	6.8	0.0	
及び同居の 子の学齢 無	同居の子 あり	616	56.5	38.7	31.1	28.5	35.1	28.0	19.3	20.9	49.3	1.9	8.1	1.8	
	未就学児	155	59.3	55.1	34.1	37.7	39.0	39.0	29.8	30.0	60.1	2.3	5.5	0.0	
	小学生	127	52.2	39.4	30.5	26.2	24.5	30.3	15.6	23.4	48.0	0.5	10.3	1.5	
	中学生	54	63.1	48.9	27.2	19.6	37.8	30.9	12.0	17.1	45.9	4.6	5.4	1.1	
	高校生	36	59.9	38.9	35.9	23.0	40.1	21.2	35.6	26.8	46.9	2.1	4.8	1.0	
	大学・短大・高専以上や社会人	241	55.6	26.1	29.9	26.9	37.3	20.6	13.9	13.9	44.8	1.8	9.1	2.7	
	同居の子 なし	832	58.6	33.9	32.2	30.7	40.3	25.1	18.1	20.8	52.3	0.5	9.2	3.9	

12.「文化芸術の国際交流・魅力発信」について

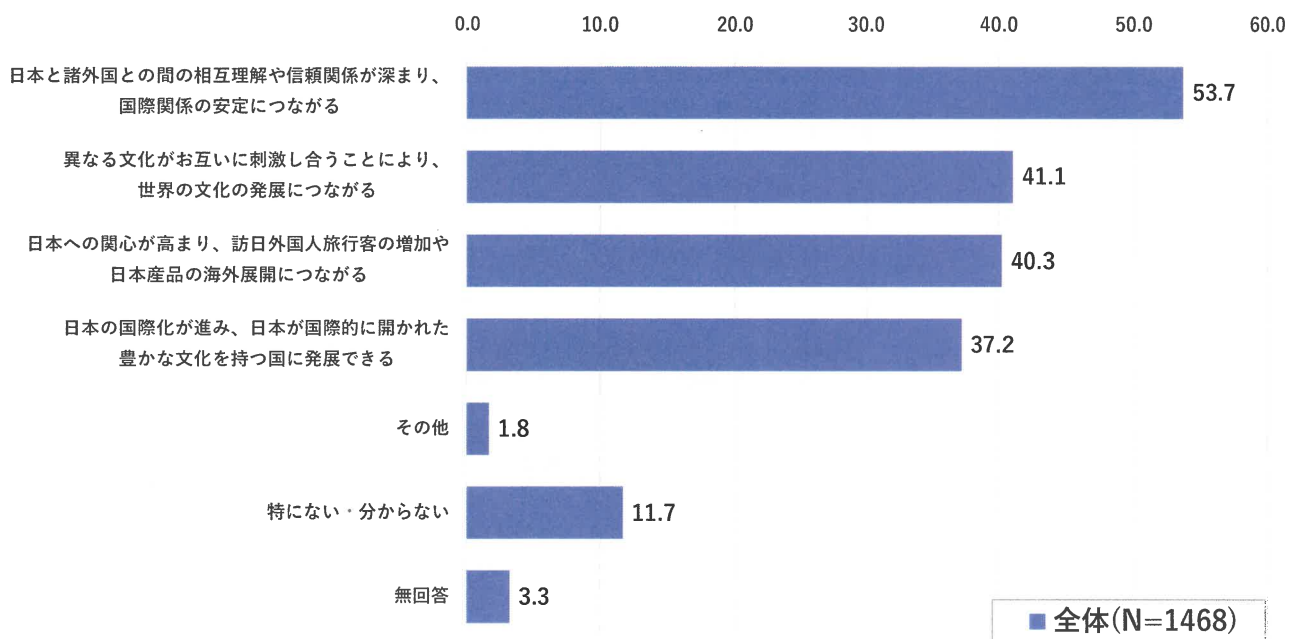
（1）日本と諸外国が文化交流を進める意義

問30. あなたは、日本と諸外国との文化交流を進めることは、どのような意義があると思いますか。（○はいくつでも）

日本と諸外国が文化交流を進める意義は、「日本と諸外国との間の相互理解や信頼関係が深まり、国際関係の安定につながる」が53.7%で最も高くなっている、以下、「異なる文化がお互いに刺激し合うことにより、世界の文化の発展につながる」（41.1%）、「日本への関心が高まり、訪日外国人旅行客の増加や日本製品の海外展開につながる」（40.3%）、「日本の国際化が進み、日本が国際的に開かれた豊かな文化を持つ国に発展できる」（37.2%）についても4割程度見られる。

年代別に見ると、18～29歳では「異なる文化がお互いに刺激し合うことにより、世界の文化の発展につながる」が54.7%と半数を超え高くなっている。

【県民】図表 38-1 日本と諸外国が文化交流を進める意義



【県民】図表 38-2 日本と諸外国が文化交流を進める意義

		合計	文化が日本の国際化を促すに開かれた豊かな日本	文化の発展により、世界の刺激	国際関係の安定に繋がり、相互理解や信頼関係の醸成	品外日本への関心が高まり、訪日外国人旅行者の増加や日本産品の海外展開につながる	その他	特になし・分からない	無回答
全体(N=1468)		1468	37.2	41.1	53.7	40.3	1.8	11.7	3.3
性別	男性	620	37.6	38.3	52.0	40.0	1.5	12.4	2.7
	女性	839	37.0	43.0	54.5	40.3	1.9	11.3	3.7
年代	18歳～29歳	118	42.1	54.7	43.0	39.1	3.2	5.6	1.6
	30歳～39歳	205	46.5	45.9	49.2	50.2	3.5	8.5	0.2
	40歳～49歳	275	37.8	43.6	56.4	37.7	1.9	7.5	1.0
	50歳～59歳	245	38.6	38.9	57.4	39.6	2.1	12.6	1.2
	60歳～69歳	291	33.2	35.8	57.7	37.9	0.3	14.9	4.5
	70歳以上	331	31.6	36.9	51.3	39.0	1.0	15.9	8.2
居住地	北九州 地域	373	35.7	41.0	54.5	44.1	1.4	11.2	3.1
	福岡 地域	733	39.2	43.6	57.0	39.9	2.3	10.6	2.6
	筑後 地域	234	35.2	35.5	46.0	36.8	0.5	14.1	5.2
	筑豊 地域	129	34.3	37.2	46.6	37.2	1.8	15.0	4.7
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	231	37.7	42.5	48.7	45.2	1.7	13.9	5.0
	夫婦のみ	370	36.7	37.9	54.4	39.1	0.3	14.0	3.9
	親子同居（2世代同居）	726	38.6	42.1	54.3	40.1	2.7	10.2	2.1
	親と子と孫（3世代同居）	90	32.0	37.2	57.1	36.7	1.1	10.3	5.9
	兄弟・姉妹同居	10	29.2	46.5	63.8	31.6	0.0	14.9	0.0
	その他	33	26.5	51.8	56.2	35.3	0.0	8.6	0.0
同居の子どもがいない	同居の子 あり	616	37.9	39.6	52.6	39.3	1.7	12.1	2.5
	未就学児	155	46.3	42.3	45.8	44.0	3.6	7.3	0.0
	小学生	127	39.0	39.7	55.5	40.2	0.3	13.5	1.8
	中学生	54	36.2	47.6	58.8	38.0	0.0	13.8	1.1
	高校生	36	42.9	41.9	48.9	32.4	3.8	8.3	2.7
	大学・短大・高専以上や社会人	241	32.0	36.1	55.3	37.6	1.2	14.1	4.3
	同居の子 なし	832	36.5	41.8	54.7	40.9	1.9	11.5	3.7

12.「文化芸術の国際交流・魅力発信」について

（2） 諸外国に発信すべき日本の文化芸術ジャンル

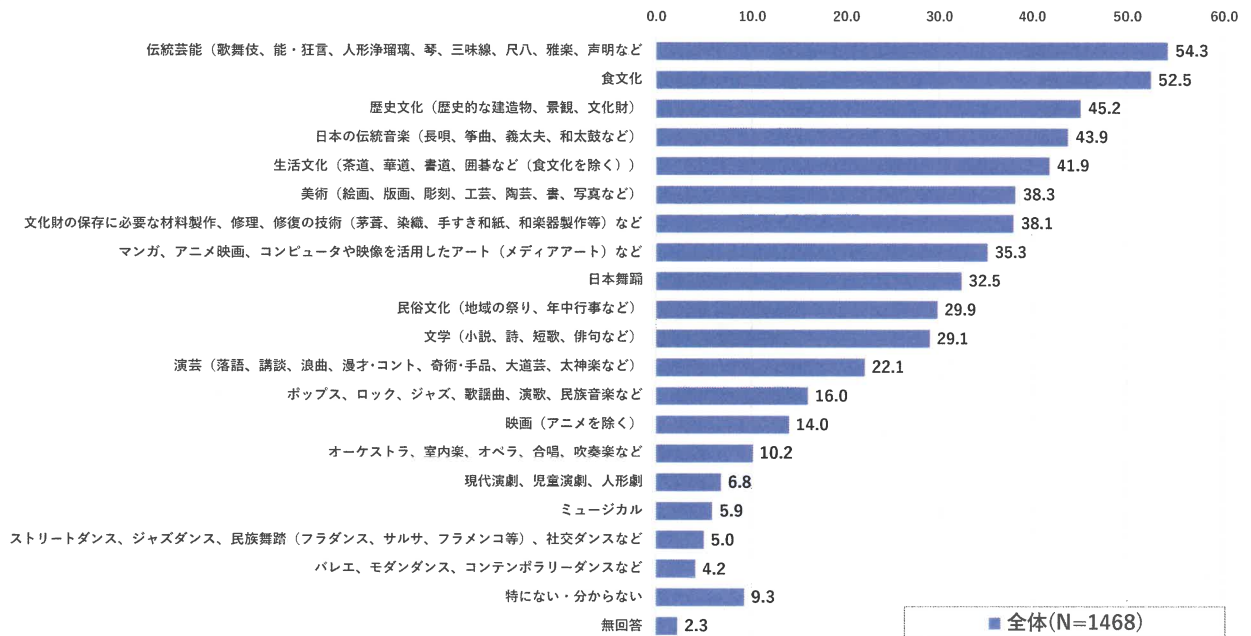
問31. あなたは、どのようなジャンルを日本の文化芸術の魅力として諸外国に発信すべきだと思いますか。（○はいくつでも）

諸外国に発信すべき日本の文化芸術ジャンルは、「伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、人形浄瑠璃、琴、三味線、尺八、雅楽、声明など）」が54.3%で最も高く、次いで「食文化」（52.5%）、「歴史文化（歴史的な建造物、景観、文化財）」（45.2%）、「日本の伝統音楽（長唄、箏曲、義太夫、和太鼓など）」（43.9%）の順で続いている。

年代別に見ると、50代以下では「食文化」や「マンガ、アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など」が60歳以上に比べて高い。30～39歳ではそれに加えて「歴史文化（歴史的な建造物、景観、文化財）」、「日本の伝統音楽（長唄、箏曲、義太夫、和太鼓など）」、「日本舞踊」についても他の年代に比べて高い。

居住地別に見ると、福岡地域では「生活文化（茶道、華道、書道、囲碁など（食文化を除く）」（46.9%）、「美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など）」（43.3%）などが他地域に比べてやや高くなっている。

【県民】図表 39-1 諸外国に発信すべき日本の文化芸術ジャンル



II.調査結果 第1章 県民に対する文化芸術活動実態調査（令和2年）

【県民】図表 39-2 諸外国に発信すべき日本の文化芸術ジャンル

		合計	文学（小説、詩、短歌、俳句など）	唱歌、吹奏楽など	オーケストラ、室内楽、オペラ、合唱	ポップス、ロック、ジャズ、歌謡	日本の伝統音楽（長唄、箏曲、義太夫、和太鼓など）	芸、書、写真など	美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など）	現代演劇、児童演劇、人形劇	ミュージカル	ラリーダンスなど	バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど	ストリートダンス、ジャズダンス、民族舞踊（フラダンス、サルサ、フラメンコ等）、社交ダンスなど	日本舞踊（歌舞伎、能、狂言、人形浄瑠璃、文楽、三味線、尺八、雅楽、声楽など）	伝統芸能（歌舞伎、能、狂言、人形浄瑠璃、文楽、三味線、尺八、雅楽、声楽など）	演芸（落語、講談、漫才、コント、奇術、手品、大道芸、太神楽など）	映画（アニメを除く）	アニメーション	マンガ・アニメ映画、コンピュータや映像を活用したアート（メディアアート）など	民俗文化（地域の祭り、年中行事など）	生活文化（茶道、華道、書道、囲碁など（食文化を除く））	食文化	歴史文化（歴史的な建造物、景観、文化財）	文化財の保存に必要な材料製作、修理、修復の技術（漆工、染織、手書き和紙、和楽器製作等）など	特になし、分からない	無回答
全体(N=1468)		1468	29.1	10.2	16.0	43.9	38.3	6.8	5.9	4.2	5.0	32.5	54.3	22.1	14.0	35.3	29.9	41.9	52.5	45.2	38.1	9.3	2.3				
性別	男性	620	25.0	10.4	15.4	36.1	35.7	6.5	5.3	4.0	4.9	26.7	51.5	19.5	13.8	37.3	30.4	36.0	49.1	46.3	34.6	10.1	2.3				
	女性	839	32.2	10.1	16.6	49.5	39.7	6.9	6.2	4.3	5.2	36.5	56.3	23.9	14.1	33.4	29.3	46.0	54.8	44.2	40.7	8.7	2.2				
年代	18歳～29歳	118	33.0	4.9	20.4	49.0	34.9	8.8	4.1	2.4	4.7	37.7	52.7	22.0	19.1	54.2	29.8	56.7	66.4	48.1	38.0	2.4	0.0				
	30歳～39歳	205	36.8	5.1	18.4	53.9	46.0	6.2	4.3	5.2	3.6	45.8	59.8	25.8	18.4	56.7	36.3	51.7	64.2	58.4	42.5	5.7	0.0				
	40歳～49歳	275	31.1	12.0	22.9	43.2	38.9	9.4	8.8	5.2	6.7	31.6	53.6	25.0	16.7	45.7	30.7	42.9	59.8	50.3	43.8	4.5	0.8				
	50歳～59歳	245	29.8	12.1	17.7	45.3	41.6	7.7	6.1	2.9	6.8	33.5	56.1	24.1	14.9	44.8	31.5	44.1	63.0	43.8	41.6	7.8	1.1				
	60歳～69歳	291	23.6	11.1	13.4	40.3	35.7	7.2	8.2	5.9	5.8	27.0	56.6	24.3	12.3	21.3	25.9	33.4	44.0	40.3	34.6	11.8	3.8				
	70歳以上	331	25.2	11.4	8.4	38.0	33.9	2.8	3.1	2.7	2.8	27.0	48.2	13.7	7.9	11.6	27.9	36.0	33.8	37.0	30.5	16.7	5.4				
居住地	北九州 地域	373	27.0	10.7	14.6	44.4	35.4	6.2	7.6	3.9	4.5	30.1	52.2	19.7	14.3	35.1	26.4	38.5	51.7	41.6	39.0	7.9	1.4				
	福岡 地域	733	31.7	10.8	17.3	44.6	43.3	7.2	5.4	4.9	5.7	35.1	55.7	24.5	15.2	38.7	33.2	46.9	56.2	50.0	39.7	9.3	2.1				
	筑後 地域	234	26.1	7.6	14.4	43.3	31.3	5.0	4.2	2.3	3.7	30.3	54.0	19.6	10.4	26.9	25.3	35.0	44.1	39.2	32.1	10.2	3.9				
	筑豊 地域	129	25.5	9.7	15.5	39.3	30.8	9.7	7.0	3.8	5.6	29.0	52.5	19.9	12.6	31.7	29.0	35.8	49.6	39.3	37.0	11.4	3.2				
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	231	30.8	13.5	19.4	42.1	38.3	6.6	5.9	6.6	6.7	28.6	49.3	23.5	16.0	30.5	25.7	43.2	52.6	44.7	39.2	12.6	3.3				
	夫婦のみ	370	26.4	11.1	11.3	44.9	39.8	5.6	5.3	2.9	3.8	33.5	54.8	19.0	10.3	24.5	29.9	41.4	45.1	41.2	33.1	10.9	3.1				
	親子同居（2世代同居）	726	29.6	8.7	16.0	43.6	37.2	7.4	5.8	4.2	5.1	33.8	55.7	23.3	14.5	42.3	31.3	41.8	55.4	48.7	40.6	7.4	1.1				
	親と子と孫（3世代同居）	90	28.4	10.5	19.0	44.1	40.5	5.6	11.2	3.9	7.8	30.3	50.6	20.0	18.3	35.5	33.7	44.2	52.8	34.6	33.7	11.7	4.5				
	兄弟・姉妹同居	10	38.6	7.9	38.6	59.9	56.6	7.9	7.9	7.9	3.9	42.5	63.8	27.6	42.5	53.5	27.6	57.4	57.4	46.5	63.8	3.9	0.0				
	その他	33	36.6	7.9	31.7	50.3	27.4	6.3	0.0	0.0	0.0	26.0	59.5	19.3	13.8	33.0	21.9	39.1	67.8	46.8	35.3	5.7	0.0				
及同居の子の学有無	同居の子 あり	616	26.8	9.1	13.5	43.0	37.1	6.9	6.3	4.1	4.7	32.4	53.9	21.3	13.9	39.6	30.7	40.1	53.9	47.0	37.2	8.9	1.7				
	未就学児	155	32.7	4.5	17.1	53.5	34.7	8.5	7.2	6.6	5.5	43.7	55.4	26.1	14.5	52.2	36.5	53.8	60.5	61.3	44.2	6.8	0.2				
	小学生	127	25.0	9.1	11.7	41.1	39.5	6.2	5.4	2.6	6.0	27.3	48.6	14.4	17.2	46.9	27.5	33.4	54.9	43.7	43.0	7.7	1.8				
	中学生	54	25.6	14.3	12.5	40.5	45.7	4.2	1.1	0.0	0.0	39.2	54.8	20.9	11.5	47.9	27.0	37.9	58.5	49.2	31.2	3.8	1.1				
	高校生	36	41.4	2.9	13.7	51.0	52.8	3.9	8.1	8.1	2.9	44.1	57.2	27.5	11.6	24.1	37.7	55.0	77.1	49.8	39.2	3.1	1.0				
	大学・短大・高専以上や社会人	241	22.4	12.0	12.6	36.7	33.4	7.3	7.1	3.8	4.9	24.4	55.6	21.3	12.7	28.8	28.8	33.6	45.3	39.2	31.2	12.4	2.7				
	同居の子 なし	832	30.5	10.9	17.7	44.3	39.0	6.7	5.8	4.3	5.4	32.6	54.9	22.7	14.4	32.3	29.5	43.7	51.2	44.1	38.4	9.6	2.5				

1.2.「文化芸術の国際交流・魅力発信」について

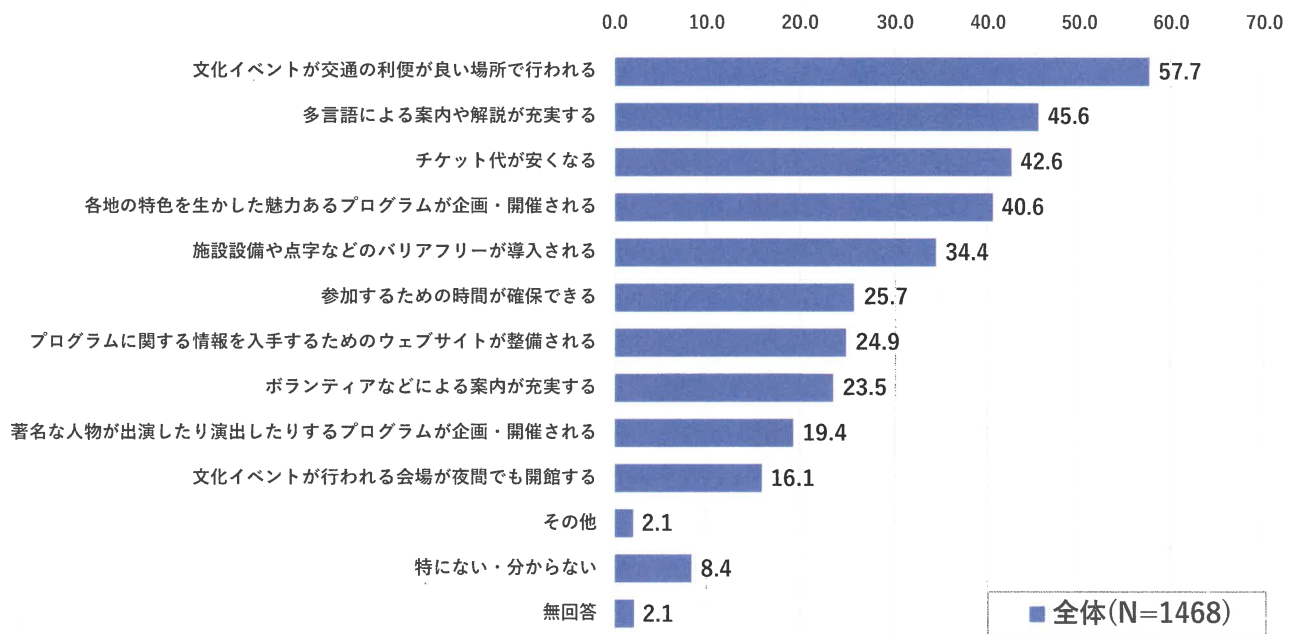
（3） 国内外の多くの人々が文化イベントに参加するための環境

問32. あなたは、文化イベントに国内外の多くの人々が参加するために、どのような環境が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

国内外の多くの人々が文化イベントに参加するための環境は、「文化イベントが交通の利便が良い場所で行われる」が57.7%で最も高く、次いで「多言語による案内や解説が充実する」（45.6%）、「チケット代が安くなる」（42.6%）、「各地の特色を生かした魅力あるプログラムが企画・開催される」（40.6%）が4割台で続いている。

年代別に見ると、30～39歳が相対的に高く、特に「多言語による案内や解説が充実する」（57.9%）、「施設設備や点字などのバリアフリーが導入される」（45.2%）、「プログラムに関する情報を入手するためのウェブサイトが整備される」（41.7%）、「参加するための時間が確保できる」（39.5%）が他の年代よりも目立ち、「参加するための時間が確保できる」は40～49歳でも高くなっている。

【県民】図表 40-1 国内外の多くの人々が文化イベントに参加するための環境



II.調査結果 第1章 県民に対する文化芸術活動実態調査（令和2年）

【県民】図表 40-2 国内外の多くの人が文化イベントに参加するための環境

		合 計	が文化 イベント で行われ る利便	チケッ ト代が 安くな る	参 加す るた めの 時間 が	文 化イ ベ ン ト も 開 館 す る	企 画・ 開 催 さ れ る	各 地 の 特 色 を 生 か し た	出 演 者 名 な 人 物 が 出 演 し た り す る	著 名 な 人 物 が 出 演 し た り す る	入 手 す る た め の ウ ェ ブ サ イ ト	プ ロ グ ラ ム に 関 する 情 報 を	案 内 が 充 実 す る	ポ ラン テ ィ ア な ど に よ る	多 言 語 に よ る	案 内 や 解 説 が 充 実 す る	バ リ エ ー リ ー が 導 入 さ れ る	施 設 設 備 や 点 字 な ど の	そ の 他	特 に な い ・ 分 か ら ない	無 回 答
全体		1468	57.7	42.6	25.7	16.1	40.6	19.4	24.9	23.5	45.6	34.4	2.1	8.4	2.1						
性別	男性	620	52.7	37.4	25.4	17.9	40.5	18.8	26.7	22.4	41.1	27.2	2.4	8.9	1.8						
	女性	839	61.2	46.4	25.7	14.9	40.8	19.9	23.3	24.0	48.7	39.6	1.8	8.1	2.4						
年代	18歳～29歳	118	65.4	35.9	29.0	17.1	44.1	25.1	28.2	18.6	52.3	36.7	1.6	1.4	0.0						
	30歳～39歳	205	65.9	41.8	39.5	19.7	48.4	28.4	41.7	21.2	57.9	45.2	1.9	4.2	0.0						
	40歳～49歳	275	52.1	49.3	36.1	18.0	37.2	21.8	30.5	20.3	48.7	37.0	3.9	3.6	1.0						
	50歳～59歳	245	63.4	44.1	26.8	17.6	40.5	20.3	30.4	29.9	42.0	41.6	2.5	7.1	0.9						
	60歳～69歳	291	51.8	43.1	19.7	16.1	43.4	14.7	20.4	23.2	45.7	31.0	0.0	10.7	2.3						
	70歳以上	331	55.6	38.1	11.3	10.9	35.1	13.2	8.8	24.8	35.5	22.9	2.3	16.5	6.0						
居住地	北九州 地域	373	58.1	45.2	24.7	14.9	40.7	16.0	22.5	25.3	42.7	31.2	1.1	7.6	2.2						
	福岡 地域	733	58.8	44.6	27.6	17.8	41.2	21.6	28.9	23.7	48.5	36.9	2.6	7.2	1.5						
	筑後 地域	234	57.2	36.3	23.0	13.6	40.7	18.5	17.2	21.9	42.0	32.9	2.1	9.7	3.1						
	筑豊 地域	129	51.6	35.5	23.2	14.1	36.4	17.9	23.2	20.5	44.0	32.8	1.8	15.5	3.5						
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	231	55.1	41.3	23.5	18.4	38.0	22.4	20.4	20.9	45.6	30.9	1.9	12.2	3.6						
	夫婦のみ	370	55.4	43.0	19.2	13.5	37.5	19.8	19.8	28.2	40.9	29.8	0.0	9.7	4.1						
	親子同居（2世代同居）	726	57.9	42.1	30.0	17.4	43.4	18.9	30.4	21.9	47.7	38.3	3.4	6.9	1.0						
	親と子と孫（3世代同居）	90	64.9	43.4	25.3	9.1	41.6	13.8	19.8	27.0	44.4	33.6	0.4	6.9	1.1						
	兄弟・姉妹同居	10	81.2	59.9	34.0	34.0	22.8	18.8	15.8	27.6	68.4	42.5	0.0	3.9	0.0						
	その他	33	64.1	50.4	11.8	1.8	43.0	23.8	15.4	13.6	49.5	33.4	1.8	6.8	0.0						
及び同居の未就学児の有無	同居の子 あり	616	56.7	43.1	29.4	16.4	41.0	17.6	26.2	21.1	44.7	35.2	3.1	8.0	1.2						
	未就学児	155	64.2	47.5	44.9	18.0	43.3	22.2	36.4	20.5	52.0	43.4	4.1	3.9	0.0						
	小学生	127	50.0	40.8	29.1	15.9	38.2	18.5	27.7	17.7	47.2	34.1	0.3	8.2	0.6						
	中学生	54	61.7	43.1	29.0	20.1	44.5	19.4	23.1	19.5	48.7	42.0	6.9	1.8	1.1						
	高校生	36	57.9	46.6	50.2	29.4	32.4	12.4	32.2	27.9	47.9	43.5	2.7	1.0	1.0						
	大学・短大・高専以上や社会人	241	54.3	41.3	17.1	13.1	41.6	14.7	19.1	22.7	37.9	28.3	3.2	12.8	1.7						
	同居の子 なし	832	57.7	41.8	23.0	15.5	40.7	20.6	24.5	25.2	46.3	34.4	1.3	8.9	2.0						

13.「行政の取り組み・ご意見」について

（1） 福岡県の文化芸術を振興するために行政が積極的に取り組むべきこと

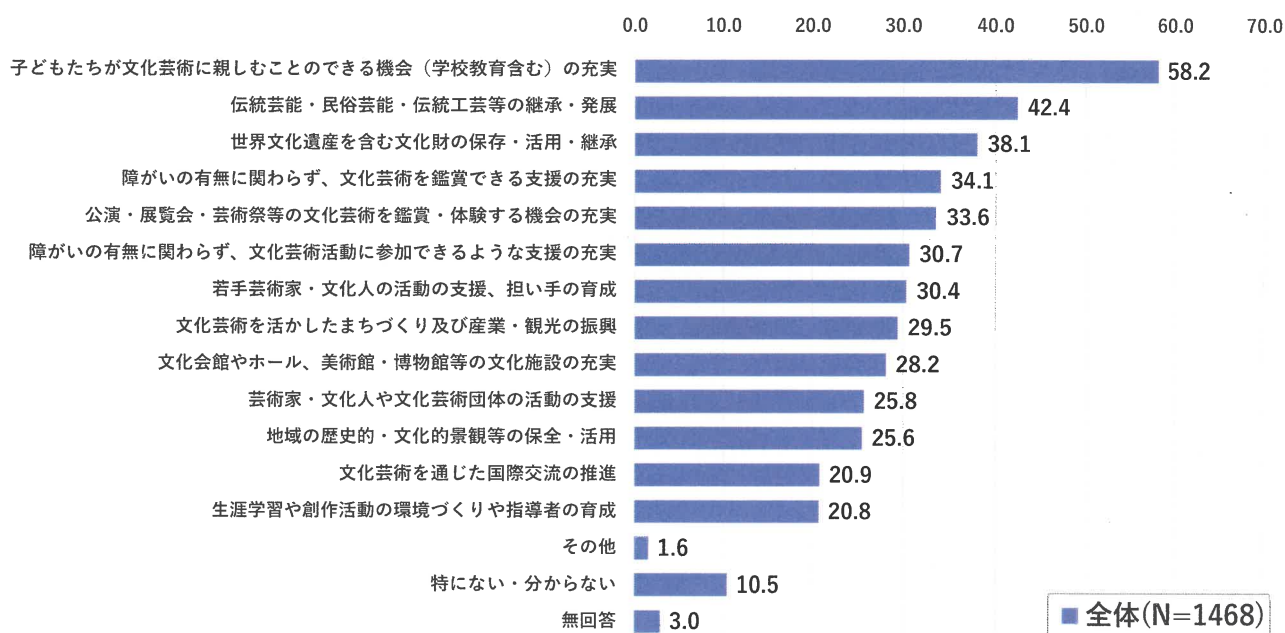
問33. 福岡県の文化芸術を振興するために行政（県・市町村）が積極的に取り組むべき事とはどのような事だと思いますか。（〇はいくつでも）

福岡県の文化芸術を振興するために行政が積極的に取り組むべきことは、「子どもたちが文化芸術に親しむことのできる機会（学校教育含む）の充実」が58.2%で最も高く、次いで「伝統芸能・民俗芸能・伝統工芸等の継承・発展」（42.4%）、「世界文化遺産を含む文化財の保存・活用・継承」（38.1%）、「障がいの有無に関わらず、文化芸術を鑑賞できる支援の充実」（34.1%）、「公演・展覧会・芸術祭等の文化芸術を鑑賞・体験する機会の充実」（33.6%）の順となっている。

年代別に見ると、30～39歳では「若手芸術家・文化人の活動の支援、担い手の育成」（45.0%）、40～49歳では「子どもたちが文化芸術に親しむことのできる機会（学校教育含む）の充実」（68.5%）、50～59歳では「障がいの有無に関わらず、文化芸術を鑑賞できる支援の充実」（46.7%）がそれぞれ他の年代に比べて高くなっている。

居住地別に見ると、福岡地域では「公演・展覧会・芸術祭等の文化芸術を鑑賞・体験する機会の充実」が39.4%と他地域に比べてやや高くなっている。

【県民】図表 41-1 福岡県の文化芸術を振興するために行政が積極的に取り組むべきこと



II.調査結果 第1章 県民に対する文化芸術活動実態調査（令和2年）

【県民】図表 41-1 福岡県の文化芸術を振興するために行政が積極的に取り組むべきこと

		合計	伝統工芸等の継承・発展	文化財の保存・活用・継承	世界文化遺産を含む	芸術家の活動の支援	芸術家・文化人や文化芸術団体の活動の支援	文化芸術を鑑賞・体験する機会を鑑賞・体験する	公演・展覧会・芸術祭等の文化芸術を鑑賞・体験する	子どもたちが文化芸術に親しむことのできる機会（学校教育含む）の充実	環境づくりや創作活動の育成	生涯学習や指導者の育成	活動の支援、担い手の育成	若手芸術家・文化人の育成	美術館・博物館等の文化施設の充実	文化会館やホール、文化施設・博物館等の文化施設の活用	地域の歴史・文化的景観の保全・活用	文化芸術を鑑賞できる文化施設の充実	障がいのある有識者への文化芸術活動に参画できるような支援の充実	障がいのある有識者への文化芸術活動に参画できるような支援の充実	産業・観光の振興	まちづくり及び文化芸術を活かした国際交流の推進	文化芸術を推進した	その他	特になし・分からない	無回答
全体(N=1468)		1468	42.4	38.1	25.8	33.6	58.2	20.8	30.4	28.2	25.6	34.1	30.7	29.5	20.9	1.6	10.5	3.0								
性別	男性	620	43.8	40.0	23.9	30.4	55.0	18.9	28.5	26.0	26.6	29.4	24.6	30.8	19.9	2.0	9.8	2.9								
	女性	839	41.3	36.6	26.8	35.9	60.3	22.1	31.6	30.0	24.8	37.3	35.2	28.4	21.5	1.3	11.1	3.1								
年代	18歳～29歳	118	41.4	33.6	21.5	34.5	57.3	19.2	30.6	21.7	25.6	39.6	35.0	36.8	17.8	0.3	5.7	0.5								
	30歳～39歳	205	43.7	43.3	28.0	35.9	64.7	18.0	45.0	34.5	27.0	33.7	30.6	32.4	23.7	1.2	8.0	0.0								
	40歳～49歳	275	43.2	44.2	27.7	31.6	68.5	17.5	28.9	33.3	30.3	30.1	30.9	26.4	19.6	3.5	6.7	1.3								
	50歳～59歳	245	46.6	44.6	29.9	41.2	59.3	21.4	34.8	28.2	30.2	46.7	40.0	32.9	24.7	2.2	11.0	1.3								
	60歳～69歳	291	44.3	33.7	26.8	30.9	56.7	23.4	29.4	27.8	25.7	31.4	28.5	31.7	25.7	0.3	12.2	3.6								
	70歳以上	331	36.4	29.9	19.7	30.0	46.4	25.9	20.6	23.1	17.6	28.8	24.5	23.7	14.6	1.6	15.2	7.9								
居住地	北九州地域	373	42.7	37.4	26.1	29.2	59.3	18.0	31.2	28.9	23.3	33.1	30.3	29.2	18.5	1.7	10.1	2.5								
	福岡地域	733	44.3	41.8	28.1	39.4	58.2	23.2	33.2	30.9	28.6	35.1	31.4	30.9	24.5	1.5	8.8	2.8								
	筑後地域	234	38.6	32.1	19.6	25.1	58.0	17.8	22.7	21.7	21.1	32.1	28.2	26.1	17.0	1.3	13.6	3.9								
	筑豊地域	129	37.8	30.2	23.2	28.7	55.1	20.8	26.1	22.6	23.2	35.2	32.3	28.4	14.4	2.6	16.1	3.5								
世帯構成	単身世帯（ひとり暮らし）	231	41.7	33.7	25.5	34.3	44.2	26.3	28.5	33.5	25.7	37.5	29.7	34.5	21.2	2.5	14.2	3.4								
	夫婦のみ	370	44.8	37.8	25.2	35.1	54.0	22.2	31.0	25.0	29.4	33.7	29.5	30.9	20.3	0.5	11.5	3.8								
	親子同居（2世代同居）	726	41.6	40.5	27.0	33.9	64.1	18.2	31.4	27.8	24.5	33.6	32.1	28.3	22.1	2.3	9.0	2.0								
	親と子と孫（3世代同居）	90	46.0	30.3	22.7	24.9	68.8	25.3	23.4	27.4	23.4	29.6	27.1	29.4	17.4	0.0	11.7	3.2								
	兄弟・姉妹同居	10	48.9	46.5	14.9	3.9	55.0	11.8	44.7	45.0	25.9	41.9	46.5	21.3	27.6	0.0	3.9	0.0								
	その他	33	26.1	32.3	11.1	41.0	48.8	13.6	37.1	39.5	16.0	44.3	33.0	12.4	11.8	0.0	7.9	5.7								
同居の子どもがいない	同居の子あり	616	40.6	37.9	25.8	33.4	66.3	19.0	28.5	26.5	22.2	31.0	29.4	27.0	20.1	2.2	10.5	2.6								
	未就学児	155	40.0	41.4	25.8	38.8	81.2	13.6	35.4	33.6	25.1	33.1	32.5	26.6	21.5	3.0	6.8	0.0								
	小学生	127	35.0	34.2	29.1	28.2	75.9	18.8	29.9	27.9	19.0	27.7	31.5	26.1	19.7	2.8	9.0	1.4								
	中学生	54	56.0	45.4	17.0	26.2	58.1	16.7	37.0	26.0	26.7	21.2	17.3	26.3	23.0	5.8	10.0	1.1								
	高校生	36	43.7	50.6	29.3	56.8	66.2	23.1	32.4	32.2	28.1	34.9	25.6	32.8	24.7	0.0	4.8	1.0								
	大学・短大・高等以上や社会人	241	39.9	34.5	25.3	30.7	54.2	22.7	25.2	20.8	20.3	33.2	30.0	27.3	18.2	1.0	14.5	4.8								
	同居の子なし	832	43.6	38.0	25.7	34.1	52.4	22.3	31.9	29.9	28.4	36.6	31.9	31.8	22.0	1.2	10.7	2.8								

第2章 県内の指定障がい福祉サービス事業所に対する

文化芸術活動実態調査（令和2年）

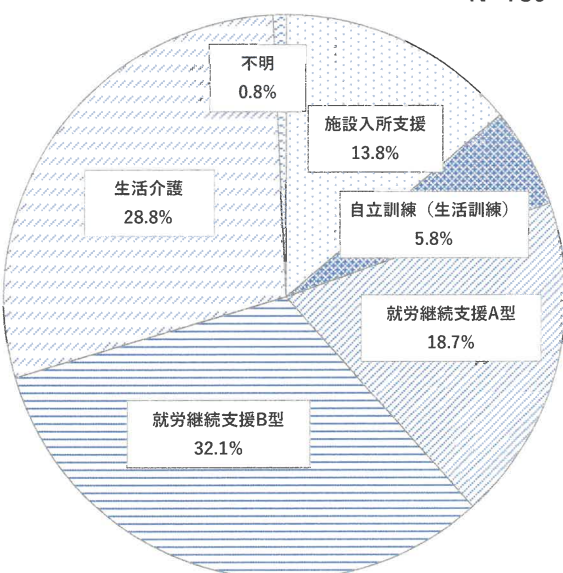
1. 回答者について

（1）基本属性

【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表1 サービス種別

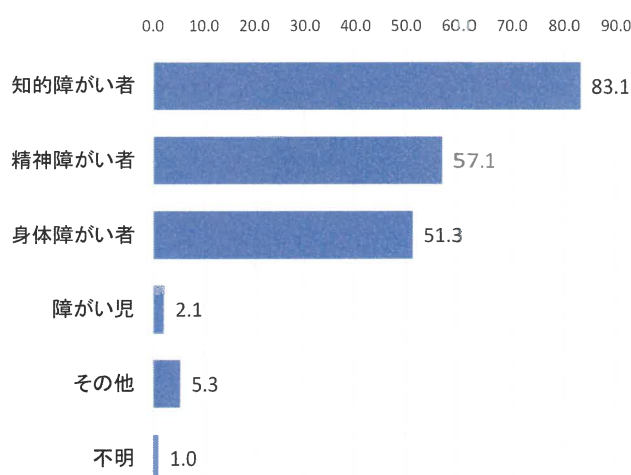
N=780



【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表2 専門の障がい種別

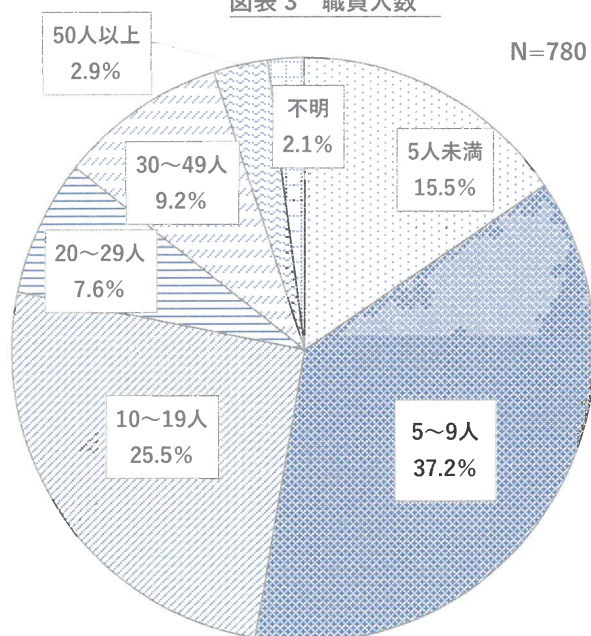
N=780



【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表3 職員人数

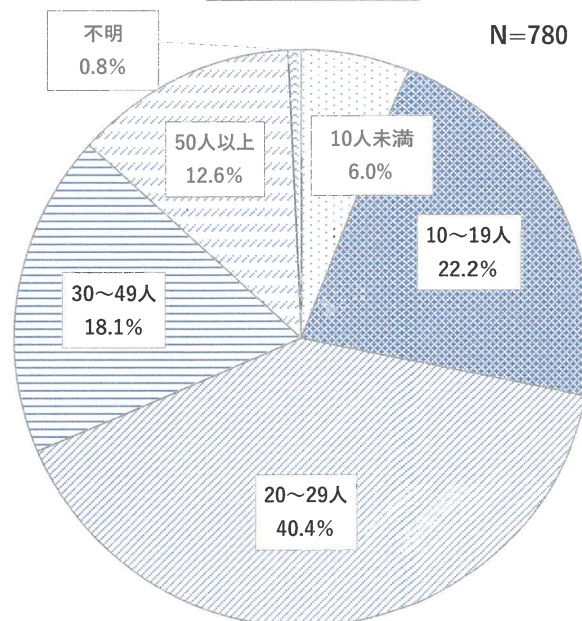
N=780



【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表4 利用定員

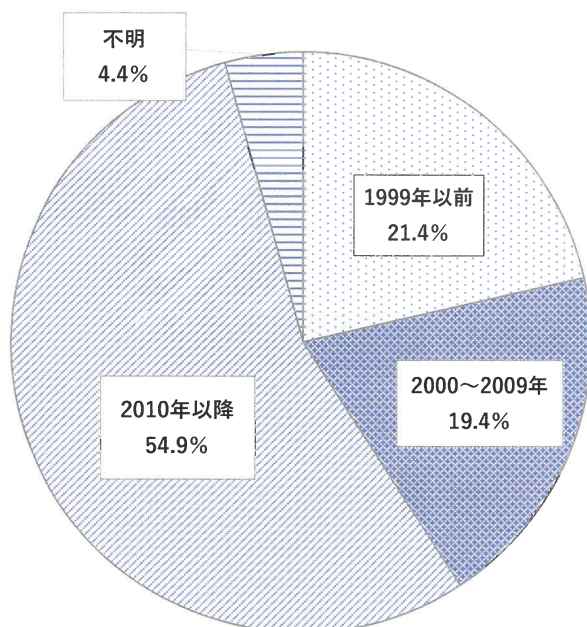
N=780



【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表5 設立年

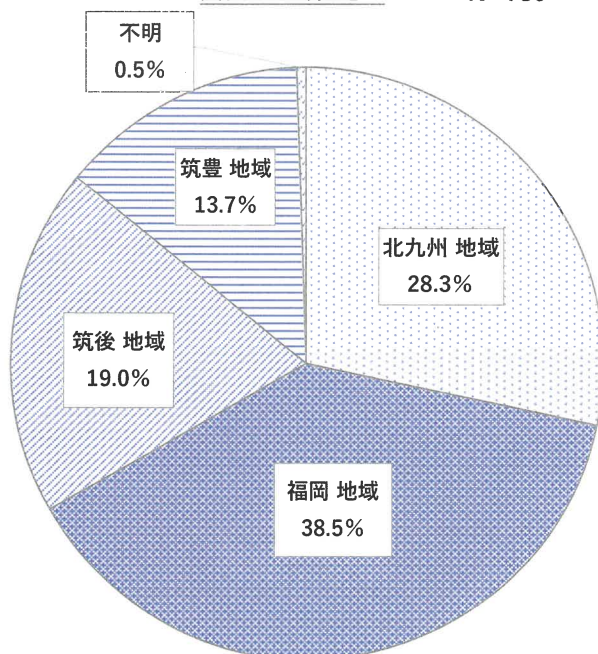
N=780



【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表6 所在地

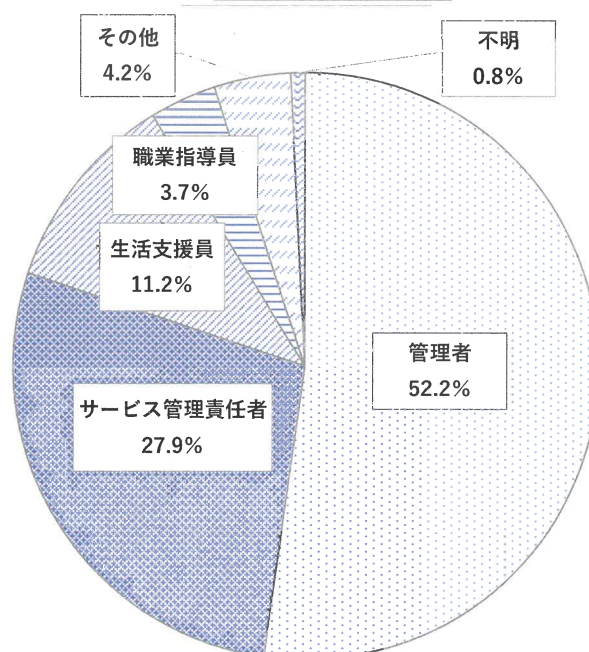
N=780



【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表7 回答者役職

N=780



2. 事業所での「文化芸術活動」について

（1） 実施の有無

問8.貴事業所では文化芸術活動を実施していますか。（○は1つだけ）

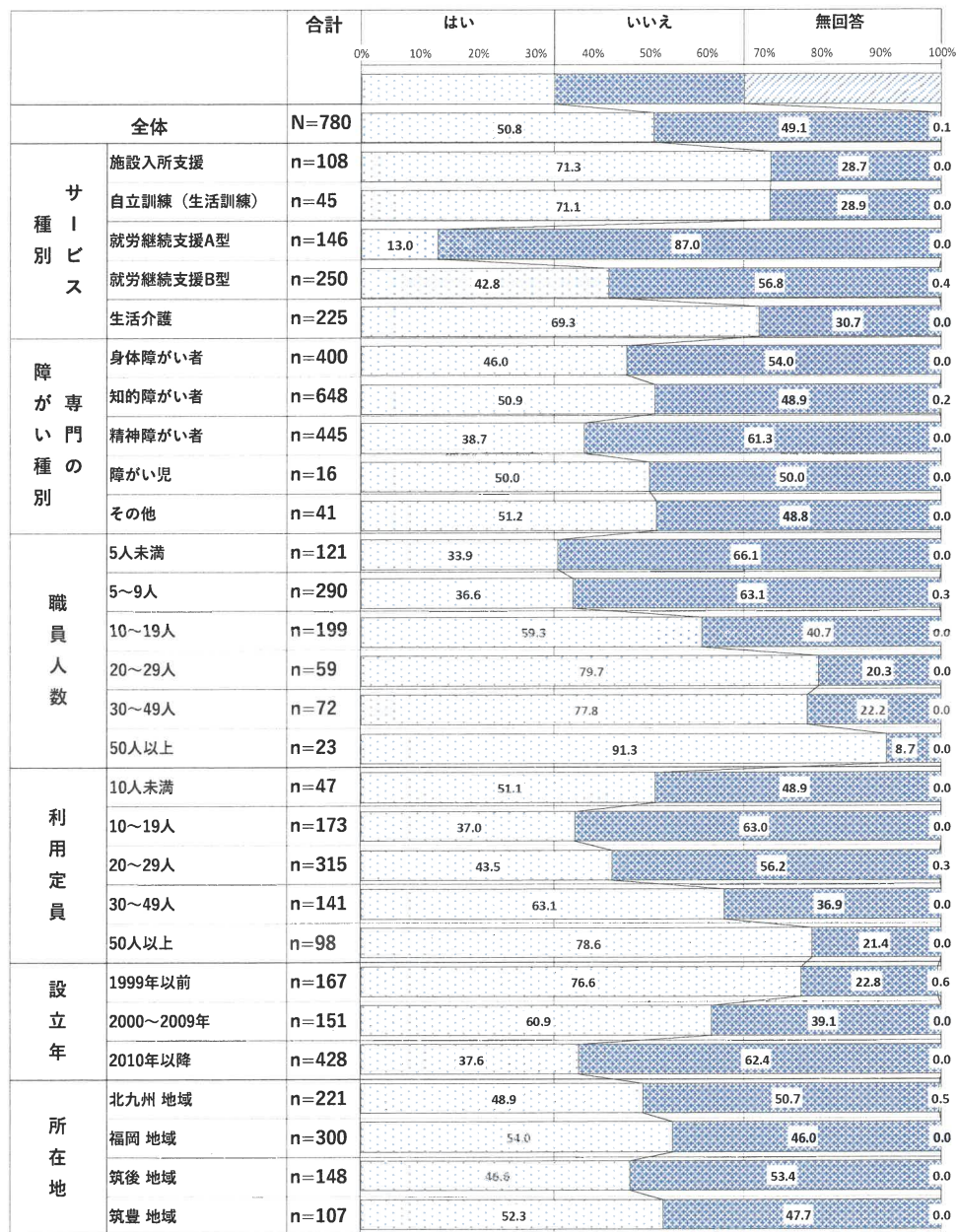
実施有無は、「はい（実施している）」（50.8%）と「いいえ（実施していない）」（49.1%）が拮抗している。

サービス種別に見ると、施設入所支援、自立訓練（生活訓練）、生活介護では「はい（実施している）」が7割前後と高く、就労継続支援A型では「いいえ（実施していない）」が87.0%を占めている。

専門の障がい種別に見ると、精神障がい者がいる施設では「いいえ（実施していない）」が61.3%と高くなっている。

職員人数別や利用定員別に見ると、規模が大きな施設において「はい（実施している）」の割合が比較的高くなる傾向が見られる。

【県内の指定障がい福祉サービス事業所】図表8 文化芸術活動実施の有無



2. 事業所での「文化芸術活動」について

（2）文化芸術活動を実施している事業所 実施状況

① 実施場所

問9. 文化芸術活動はどこで実施していますか。（○はいくつでも）

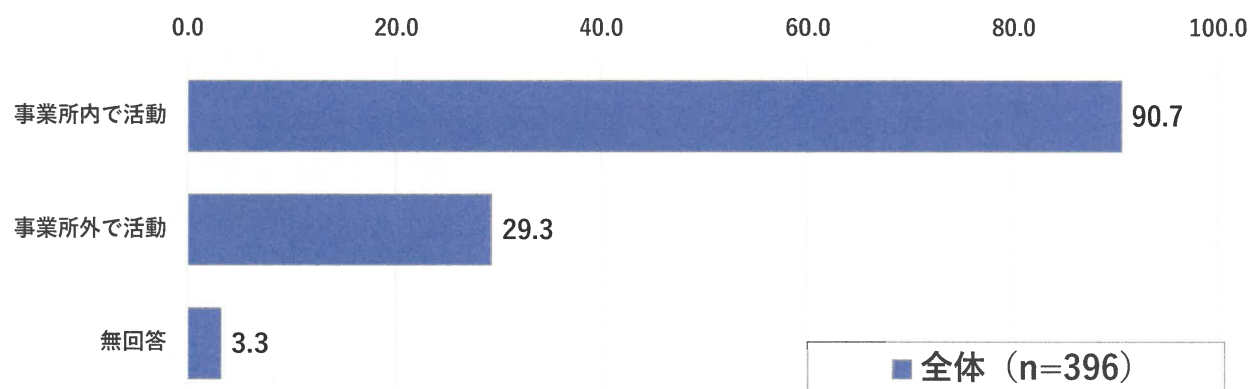
実施場所は、90.7%が「事業所内で活動」と回答しており、ほとんどの事業者が事業所内で活動しているという結果になっている。一方、「事業所外で活動」している事業者は29.3%に留まっている。

サービス種別に見ると、生活介護では「事業所内で活動」が96.8%、「事業所外で活動」が21.2%となっており、他のサービス種別よりも事務所内での活動比率が高い。

職員人数別に見ると、50人以上の大規模施設では「事業所外で活動」が42.9%と唯一4割に達している。

【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表 9-1 文化芸術活動を実施している事業所 実施状況 ①実施場所



【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表 9-2 文化芸術活動を実施している事業所 実施状況 ①実施場所

		合 計	事 業 所 内 で 活 動	事 業 所 外 で 活 動	無 回 答
全体（n=396）		396	90.7	29.3	3.3
サ ー ビ ス の 種 別	施設入所支援	77	88.3	32.5	3.9
	自立訓練（生活訓練）	32	90.6	31.3	3.1
	就労継続支援A型	19	78.9	52.6	0.0
	就労継続支援B型	107	86.9	34.6	3.7
	生活介護	156	96.8	21.2	1.9
障 が い の 種 別	身体障がい者	184	90.2	23.4	4.9
	知的障がい者	330	92.1	30.3	1.8
	精神障がい者	172	87.8	31.4	4.1
	障がい児	8	100.0	12.5	0.0
	その他	21	90.5	38.1	4.8
職 員 人 数	5人未満	41	92.7	24.4	0.0
	5～9人	106	83.0	36.8	5.7
	10～19人	118	94.9	25.4	0.8
	20～29人	47	95.7	31.9	4.3
	30～49人	56	89.3	23.2	3.6
	50人以上	21	95.2	42.9	4.8
利 用 定 員	10人未満	24	91.7	29.2	4.2
	10～19人	64	93.8	23.4	1.6
	20～29人	137	89.8	30.7	2.9
	30～49人	89	93.3	32.6	1.1
	50人以上	77	87.0	27.3	6.5
設 立 年	1999年以前	128	91.4	25.0	4.7
	2000～2009年	92	93.5	32.6	3.3
	2010年以降	161	88.2	32.9	1.9
所 在 地	北九州 地域	108	87.0	34.3	3.7
	福岡 地域	162	94.4	27.2	1.2
	筑後 地域	69	89.9	27.5	2.9
	筑豊 地域	56	89.3	28.6	7.1

2. 事業所での「文化芸術活動」について

（2）文化芸術活動を実施している事業所 実施状況

② 実施頻度

問10. 文化芸術活動をどの程度実施していますか（すべてのジャンル）。（○は1つだけ）

実施頻度は、「ほぼ毎日」が24.2%で最も高い。また、合わせて54.5%が『週1回程度以上』、84.8%が『月1回程度以上』の頻度で文化芸術活動を実施している。

サービス種別に見ると、生活介護では『週1回程度以上』が合わせて66.0%と比較的实施頻度が高くなっている。

利用定員別に見ると、10人未満や10～19人といった小規模施設では『週1回程度以上』が合わせて6割に達し、その内3割強は「ほぼ毎日」となっており実施頻度は高い。

【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表10 文化芸術活動を実施している事業所 実施状況 ②実施頻度

		合計	ほぼ毎日	週3～4回程度	週1～2回程度	月2～3回程度	月1回程度	それ以下	無回答	週1回以上	月1回以上
		n=396	24.2	11.1	19.2	17.2	13.1	8.8	6.3	54.5	84.8
サービス種別	施設入所支援	n=77	11.7	13.0	16.9	23.4	18.2	7.8	9.1	41.6	83.1
	自立訓練（生活訓練）	n=32	18.8	3.1	40.6	18.8	6.3	3.1	9.4	62.5	87.5
	就労継続支援A型	n=19	31.6	5.3	5.3	10.5	21.1	26.3	0.0	42.1	73.7
	就労継続支援B型	n=107	29.0	5.6	13.1	14.0	18.7	16.8	2.8	47.7	80.4
	生活介護	n=156	28.2	16.0	21.8	17.3	7.1	3.2	6.4	66.0	90.4
障がい専門種別	身体障がい者	n=184	24.5	11.4	18.5	14.7	10.3	10.9	9.8	54.3	79.3
	知的障がい者	n=330	24.2	11.5	17.9	18.5	14.2	8.8	4.8	53.6	86.4
	精神障がい者	n=172	27.9	7.6	19.2	14.5	11.6	12.8	6.4	54.7	80.8
	障がい児	n=8	50.0	25.0	0.0	12.5	0.0	12.5		75.0	87.5
	その他	n=21	47.6	0.0	14.3	4.8	4.8	14.3	14.3	61.9	71.4
職員人数	5人未満	n=41	29.3	9.8	24.4	19.5	9.8	4.9	2.4	63.4	92.7
	5～9人	n=106	22.6	8.5	14.2	14.2	15.1	17.0	8.5	45.3	74.5
	10～19人	n=118	32.2	9.3	20.3	15.3	12.7	5.9	4.2	61.9	89.8
	20～29人	n=47	19.1	14.9	25.5	10.6	10.6	8.5	10.6	59.6	80.9
	30～49人	n=56	17.9	16.1	12.5	26.8	16.1	5.4	5.4	46.4	89.3
	50人以上	n=21	9.5	9.5	28.6	28.6	14.3	4.8	4.8	47.6	90.5
利用定員	10人未満	n=24	33.3	8.3	20.8	8.3	4.2	16.7	8.3	62.5	75.0
	10～19人	n=64	32.8	10.9	17.2	10.9	10.9	9.4	7.8	60.9	82.8
	20～29人	n=137	22.6	9.5	20.4	14.6	15.3	10.2	7.3	52.6	82.5
	30～49人	n=89	24.7	13.5	18.0	19.1	13.5	9.0	2.2	56.2	88.8
	50人以上	n=77	16.9	11.7	20.8	26.0	14.3	3.9	6.5	49.4	89.6
設立案	1999年以前	n=128	17.2	12.5	18.0	20.3	18.0	7.0	7.0	47.7	85.9
	2000～2009年	n=92	30.4	6.5	17.4	19.6	13.0	7.6	5.4	54.3	87.0
	2010年以降	n=161	28.6	10.6	19.3	14.9	10.6	10.6	5.6	58.4	83.9
所在地	北九州 地域	n=108	22.2	14.8	19.4	11.1	13.0	13.0	6.5	56.5	80.6
	福岡 地域	n=162	25.9	11.1	20.4	19.8	12.3	5.6	4.9	57.4	89.5
	筑後 地域	n=69	27.5	5.8	20.3	14.5	15.9	11.6	4.3	53.6	84.1
	筑豊 地域	n=56	19.6	10.7	14.3	25.0	12.5	7.1	10.7	44.6	82.1

『週1回以上』…『ほぼ毎日』『週3～4回程度』『週1～2回程度』の計／『月1回以上』…『ほぼ毎日』『週3～4回程度』『週1～2回程度』『月2～3回程度』『月1回程度』の計

2. 事業所での「文化芸術活動」について

（2）文化芸術活動を実施している事業所 実施状況

③ 活動しているジャンル（鑑賞）

問11. <鑑賞>活動を実施しているジャンルを教えてください。（〇はいくつでも）

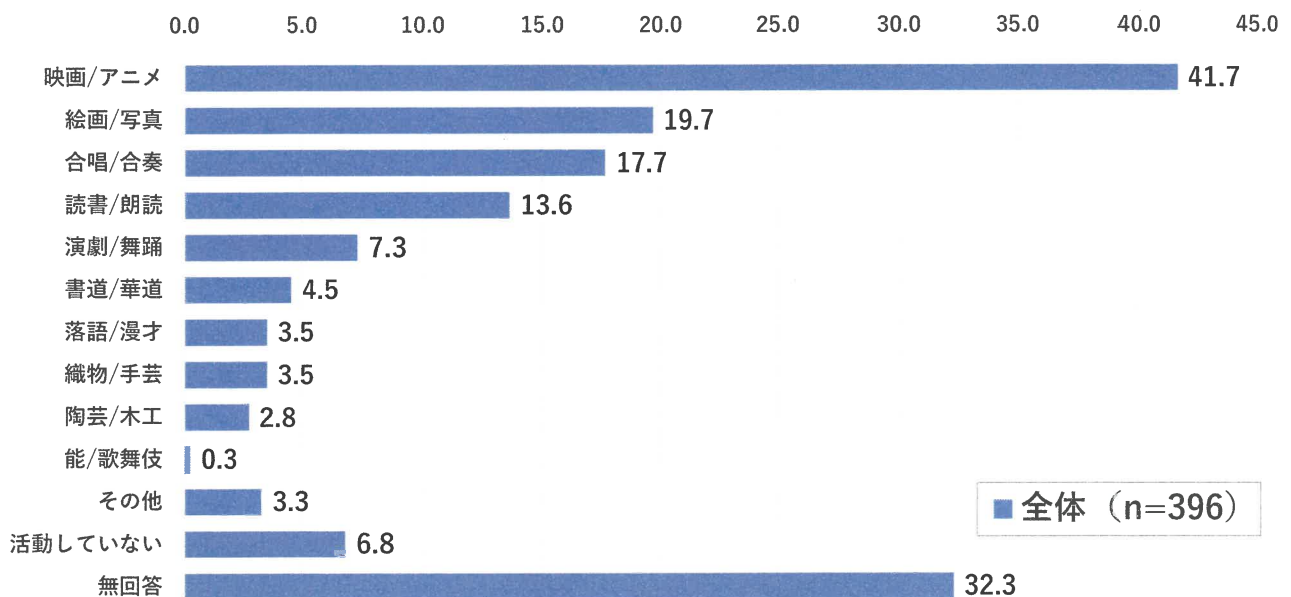
<鑑賞>活動を実施しているジャンルは、「映画／アニメ」（41.7％）が最も高く、以下「絵画／写真」（19.7％）、「合唱／合奏」（17.7％）、「読書／朗読」（13.6％）が1割台で続いている。

サービス種別に見ると、自立訓練（生活訓練）では「映画／アニメ」の鑑賞が59.4％と高くなっている。

所在地別に見ると、筑後地域では「合唱／合奏」が26.1％と他地域に比べてやや高くなっている。

【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表 11-1 文化芸術活動を実施している事業所 実施状況 ③活動しているジャンル（鑑賞）



【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表 11-2 文化芸術活動を実施している事業所 実施状況 ③活動しているジャンル（鑑賞）

	合計	合唱 / 合奏	読書 / 朗読	絵画 / 写真	演劇 / 舞踊	映画 / アニメ	織物 / 手芸	陶芸 / 木工	能 / 歌舞伎	落語 / 漫才	書道 / 華道	その他	活動 して いない	無 回 答
全体（n=396）	396	17.7	13.6	19.7	7.3	41.7	3.5	2.8	0.3	3.5	4.5	3.3	6.8	32.3
サ ー ビ ス の 種 別	施設入所支援	77	23.4	9.1	15.6	6.5	50.6	5.2	0.0	2.6	2.6	1.3	1.3	24.7
	自立訓練（生活訓練）	32	18.8	12.5	28.1	6.3	59.4	0.0	6.3	0.0	3.1	9.4	6.3	21.9
	就労継続支援A型	19	10.5	0.0	15.8	0.0	5.3	5.3	0.0	0.0	5.3	10.5	10.5	47.4
	就労継続支援B型	107	10.3	5.6	18.7	11.2	23.4	3.7	2.8	0.9	2.8	4.7	16.8	43.9
	生活介護	156	21.2	23.1	21.8	6.4	51.3	3.2	1.3	0.0	5.1	5.8	1.9	26.9
障 が い 者 の 種 別	身体障がい者	184	17.4	16.8	16.3	8.7	40.2	3.3	2.7	0.0	2.7	6.0	3.8	33.7
	知的障がい者	330	18.5	11.8	20.9	8.8	38.8	3.9	2.7	0.3	2.4	5.2	3.9	31.8
	精神障がい者	172	12.2	10.5	18.6	7.6	32.0	3.5	3.5	0.0	2.9	5.2	3.5	38.4
	障がい児	8	37.5	37.5	37.5	0.0	50.0	25.0	12.5	0.0	12.5	12.5	0.0	37.5
	その他	21	14.3	23.8	38.1	4.8	52.4	4.8	9.5	0.0	9.5	9.5	4.8	28.6
職 員 人 数	5人未満	41	7.3	4.9	19.5	2.4	29.3	2.4	4.9	0.0	0.0	7.3	0.0	36.6
	5～9人	106	19.8	9.4	18.9	7.5	27.4	1.9	2.8	0.0	5.7	6.6	7.5	42.5
	10～19人	118	16.9	17.8	22.9	8.5	44.1	5.1	1.7	0.8	3.4	4.2	1.7	31.4
	20～29人	47	25.5	12.8	31.9	4.3	46.8	6.4	6.4	0.0	4.3	0.0	2.1	27.7
	30～49人	56	19.6	14.3	10.7	12.5	55.4	3.6	1.8	0.0	3.6	1.8	1.8	23.2
	50人以上	21	14.3	28.6	4.8	4.8	66.7	0.0	0.0	0.0	4.8	4.8	0.0	19.0
利 用 定 員	10人未満	24	12.5	4.2	20.8	4.2	54.2	4.2	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	25.0
	10～19人	64	14.1	10.9	18.8	6.3	31.3	1.6	0.0	0.0	4.7	6.3	6.3	42.2
	20～29人	137	17.5	16.1	21.9	5.1	33.6	5.1	3.6	0.0	4.4	3.6	3.6	37.2
	30～49人	89	27.0	15.7	25.8	10.1	48.3	4.5	2.2	1.1	3.4	4.5	3.4	20.2
	50人以上	77	13.0	13.0	9.1	9.1	54.5	1.3	2.6	0.0	2.6	3.9	1.3	31.2
設 立 年	1999年以前	128	21.9	10.9	18.0	8.6	48.4	5.5	3.1	0.0	1.6	3.1	1.6	23.4
	2000～2009年	92	18.5	18.5	19.6	7.6	38.0	1.1	2.2	1.1	9.8	3.3	4.3	38.0
	2010年以降	161	14.3	13.0	22.4	6.8	37.3	3.7	3.1	0.0	6.2	1.9	5.0	35.4
所 在 地	北九州 地域	108	17.6	11.1	24.1	7.4	37.0	1.9	1.9	0.0	3.7	7.4	5.6	30.6
	福岡 地域	162	15.4	14.8	17.9	5.6	44.4	3.7	3.1	0.0	3.1	2.5	2.5	32.7
	筑後 地域	69	26.1	17.4	21.7	10.1	39.1	5.8	0.0	1.4	4.3	4.3	1.4	34.8
	筑豊 地域	56	14.3	10.7	14.3	8.9	46.4	3.6	7.1	0.0	3.6	5.4	3.6	30.4

2. 事業所での「文化芸術活動」について

（2）文化芸術活動を実施している事業所 実施状況

④ 活動しているジャンル（創造）

問12. <創造（創作）>活動を実施しているジャンルを教えてください。
（〇はいくつでも）

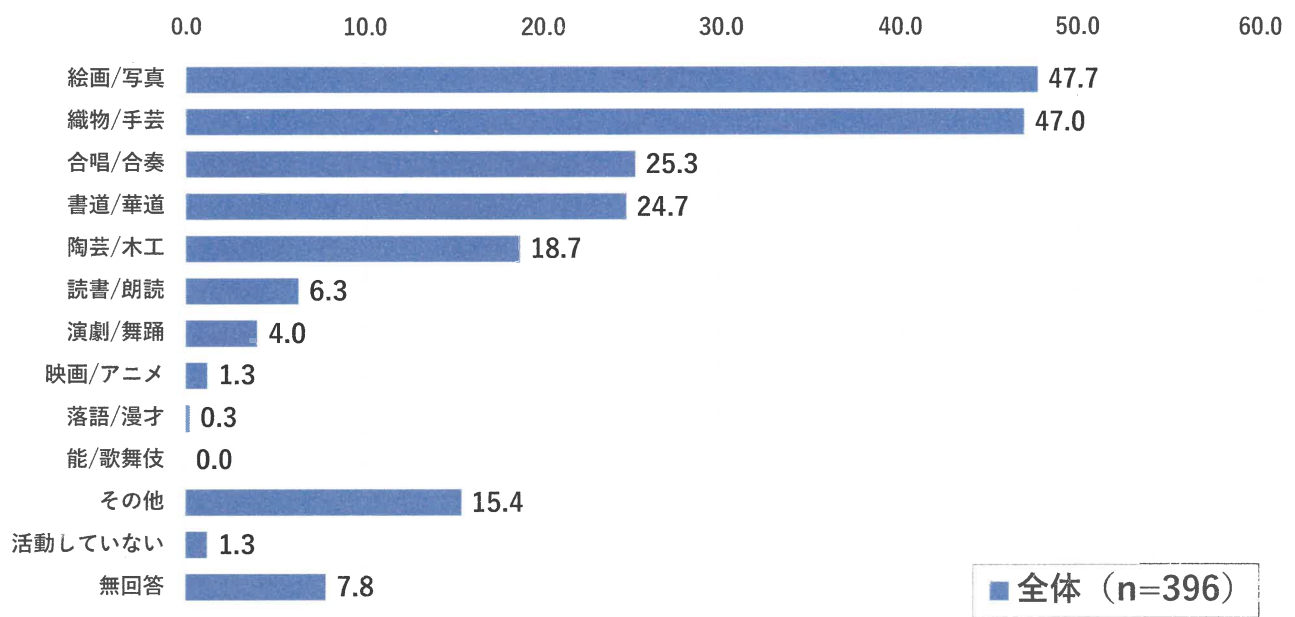
<創造（創作）>活動を実施しているジャンルは、「絵画／写真」（47.7％）と「織物／手芸」（47.0％）が拮抗しており、次いで「合唱／合奏」（25.3％）と「書道／華道」（24.7％）が2割台で続いている。

サービス種別に見ると、施設入所支援では「合唱／合奏」（33.8％）、生活介護では「絵画／写真」（54.5％）、「書道／華道」（34.6％）の実施がそれぞれ他のサービス種別に比べてやや高くなっている。

所在地別に見ると、福岡地域では「合唱／合奏」（34.0％）、「陶芸／木工」（24.7％）が他地域に比べてやや高く、筑後地区では「絵画／写真」は33.3％に留まり「織物／手芸」が55.1％とやや高くなっている。

【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表 12-1 文化芸術活動を実施している事業所 実施状況 ④活動しているジャンル（創造）



【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表 12-2 文化芸術活動を実施している事業所 実施状況 ④活動しているジャンル（創造）

		合計	合唱 / 合奏	読書 / 朗読	絵画 / 写真	演劇 / 舞踊	映画 / アニメ	織物 / 手芸	陶芸 / 木工	能 / 歌舞伎	落語 / 漫才	書道 / 華道	その他	活動 してい ない	無 回答
	全体（n=396）	396	25.3	6.3	47.7	4.0	1.3	47.0	18.7	0.0	0.3	24.7	15.4	1.3	7.8
サ ー ビ ス の 種 別	施設入所支援	77	33.8	1.3	42.9	5.2	0.0	36.4	16.9	0.0	0.0	26.0	11.7	1.3	11.7
	自立訓練（生活訓練）	32	28.1	12.5	50.0	6.3	0.0	50.0	18.8	0.0	0.0	25.0	18.8	0.0	9.4
	就労継続支援A型	19	15.8	0.0	31.6	0.0	0.0	52.6	5.3	0.0	0.0	5.3	10.5	5.3	5.3
	就労継続支援B型	107	19.6	2.8	43.0	3.7	1.9	50.5	21.5	0.0	0.0	13.1	12.1	2.8	4.7
	生活介護	156	25.6	10.3	54.5	3.8	1.9	48.7	19.2	0.0	0.6	34.6	19.9	0.0	7.1
障 が い 者 の 種 別	身体障がい者	184	25.0	8.2	40.8	1.6	1.6	51.1	19.6	0.0	0.0	20.7	15.2	1.1	9.8
	知的障がい者	330	24.8	4.5	47.6	4.5	0.6	48.5	20.6	0.0	0.0	23.6	16.1	0.9	7.0
	精神障がい者	172	22.1	6.4	44.8	1.2	0.6	54.1	19.8	0.0	0.0	15.7	15.7	2.3	7.6
	障がい児	8	50.0	62.5	62.5	0.0	12.5	50.0	12.5	0.0	0.0	50.0	12.5	0.0	12.5
	その他	21	28.6	14.3	66.7	4.8	4.8	61.9	23.8	0.0	4.8	28.6	19.0	0.0	4.8
職 員 人 数	5人未満	41	17.1	2.4	43.9	2.4	0.0	58.5	17.1	0.0	0.0	12.2	7.3	2.4	7.3
	5～9人	106	19.8	9.4	39.6	1.9	0.0	47.2	17.9	0.0	0.0	15.1	19.8	1.9	8.5
	10～19人	118	27.1	10.2	50.0	5.1	4.2	49.2	19.5	0.0	0.8	32.2	17.8	1.7	3.4
	20～29人	47	46.8	2.1	59.6	2.1	0.0	29.8	21.3	0.0	0.0	36.2	14.9	0.0	8.5
	30～49人	56	19.6	1.8	55.4	7.1	0.0	51.8	17.9	0.0	0.0	30.4	10.7	0.0	12.5
	50人以上	21	19.0	0.0	33.3	9.5	0.0	28.6	14.3	0.0	0.0	19.0	14.3	0.0	9.5
利 用 定 員	10人未満	24	20.8	8.3	50.0	8.3	0.0	54.2	16.7	0.0	0.0	20.8	8.3	0.0	4.2
	10～19人	64	25.0	15.6	43.8	1.6	0.0	60.9	17.2	0.0	0.0	18.8	18.8	1.6	3.1
	20～29人	137	19.0	7.3	45.3	2.2	2.9	44.5	18.2	0.0	0.7	20.4	16.8	1.5	9.5
	30～49人	89	36.0	3.4	53.9	5.6	1.1	40.4	19.1	0.0	0.0	36.0	12.4	1.1	5.6
	50人以上	77	24.7	0.0	46.8	6.5	0.0	45.5	19.5	0.0	0.0	24.7	14.3	1.3	11.7
設 立 年	1999年以前	128	26.6	2.3	50.0	3.9	1.6	38.3	19.5	0.0	0.0	28.9	16.4	0.8	7.8
	2000～2009年	92	29.3	5.4	51.1	5.4	1.1	48.9	23.9	0.0	0.0	28.3	9.8	1.1	6.5
	2010年以降	161	23.6	9.9	44.1	3.7	1.2	52.8	14.9	0.0	0.6	19.3	18.0	1.9	7.5
所 在 地	北九州 地域	108	18.5	8.3	52.8	0.9	0.9	43.5	16.7	0.0	0.0	33.3	17.6	1.9	11.1
	福岡 地域	162	34.0	6.2	52.5	7.4	1.9	50.0	24.7	0.0	0.6	19.1	13.0	1.2	5.6
	筑後 地域	69	18.8	1.4	33.3	1.4	1.4	55.1	11.6	0.0	0.0	20.3	14.5	0.0	7.2
	筑豊 地域	56	21.4	8.9	42.9	3.6	0.0	35.7	14.3	0.0	0.0	30.4	19.6	1.8	7.1

2. 事業所での「文化芸術活動」について

（2）文化芸術活動を実施している事業所 実施状況

⑤ 創造した作品の発表機会の有無

問13. 創造（創作）した作品を発表・公開する機会がありますか。（○は1つだけ）

創造した作品の発表機会が「ある」事業所は85.9%となっている。

サービス種別に見ると、該当数が少ないので参考値ではあるが、就労継続支援A型は「ない」が26.3%と高くなっている。

【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表13 文化芸術活動を実施している事業所 実施状況 ⑤創造した作品の発表機会の有無



2. 事業所での「文化芸術活動」について

（2）文化芸術活動を実施している事業所 実施状況

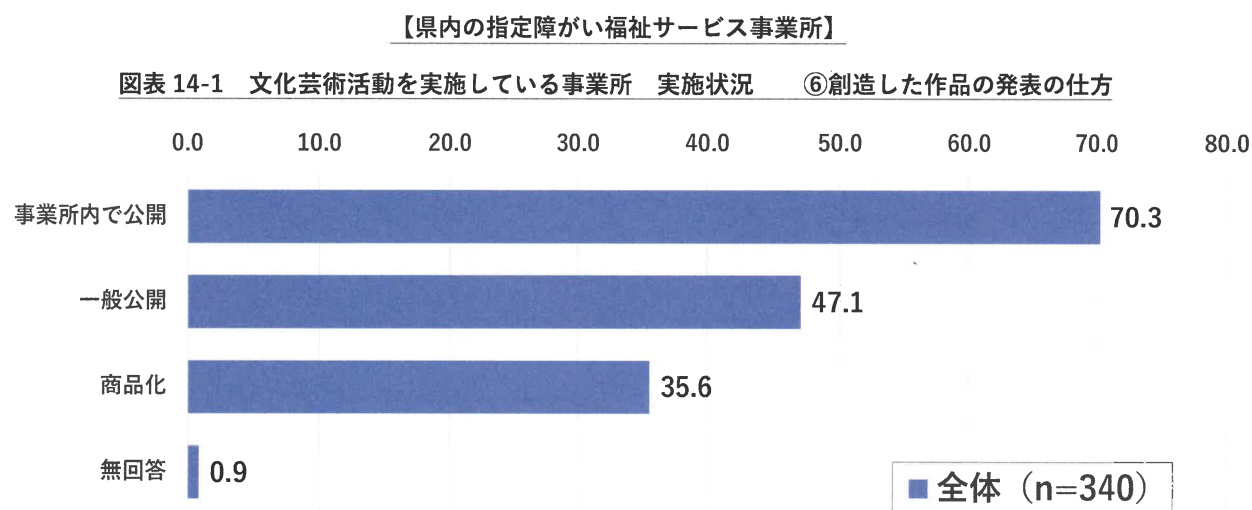
⑥ 創造した作品の発表の仕方

問13-1. それはどのような発表の仕方でしょうか。（○はいくつでも）

発表の方法については、「事業所内で公開」（70.3%）、「一般公開」（47.1%）、「商品化」（35.6%）の割合となっている。

サービス種別に見ると、就労継続支援B型では「商品化」が54.7%と他のサービス種別に比べて高くなっている。専門の障がい種別に見ると、精神障がい者がいる施設では「商品化」が47.2%と他の障がい種別に比べて高くなっている。

所在地別に見ると、筑豊地域では「事業所内で公開」が83.3%と突出しており、「一般公開」「商品化」の割合は低い。



【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表 14-2 文化芸術活動を実施している事業所 実施状況 ⑥創造した作品の発表の仕方

		合 計	事 業 所 内 で 公 開	一 般 公 開	商 品 化	無 回 答
全体（n=340）		340	70.3	47.1	35.6	0.9
サ ー ビ ス 種 別	施設入所支援	65	80.0	52.3	15.4	0.0
	自立訓練（生活訓練）	27	70.4	48.1	37.0	0.0
	就労継続支援A型	14	50.0	57.1	42.9	7.1
	就労継続支援B型	95	55.8	47.4	54.7	1.1
	生活介護	136	77.9	43.4	31.6	0.7
障 が い 種 別	身体障がい者	158	74.7	41.1	41.8	1.9
	知的障がい者	286	68.2	51.0	37.8	0.7
	精神障がい者	144	68.8	41.7	47.2	2.1
	障がい児	7	85.7	28.6	0.0	0.0
	その他	17	70.6	52.9	52.9	0.0
職 員 人 数	5人未満	35	57.1	51.4	48.6	2.9
	5～9人	86	62.8	43.0	41.9	1.2
	10～19人	105	70.5	45.7	37.1	1.0
	20～29人	43	81.4	55.8	27.9	0.0
	30～49人	49	77.6	42.9	26.5	0.0
	50人以上	18	83.3	55.6	5.6	0.0
利 用 定 員	10人未満	20	70.0	55.0	40.0	0.0
	10～19人	54	68.5	42.6	46.3	1.9
	20～29人	115	64.3	43.5	39.1	0.9
	30～49人	80	68.8	46.3	28.8	1.3
	50人以上	67	83.6	53.7	28.4	0.0
設 立 年	1999年以前	113	77.0	48.7	25.7	0.9
	2000～2009年	84	70.2	53.6	40.5	0.0
	2010年以降	130	66.2	42.3	40.0	1.5
所 在 地	北九州 地域	90	64.4	43.3	38.9	1.1
	福岡 地域	141	69.5	54.6	40.4	0.7
	筑後 地域	61	70.5	41.0	36.1	0.0
	筑豊 地域	48	83.3	39.6	14.6	2.1

2. 事業所での「文化芸術活動」について

（2）文化芸術活動を実施している事業所 実施状況

⑦ 創造した作品の著作権の取り扱い

問14. 創造（創作）した作品の著作権等の取扱いを定めていますか。（○は1つだけ）

創造した作品の著作権の取り扱いを「定めている」事業所は9.6%に留まっており、「定めていない」事業所（85.6%）が圧倒的に多くなっている。

サービス種別に見ると、前項で商品化の割合が高かった就労継続支援B型では「定めている」事業所が15.9%と他のサービス種別に比べてやや高くなっている。

所在地別に見ると、福岡地域では「定めている」事業所が14.8%とやや高くなっている。一方、筑後地域は「定めていない」事業所が97.1%とほとんどを占めている。

【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表15 文化芸術活動を実施している事業所 実施状況 ⑦創造した作品の著作権の取り扱い



2. 事業所での「文化芸術活動」について

（2） 文化芸術活動を実施している事業所 実施状況

⑧ 文化芸術活動実施上の重視点

問15. 貴事業所が障がいを持っている方を対象とした、文化芸術活動を実施するにあたって重視しているのはどのような事ですか。（〇はいくつでも）

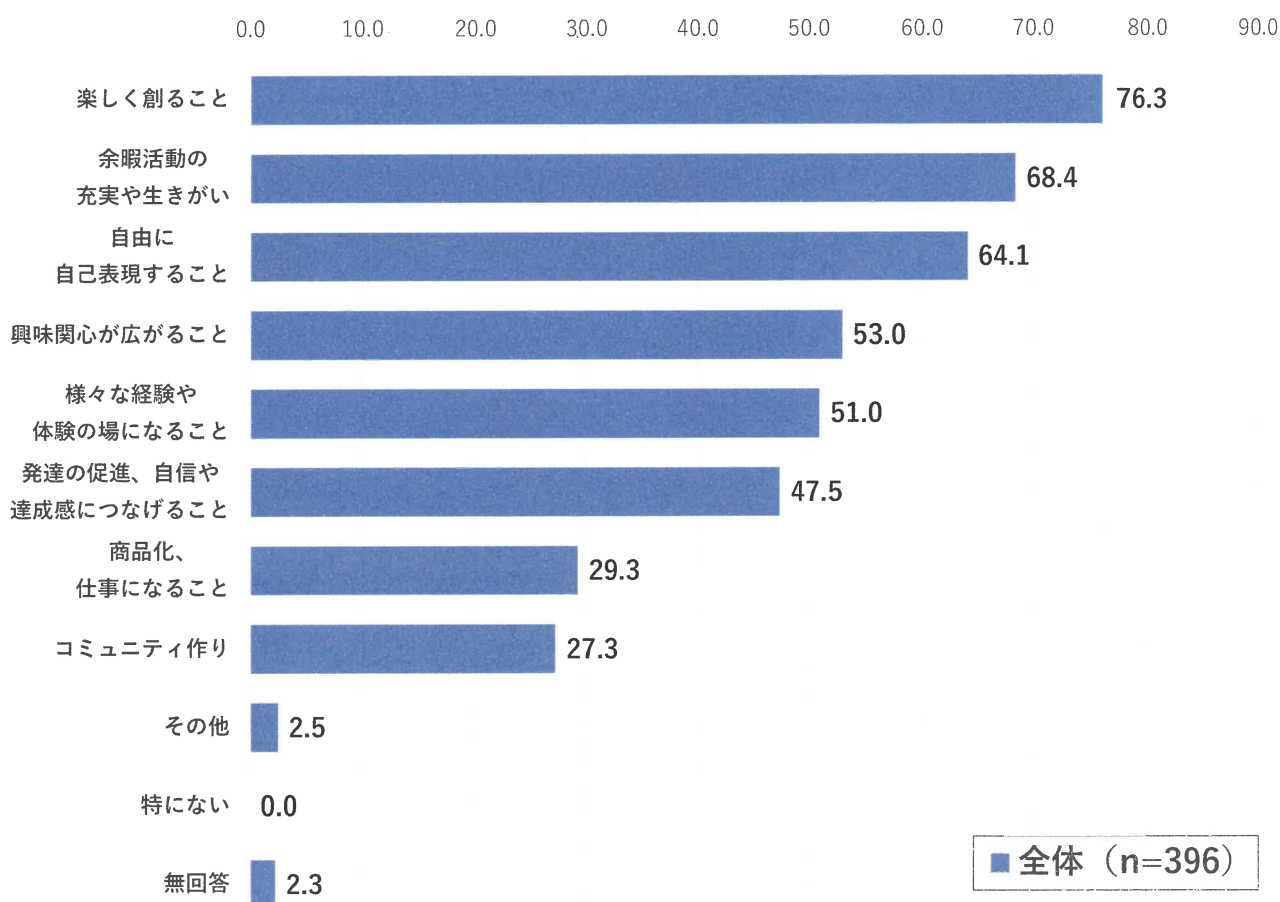
文化芸術活動実施上の重視点は、「楽しく創ること」（76.3%）が最も高く、次いで「余暇活動の充実や生きがい」（68.4%）、「自由に自己表現すること」（64.1%）の順で続いている。

サービス種別に見ると、施設入所支援では、「余暇活動の充実や生きがい」（80.5%）、自立訓練（生活訓練）では「コミュニティ作り」（40.6%）、就労継続支援A型B型では「商品化、仕事になること」（5割前後）がそれぞれ他のサービス種別に比べて高くなっている。

所在地別に見ると、北九州地域では「余暇活動の充実や生きがい」が78.7%と高くなっている。

【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表 16-1 文化芸術活動を実施している事業所 実施状況 ⑧文化芸術活動実施上の重視点



【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表 16-2 文化芸術活動を実施している事業所 実施状況 ⑧文化芸術活動実施上の重視点

		合計	自己表現すること	自由にすること	楽しく創ること	充実や生きがい	余暇活動の	コミュニティ作り	興味関心が広がること	体験の場になること	様々な経験や達成感につながる自信や	発達促進、自己肯定感になること	商品化、	その他	特にない	無回答
全体（n=396）		396	64.1	76.3	68.4	27.3	53.0	51.0	47.5	29.3	2.5	0.0	2.3			
サービス種別	施設入所支援	77	57.1	77.9	80.5	33.8	49.4	48.1	53.2	9.1	1.3	0.0	2.6			
	自立訓練（生活訓練）	32	68.8	84.4	71.9	40.6	62.5	53.1	50.0	34.4	0.0	0.0	0.0			
	就労継続支援A型	19	52.6	52.6	42.1	36.8	63.2	68.4	47.4	57.9	0.0	0.0	0.0			
	就労継続支援B型	107	64.5	67.3	54.2	18.7	43.9	44.9	40.2	49.5	3.7	0.0	1.9			
	生活介護	156	67.9	83.3	74.4	26.3	57.7	54.5	50.0	21.2	3.2	0.0	2.6			
障がい専門種別	身体障がい者	184	59.8	77.2	66.8	32.1	49.5	50.0	47.8	36.4	3.3	0.0	3.3			
	知的障がい者	330	66.7	76.4	66.4	26.4	52.4	51.2	48.8	32.1	2.7	0.0	1.5			
	精神障がい者	172	61.6	72.7	61.6	25.6	48.3	47.1	47.7	40.1	2.9	0.0	2.3			
	障がい児	8	87.5	100.0	87.5	50.0	75.0	62.5	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	その他	21	57.1	61.9	57.1	9.5	57.1	57.1	61.9	42.9	9.5	0.0	0.0			
職員人数	5人未満	41	56.1	73.2	61.0	19.5	53.7	58.5	43.9	48.8	0.0	0.0	2.4			
	5～9人	106	58.5	72.6	63.2	31.1	52.8	52.8	45.3	39.6	1.9	0.0	2.8			
	10～19人	118	69.5	77.1	70.3	22.9	55.9	47.5	41.5	29.7	1.7	0.0	0.8			
	20～29人	47	70.2	85.1	68.1	36.2	61.7	57.4	57.4	21.3	10.6	0.0	4.3			
	30～49人	56	69.6	78.6	69.6	21.4	51.8	48.2	57.1	8.9	0.0	0.0	3.6			
	50人以上	21	52.4	71.4	90.5	42.9	19.0	42.9	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0			
利用定員	10人未満	24	66.7	87.5	54.2	37.5	50.0	50.0	50.0	33.3	4.2	0.0	0.0			
	10～19人	64	68.8	75.0	67.2	31.3	54.7	54.7	51.6	40.6	1.6	0.0	1.6			
	20～29人	137	59.9	74.5	62.8	21.9	56.9	54.7	43.8	35.8	2.2	0.0	2.2			
	30～49人	89	69.7	78.7	74.2	31.5	55.1	49.4	51.7	24.7	5.6	0.0	1.1			
	50人以上	77	61.0	74.0	75.3	26.0	42.9	41.6	46.8	11.7	0.0	0.0	5.2			
設立年	1999年以前	128	68.0	77.3	72.7	28.1	53.1	50.0	47.7	14.1	3.1	0.0	3.1			
	2000～2009年	92	62.0	79.3	69.6	25.0	46.7	47.8	43.5	32.6	1.1	0.0	1.1			
	2010年以降	161	62.1	73.9	64.0	29.8	55.9	52.8	49.1	39.1	2.5	0.0	2.5			
所在地	北九州 地域	108	63.9	72.2	78.7	37.0	62.0	53.7	46.3	27.8	0.0	0.0	2.8			
	福岡 地域	162	65.4	77.8	63.6	27.8	51.2	50.6	45.1	35.2	4.9	0.0	0.6			
	筑後 地域	69	68.1	79.7	56.5	17.4	43.5	49.3	49.3	24.6	1.4	0.0	0.0			
	筑豊 地域	56	55.4	75.0	76.8	19.6	51.8	48.2	55.4	19.6	1.8	0.0	8.9			

2. 事業所での「文化芸術活動」について

（2） 文化芸術活動を実施している事業所 実施状況

⑨ 文化芸術活動実施上の課題必要なこと

問16. 貴事業所が障がいを持っている方を対象とした、文化芸術活動を実施するにあたって課題や必要としているのはどのような事ですか。（〇はいくつでも）

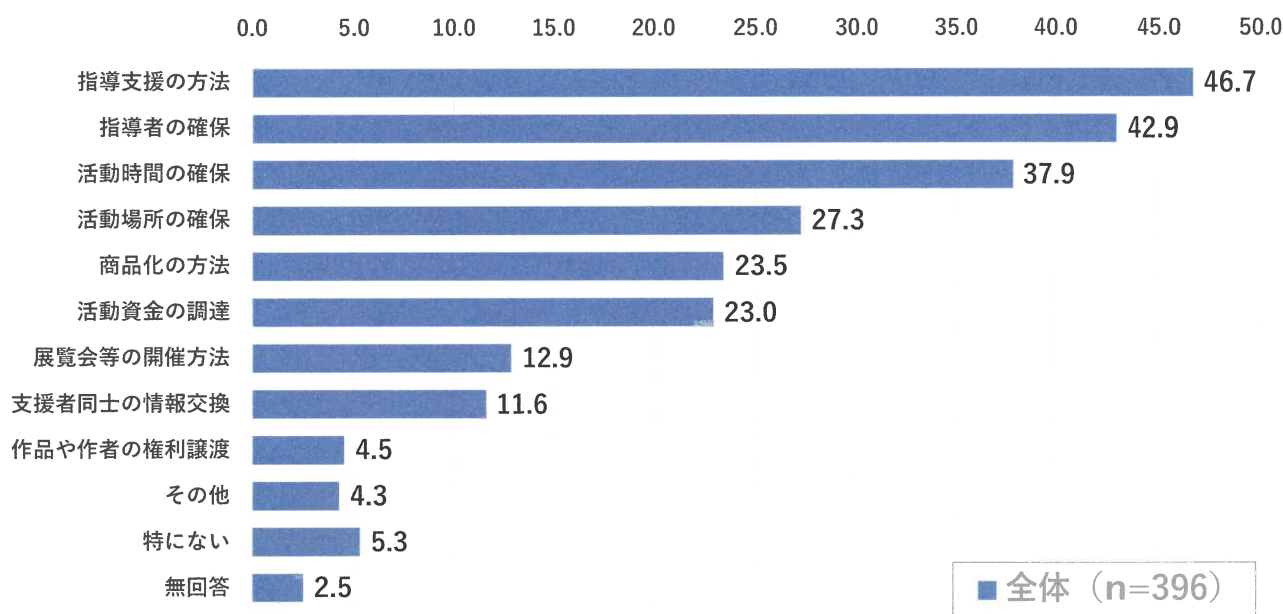
文化芸術活動実施上の課題必要なことは、「指導支援の方法」が46.7%で最も高く、僅差で「指導者の確保」（42.9%）が続いている。

サービス種別に見ると、施設入所支援では、「指導者の確保」（57.1%）、就労継続支援B型では「商品化の方法」（35.5%）がそれぞれ他のサービス種別に比べて高くなっている。

利用定員別に見ると、利用定員が少ない（小規模）事業所ほど、「活動資金の調達」「商品化の方法」が高くなる傾向となっている。逆に利用定員が多い（大規模）事業所ほど「活動時間の確保」が高くなる傾向が見られる。

【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表 17-1 文化芸術活動を実施している事業所 実施状況 ⑨文化芸術活動実施上の課題必要なこと



【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表 17-2 文化芸術活動を実施している事業所 実施状況 ⑨文化芸術活動実施上の課題必要なこと

		合計	活動資金の調達	活動時間の確保	活動場所の確保	指導者の確保	指導支援の方法	商品化の方法	展覧会等の開催方法	支援者同士の情報交換	作品や作者の権利譲渡	その他	特にない	無回答
	全体（n=396）	396	23.0	37.9	27.3	42.9	46.7	23.5	12.9	11.6	4.5	4.3	5.3	2.5
サービス種別	施設入所支援	77	7.8	45.5	29.9	57.1	49.4	10.4	10.4	15.6	1.3	5.2	5.2	2.6
	自立訓練（生活訓練）	32	31.3	28.1	34.4	37.5	50.0	25.0	15.6	15.6	6.3	3.1	0.0	0.0
	就労継続支援A型	19	42.1	42.1	31.6	31.6	36.8	31.6	26.3	15.8	0.0	5.3	0.0	0.0
	就労継続支援B型	107	29.9	36.4	25.2	37.4	35.5	35.5	12.1	4.7	5.6	4.7	6.5	1.9
	生活介護	156	21.8	36.5	25.0	42.9	54.5	20.5	12.8	12.8	5.8	3.8	6.4	3.2
障がい専門種別	身体障がい者	184	25.0	34.2	27.7	43.5	39.1	27.2	10.3	11.4	3.3	4.9	7.1	3.3
	知的障がい者	330	21.5	37.6	28.2	44.2	48.5	24.8	14.5	12.1	4.8	3.9	4.8	1.8
	精神障がい者	172	29.7	31.4	25.6	41.9	41.3	34.9	10.5	9.3	4.7	4.7	5.8	2.3
	障がい児	8	25.0	75.0	62.5	75.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	21	28.6	23.8	14.3	47.6	61.9	42.9	14.3	14.3	9.5	14.3	0.0	0.0
職員人数	5人未満	41	39.0	14.6	31.7	39.0	29.3	41.5	22.0	14.6	12.2	4.9	4.9	4.9
	5～9人	106	32.1	34.0	22.6	36.8	40.6	27.4	14.2	8.5	4.7	6.6	5.7	1.9
	10～19人	118	22.9	43.2	27.1	41.5	48.3	21.2	11.0	9.3	3.4	2.5	6.8	0.8
	20～29人	47	12.8	44.7	38.3	46.8	70.2	23.4	19.1	10.6	2.1	2.1	0.0	6.4
	30～49人	56	12.5	41.1	30.4	51.8	50.0	16.1	5.4	14.3	5.4	1.8	1.8	3.6
	50人以上	21	4.8	57.1	19.0	61.9	42.9	0.0	9.5	23.8	0.0	9.5	9.5	0.0
利用定員	10人未満	24	41.7	20.8	37.5	37.5	25.0	29.2	16.7	12.5	8.3	0.0	0.0	0.0
	10～19人	64	31.3	28.1	28.1	32.8	51.6	26.6	14.1	7.8	6.3	3.1	9.4	1.6
	20～29人	137	25.5	37.2	25.5	37.2	42.3	26.3	14.6	11.7	4.4	6.6	8.0	2.2
	30～49人	89	21.3	42.7	23.6	50.6	58.4	23.6	15.7	10.1	4.5	4.5	1.1	2.2
	50人以上	77	7.8	49.4	31.2	51.9	44.2	14.3	5.2	13.0	2.6	2.6	3.9	5.2
設立年	1999年以前	128	14.1	47.7	25.8	55.5	53.1	15.6	12.5	15.6	3.1	2.3	3.1	3.1
	2000～2009年	92	18.5	33.7	27.2	42.4	47.8	26.1	10.9	6.5	5.4	5.4	8.7	2.2
	2010年以降	161	32.9	32.3	29.2	32.9	41.6	28.0	14.9	9.9	5.6	4.3	5.0	2.5
所在地	北九州 地域	108	20.4	39.8	32.4	42.6	51.9	21.3	15.7	13.0	6.5	2.8	6.5	2.8
	福岡 地域	162	22.8	33.3	27.8	43.8	40.1	25.9	11.7	12.3	4.3	3.7	4.9	1.2
	筑後 地域	69	29.0	46.4	24.6	46.4	49.3	26.1	11.6	5.8	4.3	7.2	4.3	0.0
	筑豊 地域	56	21.4	37.5	19.6	37.5	53.6	16.1	12.5	14.3	1.8	5.4	5.4	8.9

2. 事業所での「文化芸術活動」について

（3） 文化芸術活動を実施していない事業所

① 文化芸術活動への関心の有無

問17. 障がいを持っている方の文化芸術活動にどの程度関心がありますか。（○は1つだけ）

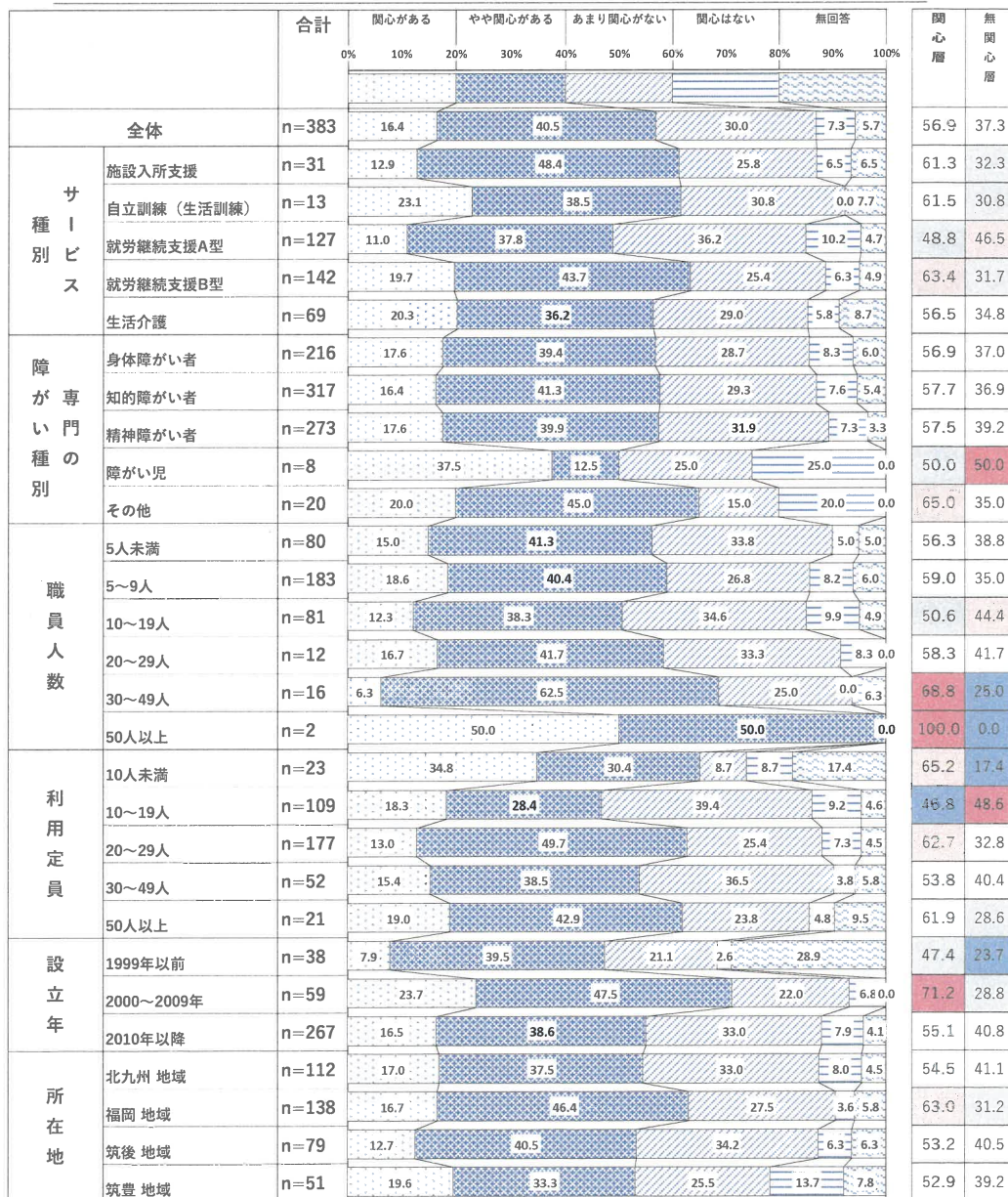
文化芸術活動への関心の有無は、「関心がある」（16.4％）と「やや関心がある」（40.5％）を合わせた『関心層』が56.9％に対して、「関心はない」（7.3％）と「あまり関心はない」（30.0％）を合わせた『無関心層』は37.3％となっており『関心層』が半数以上を占めている。

サービス種別に見ると、就労継続支援B型の『関心層』が63.4％とやや高くなっている。

所在地別に見ると、福岡地域の『関心層』が63.0％とやや高くなっている。

【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表18 文化芸術活動を実施していない事業所 ①文化芸術活動への関心の有無



『関心層』…「関心がある」「やや関心がある」の計／『無関心層』…「あまり関心がない」「関心はない」の計

2. 事業所での「文化芸術活動」について

（3）文化芸術活動を実施していない事業所

② 関心のあるジャンル（鑑賞）

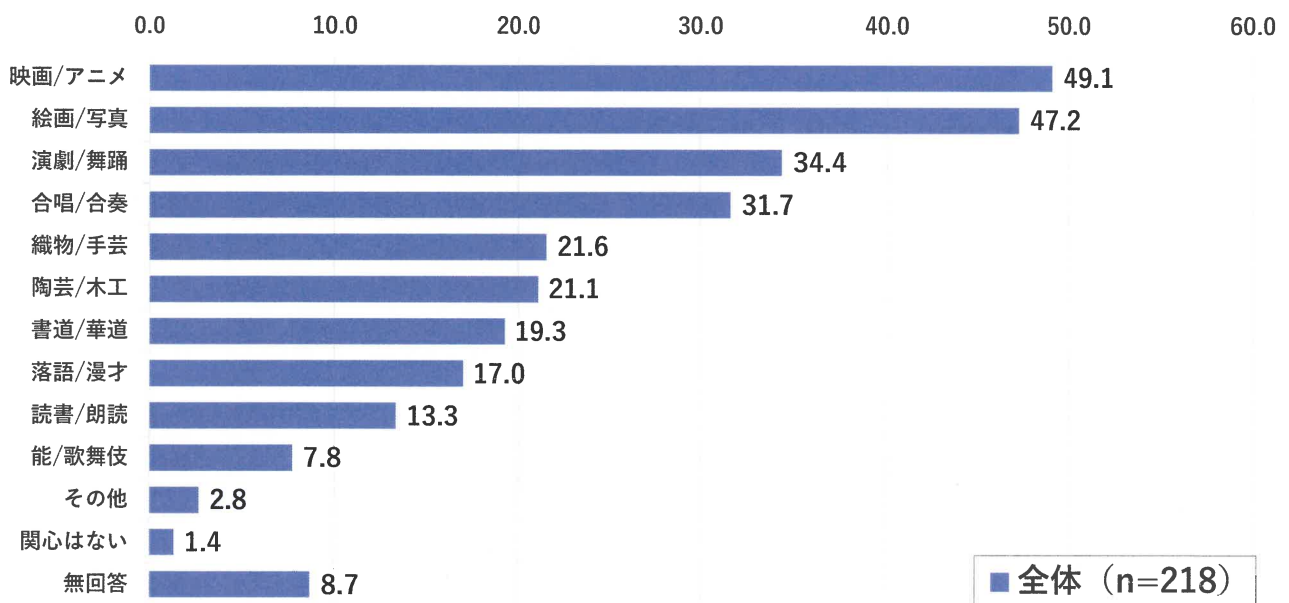
問18. <鑑賞>活動として関心があるジャンルを教えてください。（○はいくつでも）

<鑑賞>活動として関心のあるジャンルは、「映画／アニメ」が49.1%で最も高く、「絵画／写真」が47.2%と僅差で続いている。

所在地別に見ると、北九州地域では「合唱／合奏」（44.3%）、福岡地域では「絵画／写真」（59.8%）の割合が他地域に比べて高くなっている。

【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表 19-1 文化芸術活動を実施していない事業所 ②関心のあるジャンル（鑑賞）



【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表 19-2 文化芸術活動を実施していない事業所 ②関心のあるジャンル（鑑賞）

		合 計	合 唱 / 合 奏	読 書 / 朗 読	絵 画 / 写 真	演 劇 / 舞 踊	映 画 / ア ニ メ	織 物 / 手 芸	陶 芸 / 木 工	能 / 歌 舞 伎	落 語 / 漫 才	書 道 / 華 道	そ の 他	関 心 は な い	無 回 答
全体（n=218）		218	31.7	13.3	47.2	34.4	49.1	21.6	21.1	7.8	17.0	19.3	2.8	1.4	8.7
サ ー ビ ス 種 別	施設入所支援	19	57.9	31.6	57.9	36.8	47.4	21.1	21.1	15.8	10.5	15.8	0.0	0.0	10.5
	自立訓練（生活訓練）	8	50.0	50.0	87.5	50.0	62.5	50.0	50.0	37.5	62.5	25.0	0.0	0.0	12.5
	就労継続支援A型	62	16.1	9.7	48.4	29.0	29.0	35.5	22.6	1.6	9.7	21.0	6.5	1.6	8.1
	就労継続支援B型	90	30.0	7.8	45.6	37.8	61.1	13.3	18.9	7.8	16.7	18.9	1.1	1.1	6.7
	生活介護	39	43.6	15.4	35.9	30.8	51.3	12.8	17.9	7.7	23.1	17.9	2.6	2.6	12.8
障 が 専 い 門 種 の 別	身体障がい者	123	31.7	16.3	47.2	32.5	45.5	26.8	23.6	8.9	18.7	17.9	4.1	0.0	8.9
	知的障がい者	183	30.6	13.7	46.4	32.2	47.5	23.0	20.8	6.0	15.3	17.5	3.3	1.1	8.7
	精神障がい者	157	29.9	14.6	50.3	33.1	47.8	24.8	22.3	8.9	17.2	17.8	3.8	0.6	8.3
	障がい児	4	25.0	25.0	25.0	50.0	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	その他	13	38.5	15.4	53.8	46.2	46.2	46.2	30.8	0.0	15.4	7.7	7.7	0.0	7.7
職 員 人 数	5人未満	45	40.0	17.8	55.6	24.4	51.1	26.7	24.4	15.6	26.7	17.8	0.0	2.2	8.9
	5～9人	108	24.1	13.9	40.7	32.4	48.1	19.4	20.4	4.6	11.1	19.4	4.6	0.9	8.3
	10～19人	41	31.7	7.3	53.7	48.8	46.3	26.8	19.5	9.8	19.5	17.1	2.4	2.4	7.3
	20～29人	7	42.9	28.6	71.4	28.6	57.1	0.0	28.6	14.3	28.6	57.1	0.0	0.0	0.0
	30～49人	11	63.6	9.1	36.4	36.4	54.5	18.2	18.2	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	9.1
	50人以上	2	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
利 用 定 員	10人未満	15	40.0	26.7	46.7	13.3	40.0	40.0	20.0	13.3	26.7	6.7	6.7	0.0	13.3
	10～19人	51	27.5	17.6	49.0	31.4	41.2	29.4	27.5	13.7	15.7	21.6	2.0	2.0	7.8
	20～29人	111	29.7	12.6	47.7	38.7	54.1	18.0	18.0	6.3	16.2	18.9	3.6	1.8	8.1
	30～49人	28	32.1	3.6	46.4	35.7	46.4	14.3	21.4	3.6	21.4	25.0	0.0	0.0	7.1
	50人以上	13	53.8	7.7	38.5	30.8	53.8	15.4	23.1	0.0	7.7	15.4	0.0	0.0	15.4
設 立 年	1999年以前	18	50.0	5.6	55.6	44.4	61.1	33.3	44.4	5.6	11.1	27.8	5.6	0.0	0.0
	2000～2009年	42	42.9	21.4	38.1	33.3	52.4	9.5	9.5	7.1	11.9	23.8	0.0	0.0	14.3
	2010年以降	147	25.9	12.9	47.6	32.7	46.3	22.4	21.8	8.8	19.0	17.7	2.7	2.0	8.8
所 在 地	北九州 地域	61	44.3	18.0	45.9	41.0	55.7	19.7	21.3	13.1	23.0	24.6	3.3	0.0	3.3
	福岡 地域	87	29.9	12.6	59.8	33.3	44.8	23.0	24.1	9.2	17.2	17.2	2.3	2.3	10.3
	筑後 地域	42	19.0	16.7	38.1	28.6	47.6	28.6	23.8	2.4	11.9	14.3	2.4	0.0	11.9
	筑豊 地域	27	25.9	0.0	25.9	29.6	48.1	11.1	7.4	0.0	11.1	22.2	3.7	3.7	11.1

2. 事業所での「文化芸術活動」について

（3）文化芸術活動を実施していない事業所

③ 関心のあるジャンル（創造）

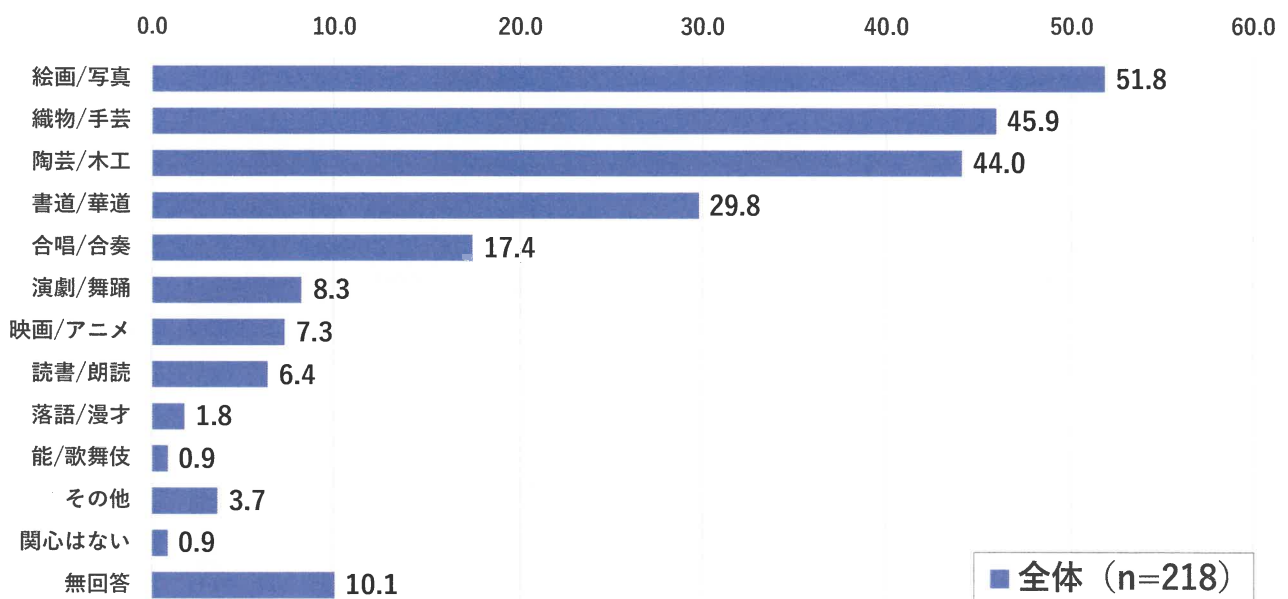
問19. <創造（創作）>活動として関心があるジャンルを教えてください。（○はいくつでも）

<創造（創作）>活動として関心のあるジャンルは、「絵画／写真」が51.8%で最も高く、「織物／手芸」（45.9%）、「陶芸／木工」（44.0%）が4割台で続いている。

所在地別に見ると、筑後地域では「絵画／写真」が61.9%と他地域に比べて高くなっている。

【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表 20-1 文化芸術活動を実施していない事業所 ③関心のあるジャンル（創造）



【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表 20-2 文化芸術活動を実施していない事業所 ③関心のあるジャンル（創造）

		合計	合唱 ／ 合奏	読書 ／ 朗読	絵画 ／ 写真	演劇 ／ 舞踊	映画 ／ アニメ	織物 ／ 手芸	陶芸 ／ 木工	能 ／ 歌舞伎	落語 ／ 漫才	書道 ／ 華道	その他	関心 はない	無 回答
	全体（n=218）	218	17.4	6.4	51.8	8.3	7.3	45.9	44.0	0.9	1.8	29.8	3.7	0.9	10.1
サ ー ビ ス の 種 別	施設入所支援	19	26.3	10.5	36.8	10.5	5.3	36.8	52.6	0.0	0.0	52.6	0.0	5.3	21.1
	自立訓練（生活訓練）	8	12.5	37.5	62.5	0.0	37.5	87.5	87.5	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0
	就労継続支援A型	62	9.7	0.0	51.6	14.5	8.1	43.5	41.9	0.0	0.0	25.8	6.5	1.6	9.7
	就労継続支援B型	90	18.9	7.8	52.2	5.6	5.6	46.7	44.4	1.1	2.2	26.7	3.3	0.0	11.1
	生活介護	39	23.1	5.1	56.4	5.1	5.1	43.6	33.3	2.6	5.1	35.9	0.0	0.0	5.1
障 が い の 種 別	身体障がい者	123	14.6	5.7	49.6	8.9	5.7	47.2	47.2	0.8	1.6	23.6	2.4	1.6	12.2
	知的障がい者	183	16.9	4.9	50.8	8.2	5.5	44.8	42.6	1.1	1.6	29.5	3.8	0.5	9.8
	精神障がい者	157	15.3	5.7	47.8	7.6	8.9	49.0	49.0	0.6	1.9	26.8	3.8	0.6	10.2
	障がい児	4	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	その他	13	30.8	0.0	30.8	23.1	0.0	69.2	46.2	0.0	0.0	15.4	7.7	0.0	7.7
職 員 人 数	5人未満	45	20.0	11.1	48.9	8.9	6.7	60.0	57.8	0.0	2.2	26.7	2.2	0.0	8.9
	5～9人	108	12.0	6.5	48.1	8.3	8.3	38.9	43.5	0.9	1.9	27.8	5.6	0.9	11.1
	10～19人	41	26.8	4.9	58.5	12.2	7.3	51.2	34.1	2.4	2.4	29.3	2.4	0.0	7.3
	20～29人	7	28.6	0.0	71.4	0.0	14.3	42.9	28.6	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0	14.3
	30～49人	11	9.1	0.0	54.5	0.0	0.0	36.4	27.3	0.0	0.0	36.4	0.0	9.1	9.1
	50人以上	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
利 用 定 員	10人未満	15	20.0	13.3	60.0	0.0	13.3	66.7	46.7	6.7	13.3	26.7	6.7	0.0	0.0
	10～19人	51	19.6	9.8	51.0	15.7	11.8	47.1	52.9	2.0	3.9	31.4	3.9	0.0	5.9
	20～29人	111	17.1	5.4	49.5	6.3	5.4	45.9	43.2	0.0	0.0	24.3	4.5	0.9	11.7
	30～49人	28	14.3	3.6	57.1	10.7	3.6	39.3	32.1	0.0	0.0	42.9	0.0	3.6	10.7
	50人以上	13	15.4	0.0	53.8	0.0	7.7	30.8	38.5	0.0	0.0	46.2	0.0	0.0	23.1
設 立 年	1999年以前	18	22.2	5.6	72.2	0.0	0.0	27.8	55.6	0.0	0.0	44.4	0.0	0.0	11.1
	2000～2009年	42	35.7	9.5	47.6	14.3	9.5	35.7	21.4	2.4	2.4	33.3	2.4	2.4	11.9
	2010年以降	147	11.6	6.1	50.3	6.8	7.5	50.3	50.3	0.7	2.0	27.9	4.8	0.7	8.8
所 在 地	北九州 地域	61	19.7	6.6	45.9	11.5	9.8	37.7	47.5	0.0	1.6	29.5	1.6	1.6	11.5
	福岡 地域	87	19.5	8.0	56.3	6.9	6.9	50.6	46.0	1.1	2.3	32.2	4.6	1.1	9.2
	筑後 地域	42	11.9	4.8	61.9	11.9	7.1	50.0	50.0	2.4	2.4	28.6	4.8	0.0	2.4
	筑豊 地域	27	14.8	3.7	37.0	0.0	3.7	40.7	18.5	0.0	0.0	22.2	3.7	0.0	22.2

2. 事業所での「文化芸術活動」について

（3） 文化芸術活動を実施していない事業所

④ 文化芸術活動実施上の重視点

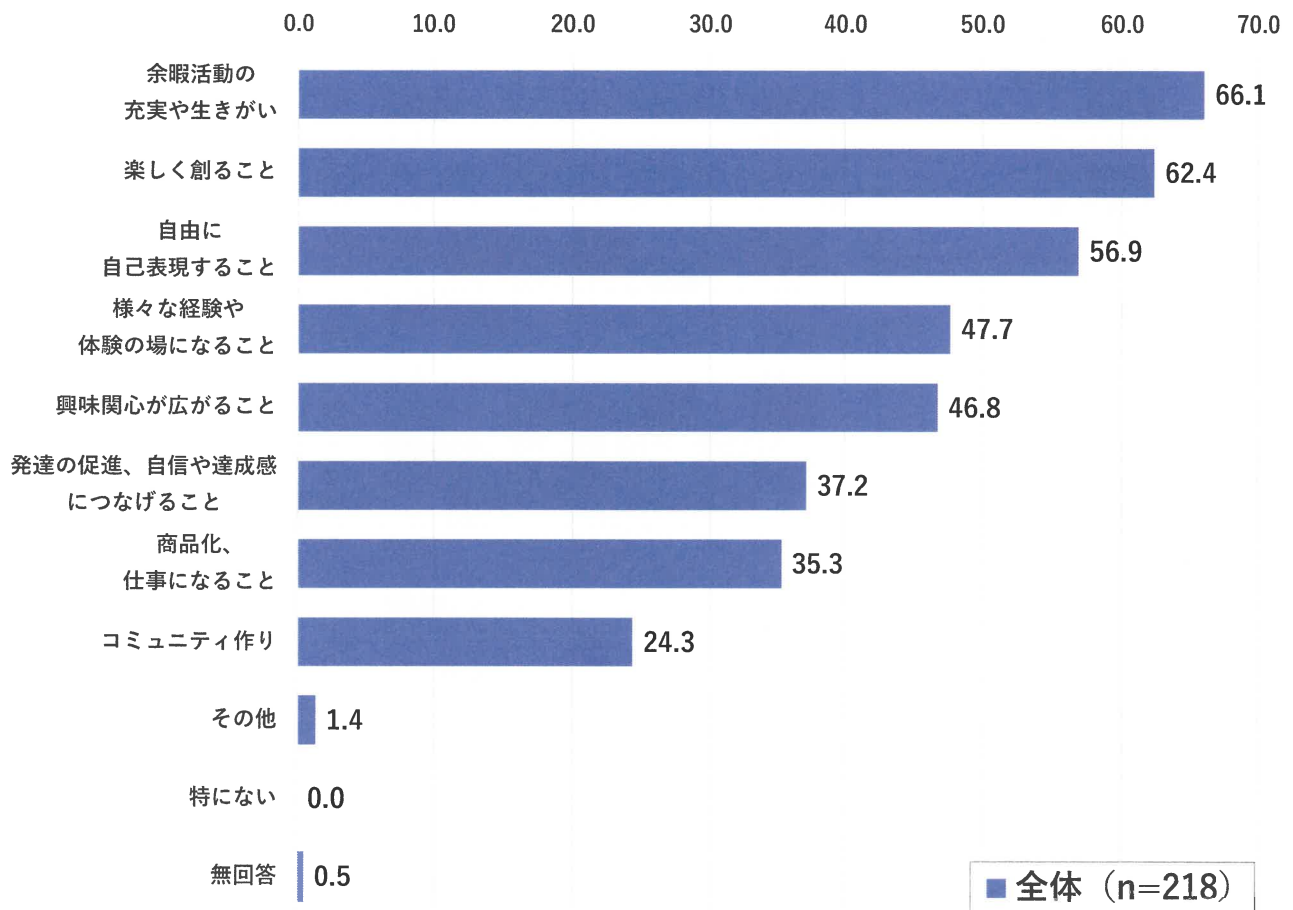
問20. 貴事業所が障がいを持っている方を対象とした、文化芸術活動を実施する場合、重視したいのはどのような事ですか。（〇はいくつでも）

文化芸術活動実施上の重視点は、「余暇活動の充実や生きがい」が66.1%で最も高く、次いで「楽しく創ること」（62.4%）、「自由に自己表現すること」（56.9%）の順となっている。

所在地別に見ると、筑後地域では「自由に自己表現すること」（69.0%）、「発達の促進、自信や達成感につなげること」（47.6%）が他地域に比べて高くなっている。

【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表 21-1 文化芸術活動を実施していない事業所 ④文化芸術活動実施上の重視点



【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表 21-2 文化芸術活動を実施していない事業所 ④文化芸術活動実施上の重視点

		合 計	自 由 に 自己表 現する こと	楽 しく 創る こと	余 暇活 動の 充 実 や 生 き が い	コ ミ ュ ニ ティ 作 り	興 味 関 心 が 広 がる こ と	体 験 の 場 に なる こ と	様 々 な 経 験 や なる こ と	達 成 感 に つ な げる こ と	仕 事 に なる こ と	商 品 化 、	そ の 他	特 に ない	無 回 答
全体（n=218）		218	56.9	62.4	66.1	24.3	46.8	47.7	37.2	35.3	1.4	0.0	0.5		
サ ー ビ ス 種 別	施設入所支援	19	52.6	68.4	63.2	10.5	47.4	57.9	31.6	26.3	5.3	0.0	5.3		
	自立訓練（生活訓練）	8	87.5	87.5	87.5	62.5	87.5	87.5	75.0	62.5	0.0	0.0	0.0		
	就労継続支援A型	62	51.6	45.2	56.5	30.6	43.5	40.3	41.9	37.1	3.2	0.0	0.0		
	就労継続支援B型	90	54.4	64.4	70.0	21.1	41.1	46.7	32.2	45.6	0.0	0.0	0.0		
	生活介護	39	66.7	76.9	69.2	20.5	56.4	48.7	35.9	7.7	0.0	0.0	0.0		
障 が 専 い 門 種 の 別	身体障がい者	123	57.7	59.3	63.4	22.8	49.6	48.0	39.0	34.1	2.4	0.0	0.0		
	知的障がい者	183	56.3	61.2	65.0	21.3	48.6	48.6	39.9	34.4	1.6	0.0	0.0		
	精神障がい者	157	55.4	63.1	65.0	24.2	43.3	43.9	38.2	39.5	1.9	0.0	0.6		
	障がい児	4	100.0	100.0	100.0	25.0	50.0	75.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0		
	その他	13	53.8	46.2	61.5	30.8	46.2	69.2	46.2	46.2	0.0	0.0	0.0		
職 員 人 数	5人未満	45	55.6	57.8	71.1	31.1	55.6	64.4	46.7	37.8	2.2	0.0	0.0		
	5～9人	108	54.6	58.3	58.3	21.3	38.9	43.5	35.2	39.8	1.9	0.0	0.0		
	10～19人	41	61.0	70.7	73.2	29.3	56.1	41.5	43.9	34.1	0.0	0.0	0.0		
	20～29人	7	57.1	42.9	71.4	28.6	71.4	42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0		
	30～49人	11	63.6	90.9	81.8	0.0	36.4	36.4	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0		
	50人以上	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0		
利 用 定 員	10人未満	15	66.7	66.7	53.3	40.0	46.7	60.0	53.3	33.3	0.0	0.0	0.0		
	10～19人	51	62.7	58.8	68.6	27.5	51.0	52.9	51.0	37.3	0.0	0.0	0.0		
	20～29人	111	53.2	60.4	64.9	23.4	48.6	51.4	33.3	42.3	2.7	0.0	0.0		
	30～49人	28	57.1	67.9	71.4	17.9	35.7	21.4	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0		
	50人以上	13	53.8	76.9	69.2	15.4	38.5	38.5	15.4	15.4	0.0	0.0	7.7		
設 立 年	1999年以前	18	55.6	77.8	83.3	16.7	66.7	55.6	38.9	22.2	0.0	0.0	0.0		
	2000～2009年	42	54.8	61.9	69.0	28.6	47.6	40.5	35.7	26.2	0.0	0.0	2.4		
	2010年以降	147	57.8	59.2	62.6	24.5	43.5	49.0	37.4	39.5	2.0	0.0	0.0		
所 在 地	北九州 地域	61	54.1	60.7	67.2	31.1	37.7	44.3	29.5	32.8	0.0	0.0	0.0		
	福岡 地域	87	49.4	60.9	71.3	19.5	50.6	50.6	43.7	35.6	3.4	0.0	0.0		
	筑後 地域	42	69.0	71.4	64.3	28.6	52.4	45.2	47.6	38.1	0.0	0.0	0.0		
	筑豊 地域	27	66.7	55.6	51.9	18.5	48.1	48.1	18.5	33.3	0.0	0.0	3.7		

2. 事業所での「文化芸術活動」について

（3） 文化芸術活動を実施していない事業所

⑤ 実施していない理由

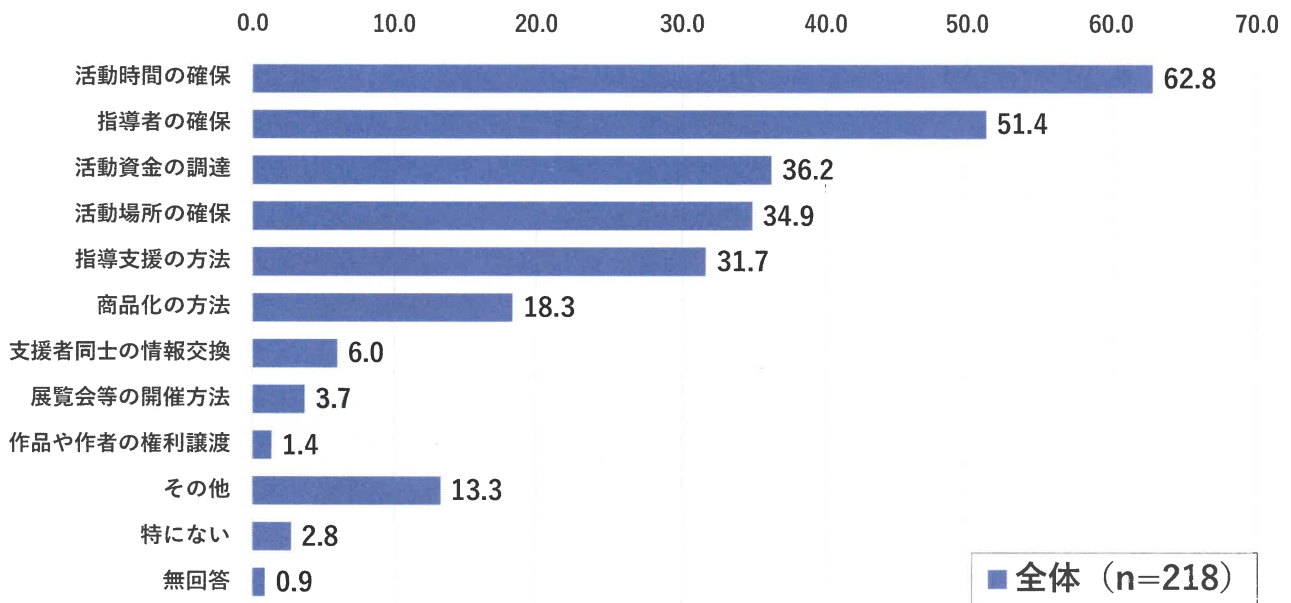
問21. 障がいを持っている方を対象とした、文化芸術活動について、関心があるのに実施していない理由を教えてください。（〇はいくつでも）

文化芸術活動に関心があるにもかかわらず、現状では実施していない理由は、「活動時間の確保」が62.8%で最も高く、「指導者の確保」（51.4%）がそれに次ぐ結果となっている。

所在地別に見ると、筑豊地域では「活動時間の確保」が74.1%で突出しており他地域に比べても高くなっている。

【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表 22-1 文化芸術活動を実施していない事業所 ⑤実施していない理由



【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表 22-2 文化芸術活動を実施していない事業所 ⑤実施していない理由

		合計	活動資金の調達	活動時間の確保	活動場所の確保	指導者の確保	指導支援の方法	商品化の方法	展覧会等の開催方法	支援者同士の情報交換	作品や作者の権利譲渡	その他	特にない	無回答
全体 (n=218)		218	36.2	62.8	34.9	51.4	31.7	18.3	3.7	6.0	1.4	13.3	2.8	0.9
サービス種別	施設入所支援	19	31.6	68.4	21.1	52.6	36.8	15.8	0.0	10.5	0.0	10.5	5.3	5.3
	自立訓練（生活訓練）	8	37.5	37.5	12.5	62.5	62.5	12.5	12.5	12.5	0.0	25.0	12.5	0.0
	就労継続支援A型	62	46.8	69.4	30.6	51.6	21.0	21.0	6.5	1.6	1.6	8.1	1.6	0.0
	就労継続支援B型	90	33.3	70.0	41.1	48.9	33.3	24.4	2.2	6.7	2.2	12.2	1.1	1.1
	生活介護	39	28.2	38.5	38.5	53.8	35.9	2.6	2.6	7.7	0.0	23.1	5.1	0.0
障がい専門種別	身体障がい者	123	37.4	61.0	30.1	54.5	29.3	19.5	6.5	4.9	1.6	12.2	3.3	0.8
	知的障がい者	183	36.6	61.7	36.1	50.3	33.3	20.2	3.8	6.0	1.6	12.6	1.6	0.5
	精神障がい者	157	38.9	61.8	33.8	50.3	33.1	21.7	4.5	4.5	1.9	12.7	1.3	1.3
	障がい児	4	0.0	75.0	75.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	13	38.5	46.2	38.5	69.2	38.5	30.8	15.4	0.0	0.0	30.8	0.0	0.0
職員人数	5人未満	45	44.4	73.3	26.7	57.8	33.3	17.8	4.4	6.7	0.0	13.3	0.0	0.0
	5～9人	108	36.1	57.4	32.4	44.4	25.0	20.4	1.9	5.6	0.9	17.6	2.8	0.9
	10～19人	41	43.9	68.3	51.2	63.4	41.5	22.0	9.8	2.4	4.9	7.3	2.4	0.0
	20～29人	7	0.0	57.1	42.9	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0
	30～49人	11	0.0	54.5	36.4	45.5	45.5	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0
	50人以上	2	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
利用定員	10人未満	15	20.0	40.0	26.7	60.0	40.0	0.0	6.7	13.3	0.0	33.3	0.0	0.0
	10～19人	51	43.1	62.7	35.3	51.0	35.3	13.7	2.0	2.0	0.0	7.8	3.9	0.0
	20～29人	111	42.3	64.9	35.1	54.1	27.0	27.0	4.5	6.3	1.8	15.3	1.8	0.9
	30～49人	28	25.0	75.0	39.3	39.3	28.6	10.7	3.6	7.1	3.6	10.7	3.6	0.0
	50人以上	13	0.0	46.2	30.8	46.2	53.8	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7	7.7
設立年	1999年以前	18	16.7	77.8	44.4	50.0	33.3	5.6	0.0	11.1	0.0	5.6	11.1	0.0
	2000～2009年	42	16.7	57.1	33.3	50.0	38.1	16.7	4.8	7.1	4.8	16.7	0.0	2.4
	2010年以降	147	42.9	61.9	33.3	50.3	29.9	20.4	4.1	5.4	0.7	12.9	2.7	0.7
所在地	北九州 地域	61	39.3	62.3	31.1	54.1	27.9	9.8	3.3	9.8	3.3	14.8	3.3	1.6
	福岡 地域	87	43.7	62.1	42.5	57.5	34.5	19.5	4.6	6.9	1.1	14.9	2.3	0.0
	筑後 地域	42	26.2	57.1	35.7	47.6	35.7	26.2	4.8	0.0	0.0	14.3	2.4	0.0
	筑豊 地域	27	22.2	74.1	18.5	29.6	25.9	18.5	0.0	3.7	0.0	3.7	3.7	3.7

3. 福岡県における文化芸術活動の満足度・施策の認知状況等について

（1） 障がいのある人に対する文化芸術活動の機会や施策の充足状況

① <鑑賞>を行う機会

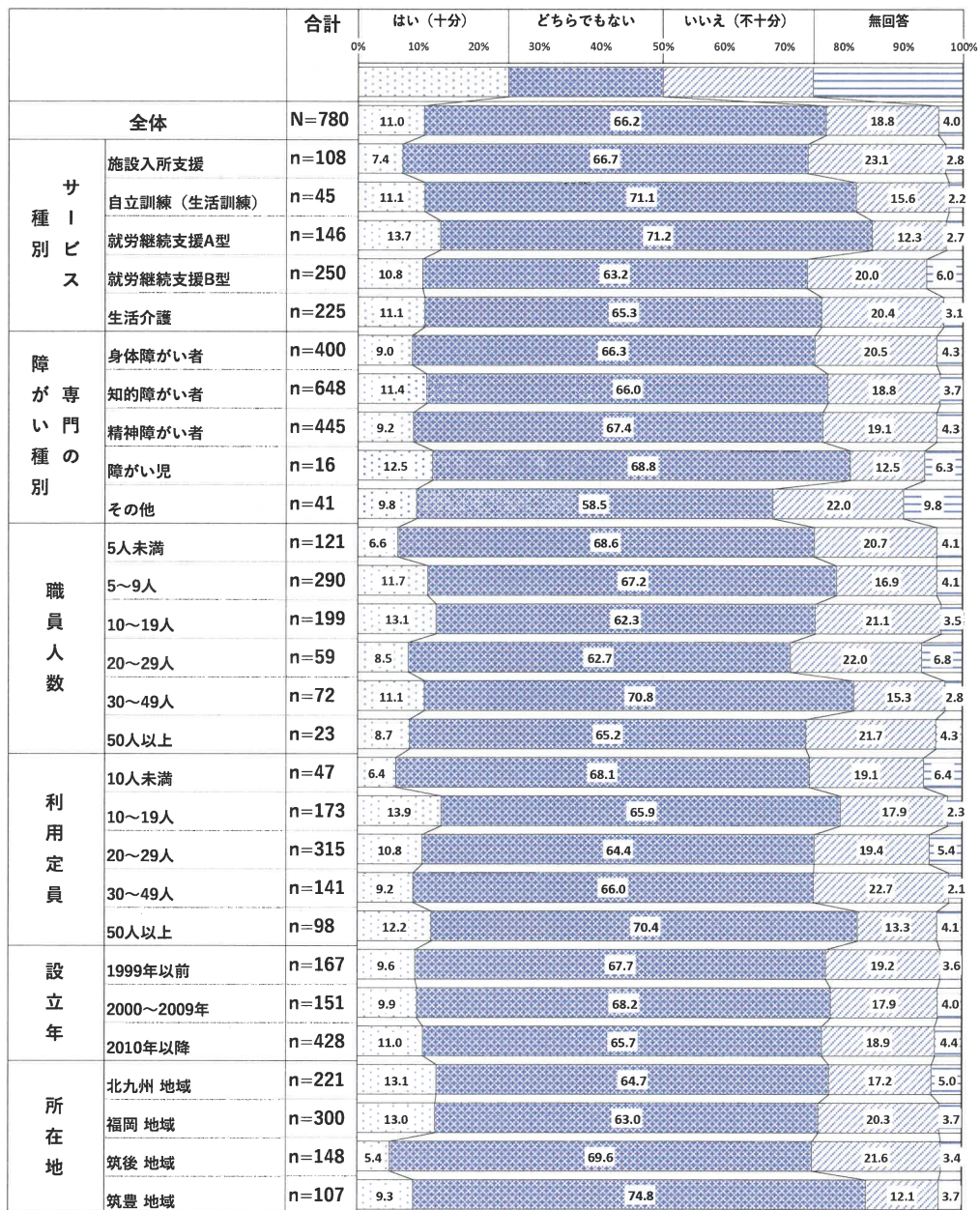
問22. 県内で障がいのある人が文化芸術を<鑑賞>する機会は十分だと思いますか。
（○は1つだけ）

障がいのある人が文化芸術活動を<鑑賞>する機会が十分にあるかを尋ねたところ、「はい（十分）」が11.0%、「いい（不十分）」が18.8%の割合となっており、不十分とする意見がやや上回っている。

所在地別に見ると、筑後地域では「はい（十分）」が5.4%に留まっており他地域に比べてやや低くなっている。

【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表 23 障がいのある人に対する文化芸術活動の機会や施策の充足状況 ①<鑑賞>を行う機会



3. 福岡県における文化芸術活動の満足度・施策の認知状況等について

（1） 障がいのある人に対する文化芸術活動の機会や施策の充足状況

② <創造・発表>を行う機会

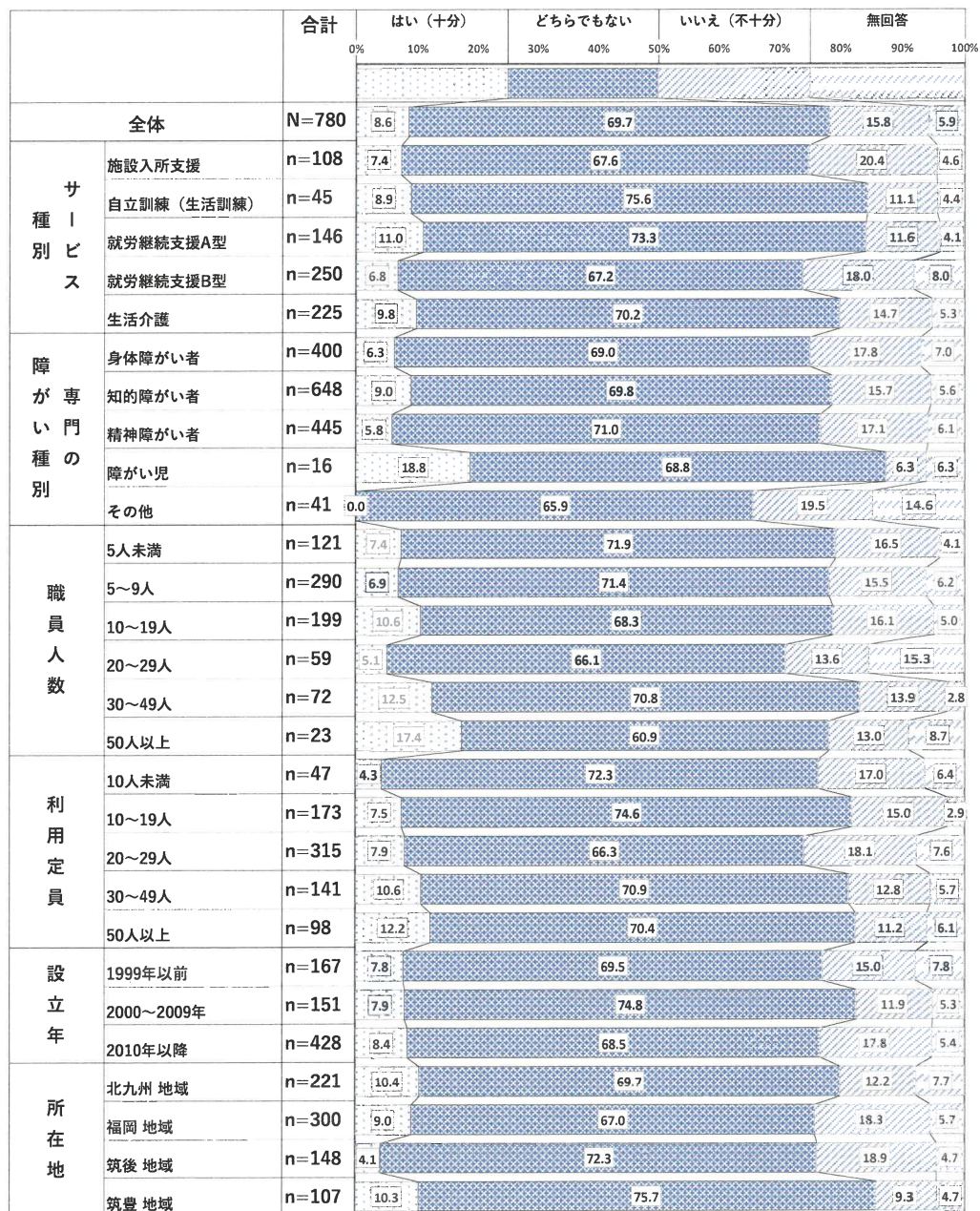
問23. 県内で障がいのある人が文化芸術を<創造・発表>する機会は十分だと思いますか。
（○は1つだけ）

障がいのある人が文化芸術活動を<創造・発表>する機会が十分にあるかを尋ねたところ、「はい（十分）」が8.6%、「いいえ（不十分）」が15.8%の割合となっており、不十分とする意見がやや上回っている。

職員人数別に見ると、50人以上の大規模施設では「はい（十分）」が17.4%とそれ以外の規模に比べてやや高くなっている。

【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表24 障がいのある人に対する文化芸術活動の機会や施策の充足状況 ②<創造・発表>を行う機会



3. 福岡県における文化芸術活動の満足度・施策の認知状況等について

（1） 障がいのある人に対する文化芸術活動の機会や施策の充足状況

③ <販売、公演その他の事業活動>を行う機会

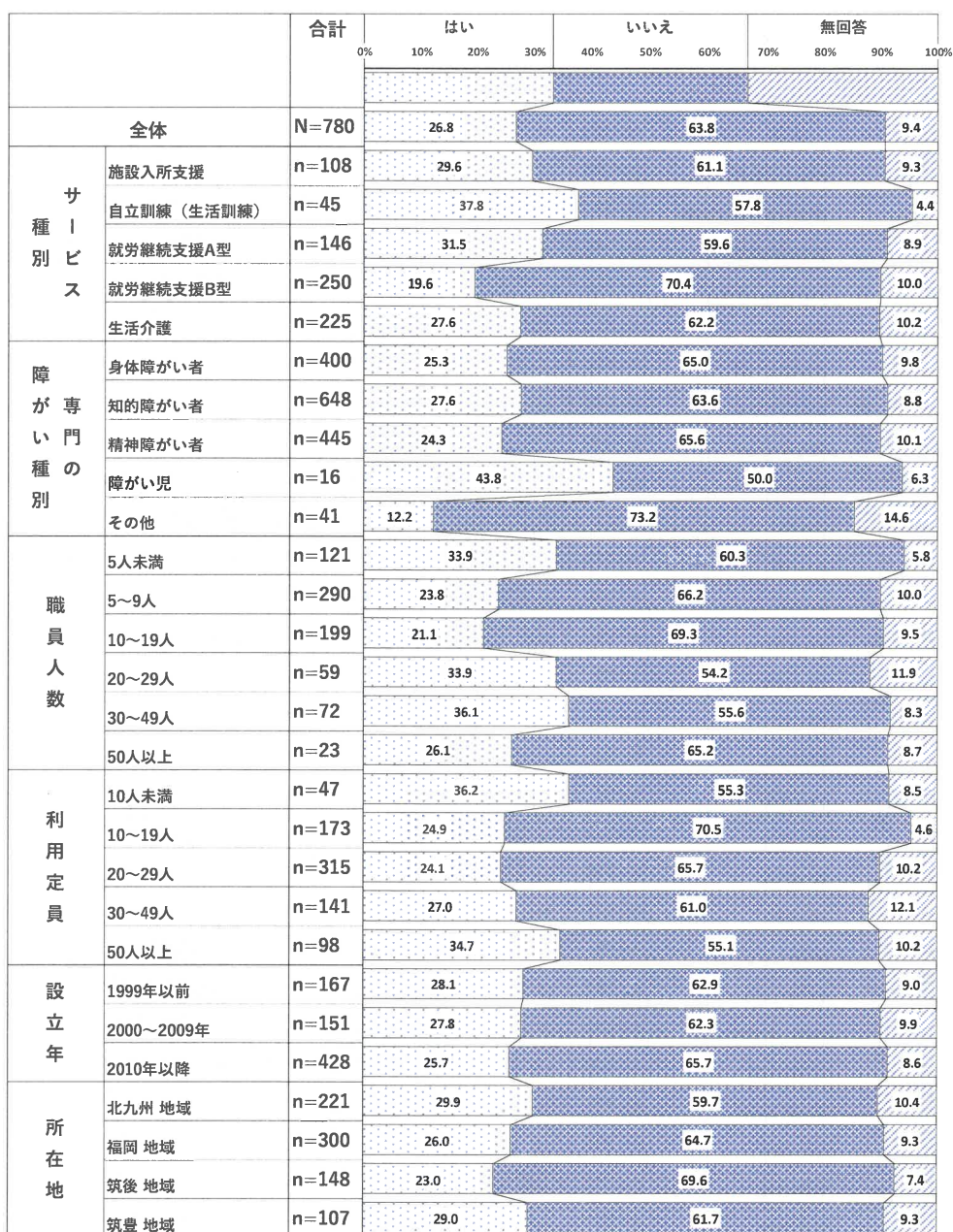
問24. 県内で障がいのある人が文化芸術の作品等に関して「販売、公演その他の事業活動」を行う機会は十分だと思いますか。（○は1つだけ）

障がいのある人が文化芸術作品等に関して<販売、公演その他の事業活動>を行う機会が十分にあるかを尋ねたところ、「はい」が26.8%、「いいえ」が63.8%の割合となっている。

サービス種別に見ると、自立訓練（生活訓練）では「はい」が37.8%と他のサービス種別よりも高くなっている。所在地別に見ると、筑後地域では「いいえ」の割合が69.6%と約7割を占め他地域よりもやや高い。

【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表 25 障がいのある人に対する文化芸術活動の機会や施策の充足状況 ③<販売、公演その他の事業活動>を行う機会



3. 福岡県における文化芸術活動の満足度・施策の認知状況等について

（1） 障がいのある人に対する文化芸術活動の機会や施策の充足状況

④ 相談体制の整備や支援者の育成に関する施策

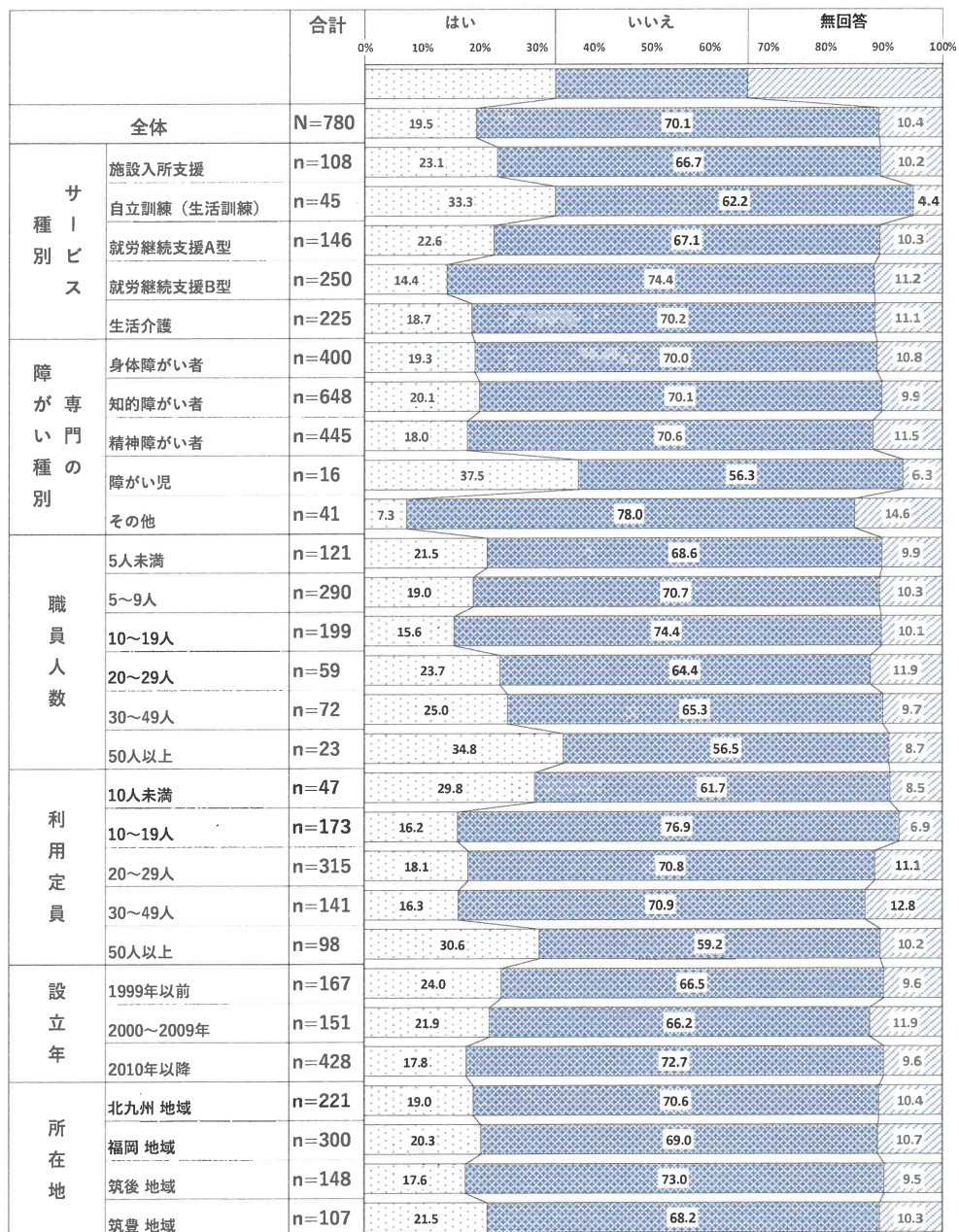
問25. 県内で障がいのある人の文化芸術活動についての相談体制の整備や支援者の育成（研修等）に関する施策は十分だと思いますか。（○は1つだけ）

障がいのある人の文化芸術活動についての＜相談体制の整備や支援者の育成（研修等）に関する施策＞が十分かを尋ねたところ、「はい」が19.5%、「いいえ」が70.1%の割合となっている。

サービス種別に見ると、自立訓練（生活訓練）では「はい」が33.3%と他のサービス種別よりも高くなっている。

【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表 26 障がいのある人に対する文化芸術活動の機会や施策の充足状況 ④相談体制の整備や支援者の育成に関する施策



3. 福岡県における文化芸術活動の満足度・施策の認知状況等について

（2）「ふくおか県障がい児者美術展」への利用者の出品経験

問26. 「ふくおか県障がい児者美術展」に事業所の利用者が出品した事がありますか。
（○は1つだけ）

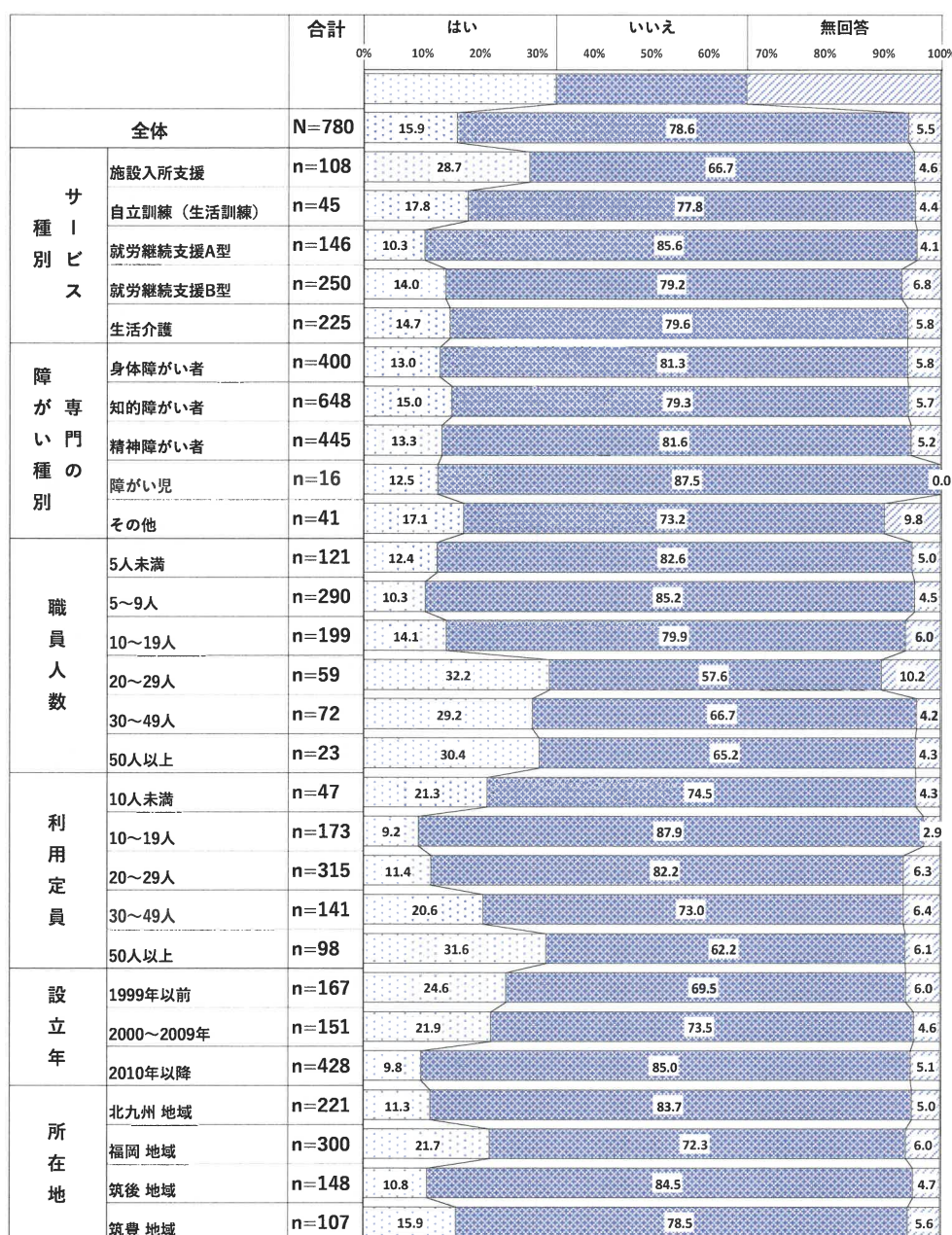
利用者が「ふくおか県障がい児者美術展」に出品した経験は、「はい（ある）」が15.9%となっている。

サービス種別に見ると、施設入所支援では「はい（ある）」が28.7%と他のサービス種別よりも高くなっている。

職員人数別に見ると、20人以上では「はい（ある）」がいずれも3割前後見られ、比較的規模が大きな施設では出品経験率が高くなっている。

【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表27 「ふくおか県障がい児者美術展」への利用者の出品経験



3. 福岡県における文化芸術活動の満足度・施策の認知状況等について

（3） 福岡県の施策の認知状況

① 「福岡県障がい者芸術文化活動支援センター」の認知状況

問27.「福岡県障がい者芸術文化活動支援センター」が設置されている事を知っていますか。
（○は1つだけ）

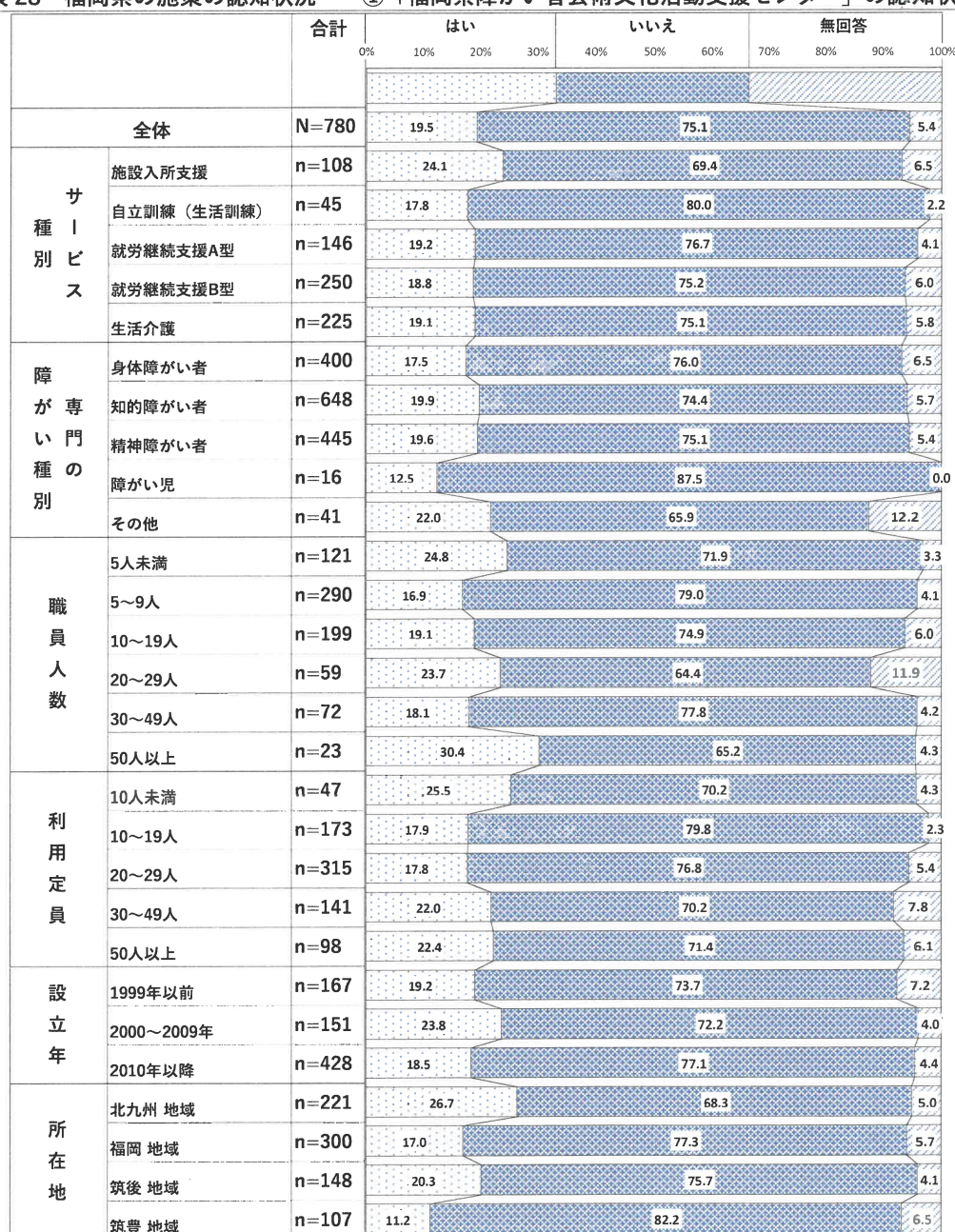
＜福岡県障がい者芸術文化活動支援センター＞の認知率は19.5%となっている。

職員人数別に見ると、50人以上では認知率が30.4%に達している。

所在地別に見ると、北九州地域では認知率が26.7%と他地域に比べてやや高くなっている。

【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表 28 福岡県の施策の認知状況 ①「福岡県障がい者芸術文化活動支援センター」の認知状況



3. 福岡県における文化芸術活動の満足度・施策の認知状況等について

（3） 福岡県の施策の認知状況

② 「福岡県障がい者芸術文化活動推進費補助金」の認知状況

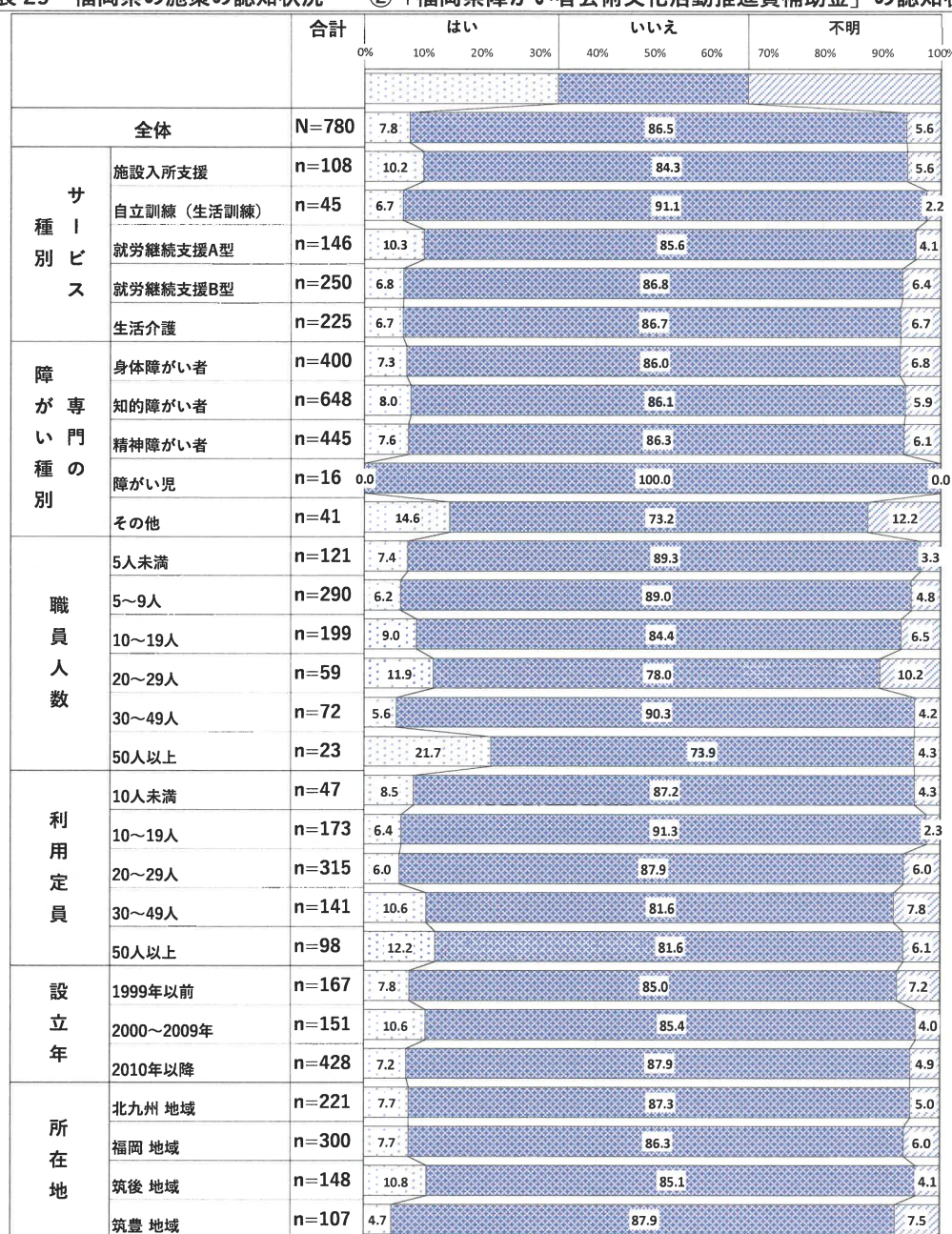
問28. 「福岡県障がい者芸術文化活動推進費補助金」を知っていますか。（○は1つだけ）

<福岡県障がい者芸術文化活動推進費補助金>の認知率は7.8%となっている。

職員人数別に見ると、50人以上では認知率が21.7%とそれ以下の規模に比べて高くなっている。

【県内の指定障がい福祉サービス事業所】

図表 29 福岡県の施策の認知状況 ②「福岡県障がい者芸術文化活動推進費補助金」の認知状況



第3章 県内の文化芸術団体に対する文化芸術活動実態調査

（令和2年）

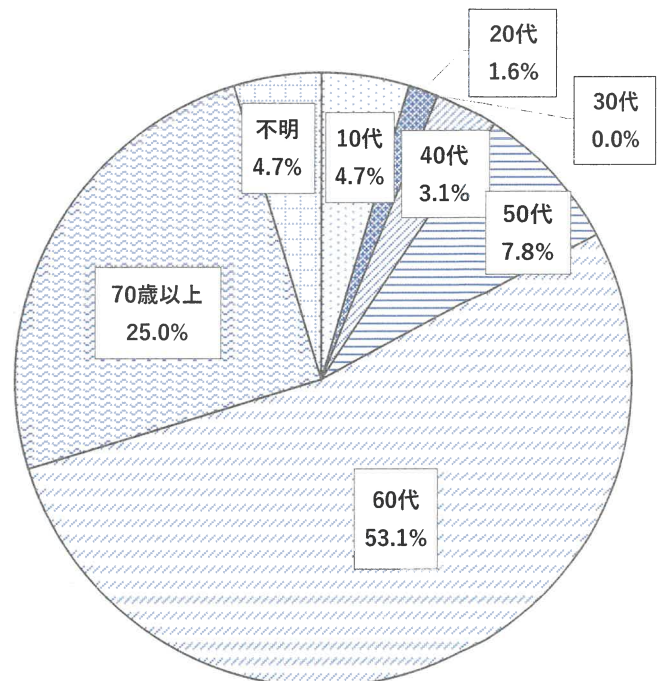
1. 回答者について

（1）基本属性

【県内の文化芸術団体】図表1 団体の会員数

	実数	構成比 (%)
100人未満	5	7.8
100人台	4	6.3
200人台	4	6.3
300人台	11	17.2
400人台	6	9.4
500人台	9	14.1
600人台	4	6.3
700人	1	1.6
800人台	2	3.1
900人台	2	3.1
1,000人	2	3.1
1,100人台	4	6.3
1,200人	1	1.6
1,450人	1	1.6
1,600人	1	1.6
1,700人	1	1.6
2,000人	1	1.6
6,000人台	2	3.1
20,000人	1	1.6
80,000人	1	1.6
126,739人	1	1.6
	64	100.0

【県内の文化芸術団体】図表2 会員の平均年齢



2. 「文化芸術活動（発表・展示）の実施状況」について

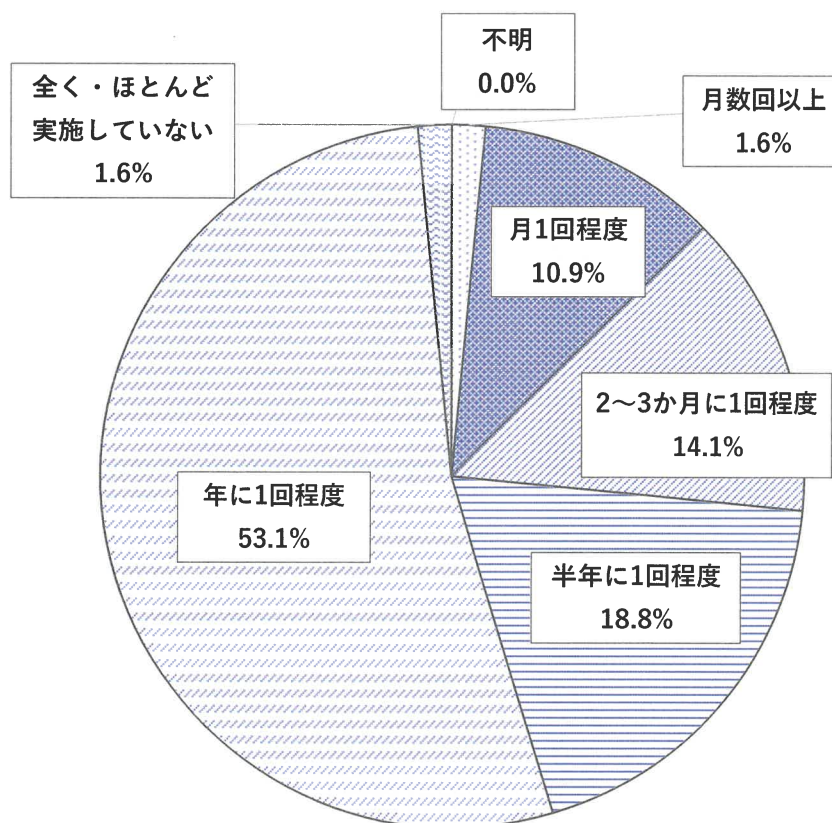
（1） 実施頻度

問3. 貴団体として実施する成果の発表会や展示会等は何の程度実施していますか。

（○は1つだけ）

成果の発表会や展示会等の実施頻度は、「年に1回程度」が53.1%で半数以上を占め最も高くなっている。次いで「半年に1回程度」（18.8%）、「2～3か月に1回程度」（14.1%）の順で続いている。

【県内の文化芸術団体】図表3 発表会や展示会の実施頻度



2.「文化芸術活動（発表・展示）の実施状況」について

（2） 文化芸術活動（発表・展示）を実施している団体 実施状況

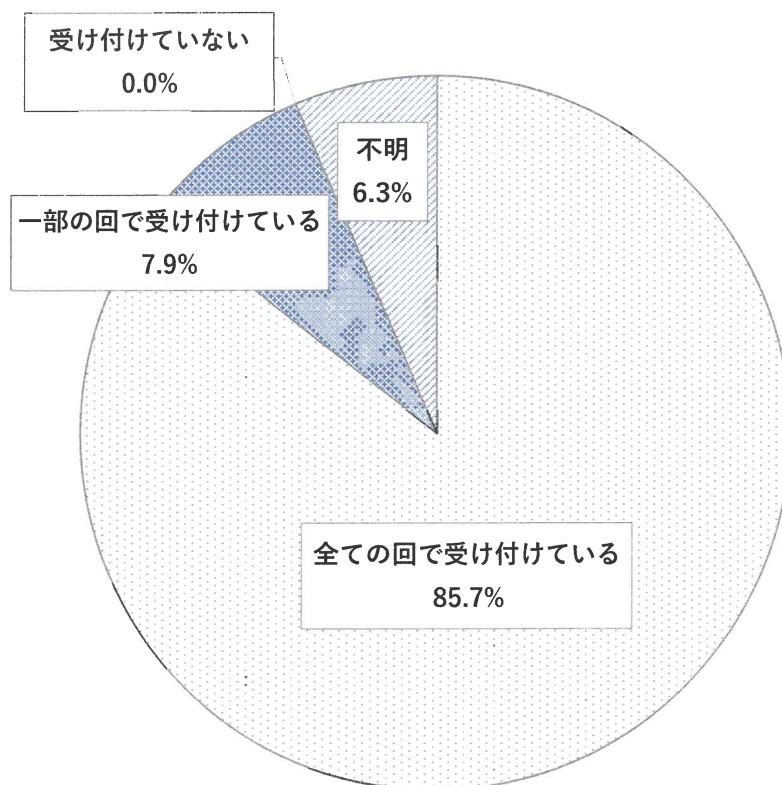
① 一般観覧・聴講の有無

問3-1. 貴団体として実施する成果の発表会や展示会等は、一般の方（会員以外の方）の観覧・聴講も受け付けていますか。（○は1つだけ）

成果の発表会や展示会の一般観覧・聴講は「全ての回で受け付けている」が85.7%を占めている。「受け付けていない」という団体は見られない。

【県内の文化芸術団体】図表4 文化芸術活動（発表・展示）を実施している団体 実施状況

①一般観覧・聴講の有無



2. 「文化芸術活動（発表・展示）の実施状況」について

（2） 文化芸術活動（発表・展示）を実施している団体 実施状況

② 障がいのある人が行きやすくなる工夫の有無／具体的な工夫

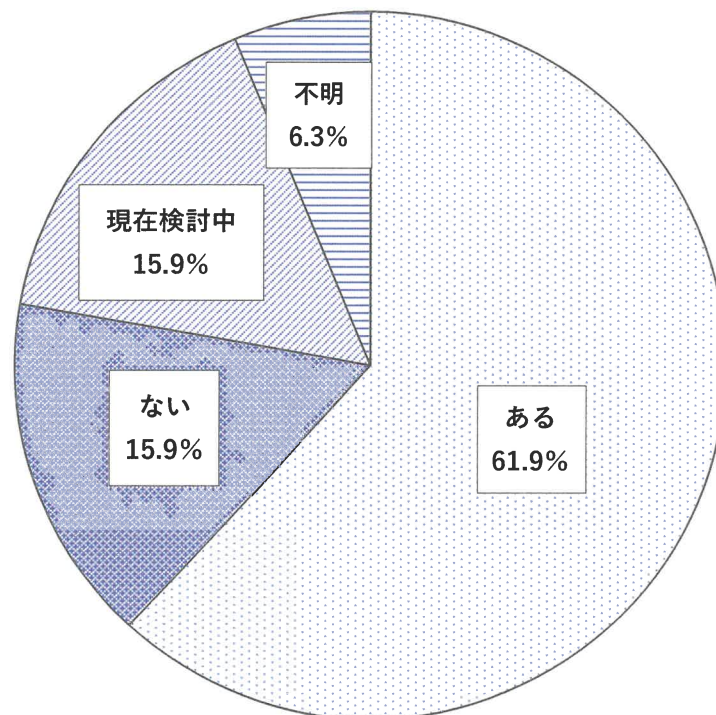
問3-2. 貴団体として実施する成果の発表会や展示会等は、障がいのある人が行きやすくなるような工夫はありますか。（○は1つだけ）

問3-3. 具体的にはどのような工夫を行っていますか。

障がいのある人が行きやすくなる工夫は、「ある」（61.9%）、「ない」（15.9%）、「現在検討中」（15.9%）の割合となっている。

【県内の文化芸術団体】図表5 文化芸術活動（発表・展示）を実施している団体 実施状況

②障がいのある人が行きやすくなる工夫の有無



問3-3. 具体的な工夫について

<主な回答（類似の回答はまとめて記載）>

- ・バリアフリー対応（車椅子席、段差、トイレ、スロープ等）の会場を利用している。
- ・展示会において、車椅子の準備や優先席の設置、介助スタッフの配置を行っている。
- ・展示作品の間隔は、車椅子が通れる幅を確保している。
- ・手話による説明や手話を伴った合唱を行っている。
- ・特別支援学校の児童・生徒や福祉施設の入所者に、作品の出展や鑑賞の奨励を行っている。

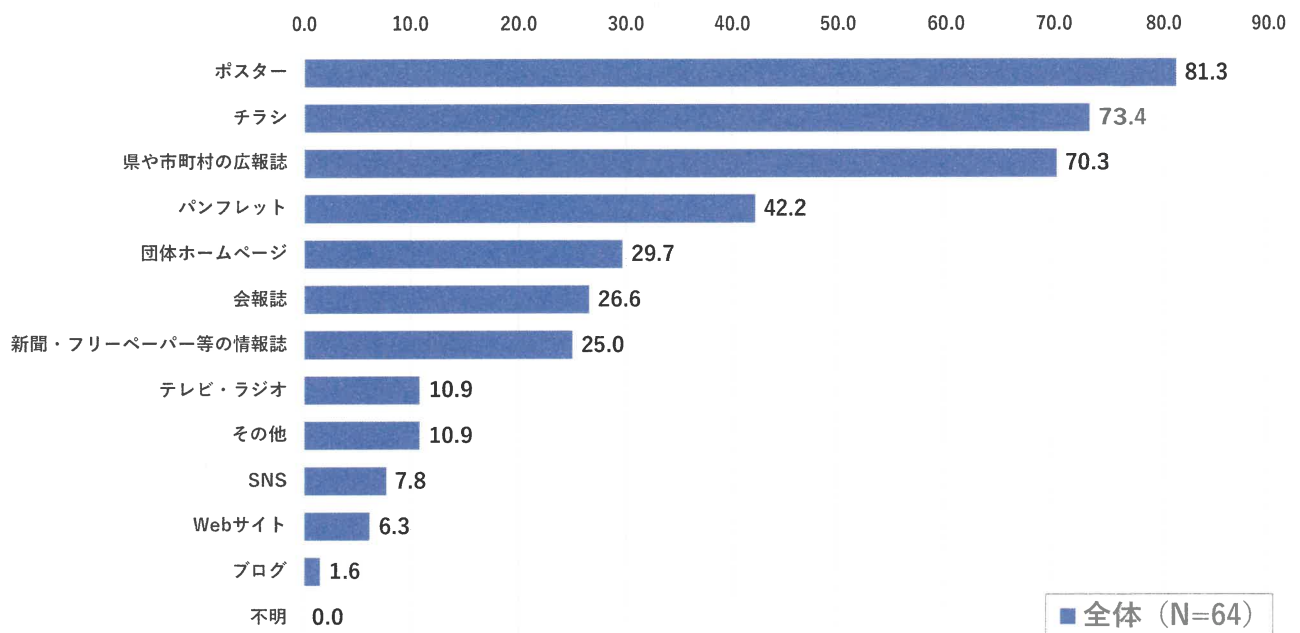
2.「文化芸術活動（発表・展示）の実施状況」について

（3） 活用している情報発信媒体

問4. 貴団体が発表会や展示会、その他の広報活動・お知らせ等を行う場合、どのような情報発信媒体を利用していますか。（〇はいくつでも）

活用している情報発信媒体は、「ポスター」が81.3%で最も高く、次いで「チラシ」（73.4%）、「県や市町村の広報誌」（70.3%）、「パンフレット」（42.2%）の順で続いている。また、「団体ホームページ」（29.7%）、「会報誌」（26.6%）、「新聞・フリーペーパー等の情報誌」（25.0%）といった媒体の利用が2割台見られる。

【県内の文化芸術団体】図表6 活用している情報発信媒体



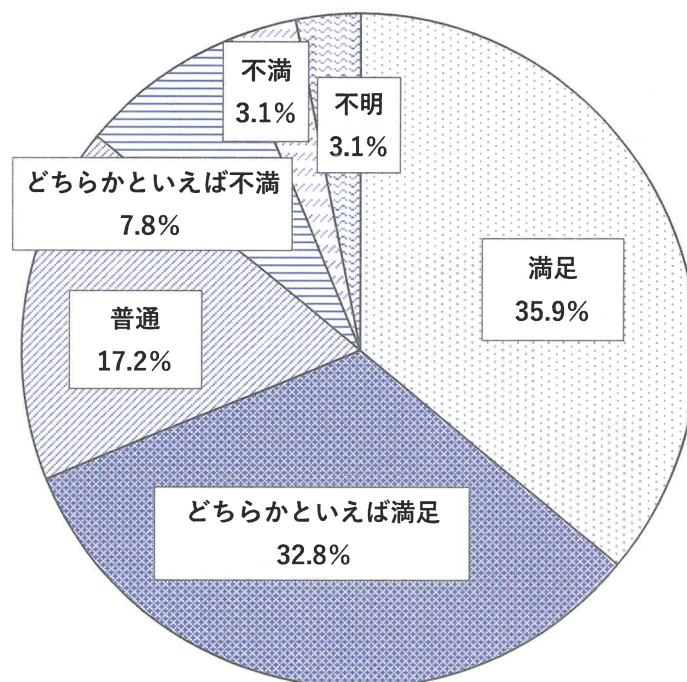
2. 「文化芸術活動（発表・展示）の実施状況」について

（4） 発表会や展示会など開催する際に最も利用する県内施設の満足度

問5.貴団体が福岡県内で開催する、発表会や展示会、大会、コンクール等で最も利用している場所（会場）の満足度を教えてください。（○は1つだけ）

最も利用する場所の満足度を見ると、「満足」（35.9%）と「どちらかといえば満足」（32.8%）を合わせた『満足層』が68.7%となっている。一方、「不満」（3.1%）と「どちらかといえば不満」（7.8%）を合わせた『不満層』は10.9%と1割程度に留まっている。

【県内の文化芸術団体】図表7 発表会や展示会など開催する際に最も利用する県内施設の満足度



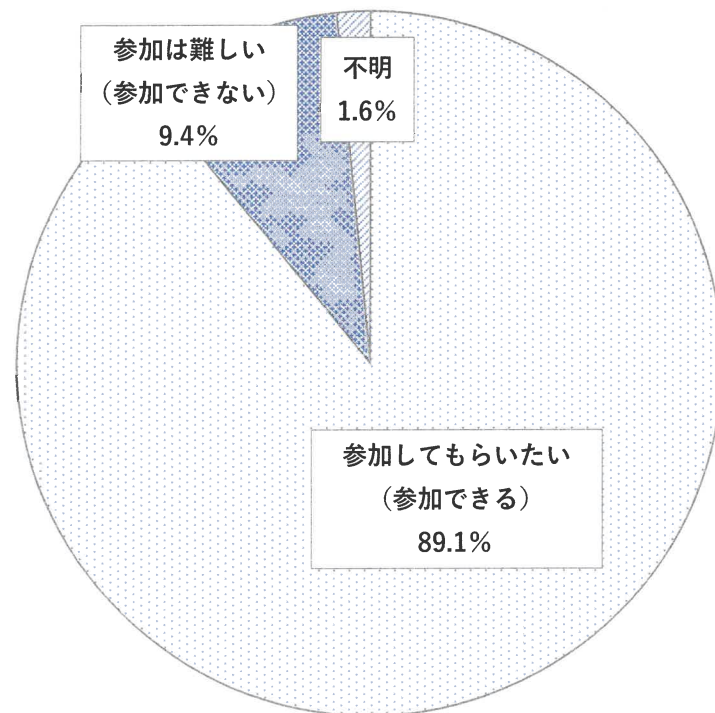
3. 「文化芸術活動の課題・要望」について

（1） 実施する文化芸術活動への障がいのある人の参加について

問6. 貴団体が実施する「文化芸術活動」には、障がいのある人も参加してもらいたい（参加できる）と思いますか。（○は1つだけ）

実施する文化芸術活動への障がいのある人の参加については、「参加してもらいたい（参加できる）」が89.1%、「参加は難しい（参加できない）」が9.4%の割合となっている。

【県内の文化芸術団体】図表8 実施する文化芸術活動への障がいのある人の参加



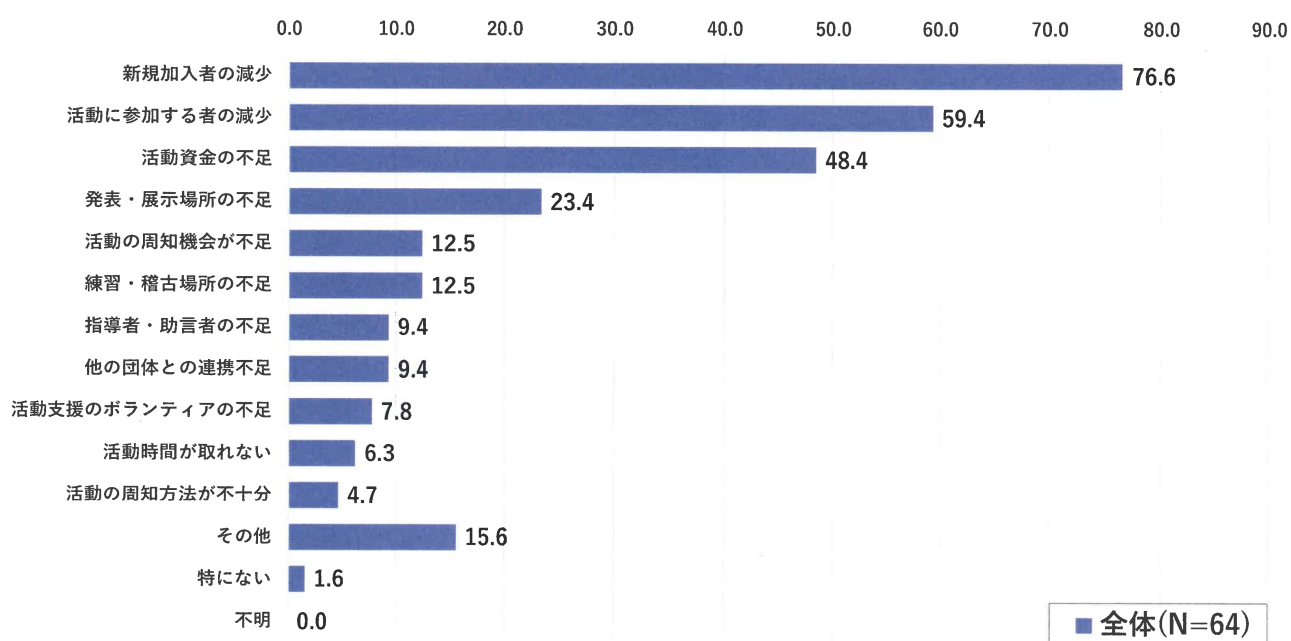
3.「文化芸術活動の課題・要望」について

（2） 活動するにあたっての問題や課題

問7. 貴団体が活動するにあたって、困っている事や課題に感じているのはどのような事ですか。（〇はいくつでも）

活動するにあたっての問題や課題は、「新規加入者の減少」が76.6%で最も高く、「活動に参加する者の減少」が59.4%で続いており、活動者数の減少を課題に挙げる団体が多い。次いで「活動資金の不足」（48.4%）、「発表・展示場所の不足」（23.4%）が続いている。

【県内の文化芸術団体】図表9 活動するにあたっての問題や課題



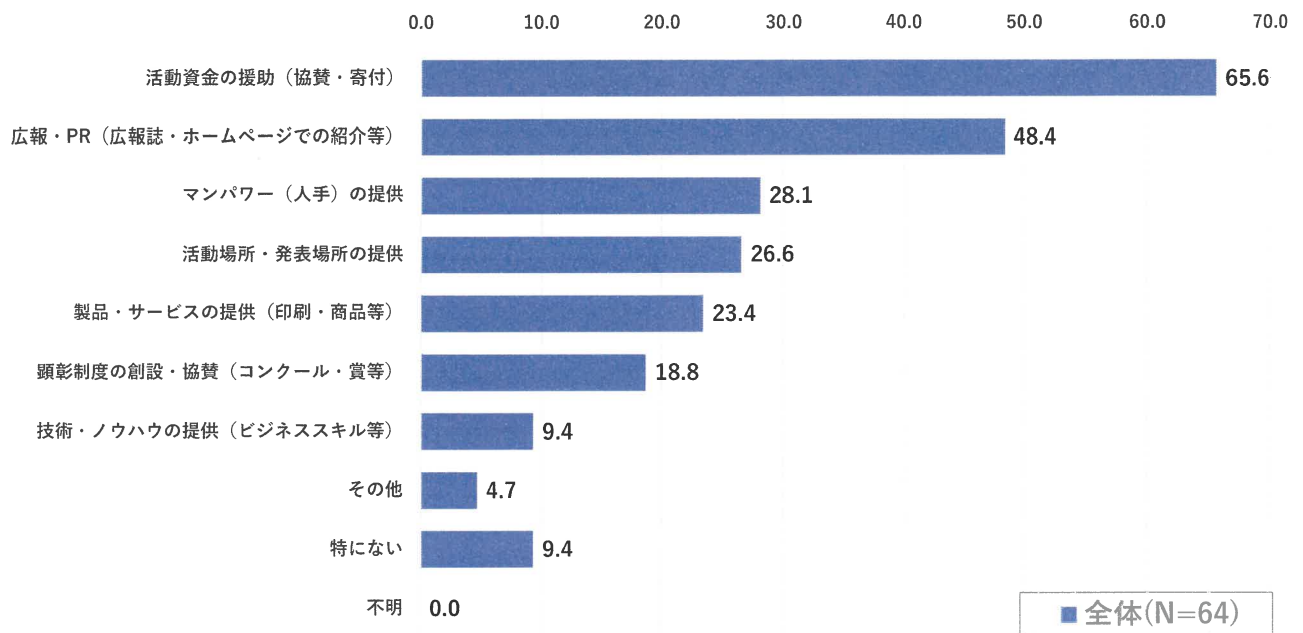
3.「文化芸術活動の課題・要望」について

（3） 民間企業などに期待する支援

問8. 貴団体が民間企業等に期待する支援はどのような事ですか。（○はいくつでも）

民間企業などに期待する支援は、「活動資金の援助（協賛・寄付）」が65.6%で最も高く、「広報・PR（広報誌・ホームページでの紹介等）」が48.4%が続いている。

【県内の文化芸術団体】図表10 民間企業などに期待する支援



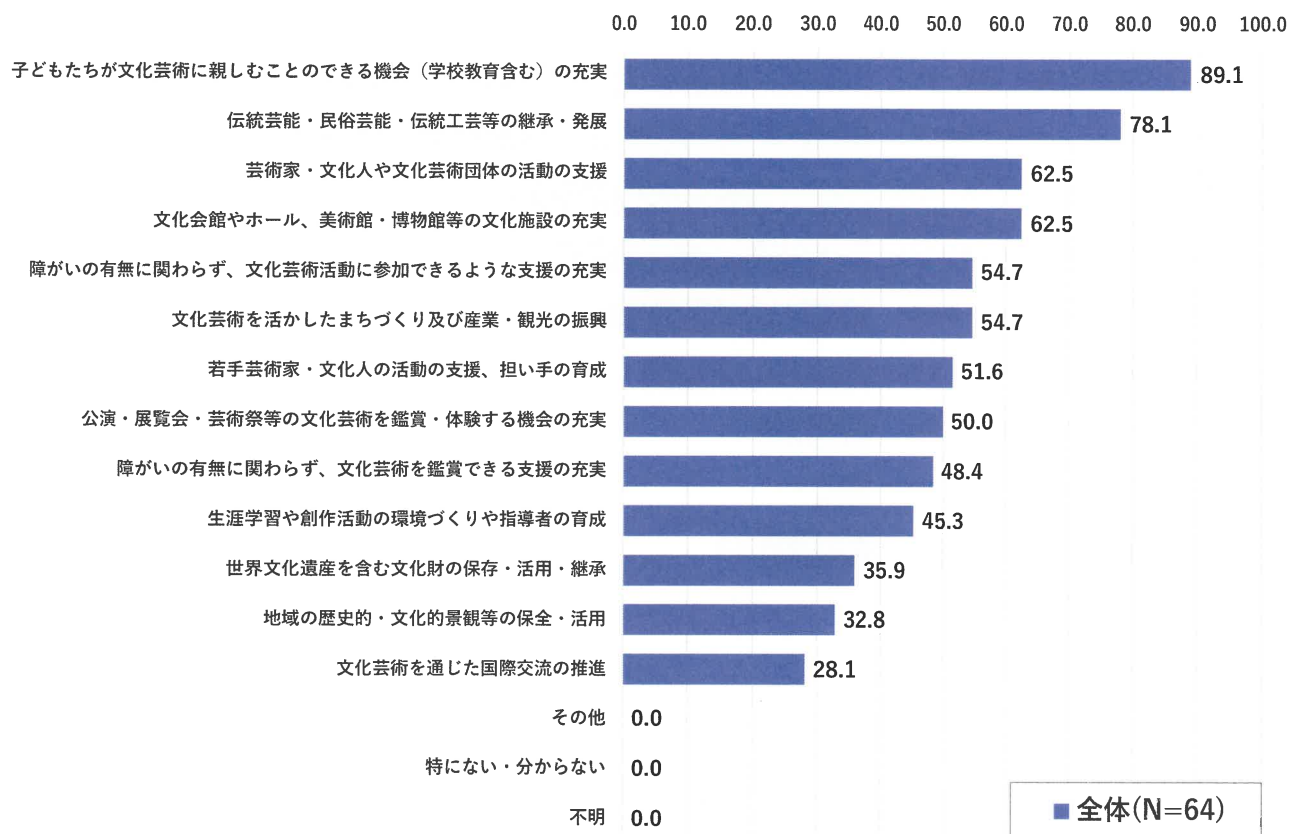
4.「行政の取り組み・ご意見」について

（1） 福岡県の文化芸術を振興するために行政が積極的に取り組むべきこと

問9. 福岡県の文化芸術を振興するために行政（県・市町村）が積極的に取り組むべき事とはどのような事だと思いますか。（〇はいくつでも）

福岡県の文化芸術を振興するために行政が積極的に取り組むべきことは、「子どもたちが文化芸術に親しむことのできる機会（学校教育含む）の充実」（89.1%）が最も高く、「伝統芸能・民俗芸能・伝統工芸等の継承・発展」（78.1%）、「芸術家・文化人や文化芸術団体の活動の支援」「文化会館やホール、美術館・博物館等の文化施設の充実」（共に62.5%）の順で続いている。

【県内の文化芸術団体】図表 11 福岡県の文化芸術を振興するために行政が積極的に取り組むべきこと



令和 2 年度

福岡県における文化芸術活動実態調査 報告書

福岡県人づくり・県民生活部文化振興課

福岡市博多区東公園 7 番 7 号

電話 (092) 643-3382

FAX (092) 643-3347

